

同日本院ニ於テ修正議決シタル衆議院提出府縣農事試驗場國庫補助法案ハ

即日衆議院ニ回付シタリ

同日本院ニ於テ同意スヘカラサルモノト議決シタル國籍法案ニ關シ協議會

請求ノ通牒及協議委員ヲ十名ト定メタル旨ノ通牒ヲ衆議院へ送付シタリ

同日本子爵長岡護美君、男爵玉松眞幸君、男爵紀俊秀君ヨリ五十八名ノ賛成ヲ

以テ國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案ヲ發議セラレタリ

同日本衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

關稅法案
船舶法案
船員法案

同日本衆議院提出東京市ニ關スル法律案ヲ受領シタリ

同日本衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シ奏上シタル旨ノ

通牒ヲ受領シタリ

要塞地帶法案
商法修正法案

委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

衆議院議員選舉法改正法律案特別委員會

委員長侯爵黒田長成君 副委員長子爵曾我祐準君

地價地租二錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキ計算ニ關スル法律案特別委員會

委員長伯爵大村純雄君 副委員長子爵錦織教久君

軍艦水雷艇補充基金特別會計法外一件特別委員長男爵有地品之允君

○議長(公爵近衛篤麿君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、第一、請願委員長

報告

(岡内重俊君演壇ニ登ル)

○岡内重俊君 請願委員會ノ決議ノ結果ヲ報告致シマスル、去ル二十一日第

五回請願文書表ノ報告以來一昨二十五日マデニ受理致シタル請願書ハ七十四

件アリマスル、内一件ハ提出者ヨリ撤回ノ要求ガアリマシタ故ニ下戻シマシ

タ、茲ニ報告致シマスル第六回文書表ニ載セマシタル數ハ三十七件アリマス

ル、其内本議ニ付スベント決シタル數ハ二十四件アリマスル、同一ノ請願事

件ガ牽連シテ居リマスカラ日程ニハ十四件載シテ居ル、本議ニ付スルヲ要セ

ズト決シタルモノガ十三件アリマス、尙ホ本日ノ日程ノ中ニモ請願ヲ二三件

削除ヲ要ル件ガアリマス、故ニ議決ノ際ニ至ツテ削除ヲ要求致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 權利收用ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
(小原書記官朗讀)
明治三十二年二月二十五日

右 權利收用ニ關スル法律案

(左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

内務大臣侯爵西鄉從道

水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ニ付キテハ土

權利收用ニ關スル法律案

地收用法ノ規定ヲ準用ス

(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 此權利收用ニ關シマスル法律案ハ誠ニ簡単ナ法律

案デゴザイマスルガ其提出ニナリマシタル趣旨ヲチヨット一言述ベマスルガ

此權利ノ收用ニ關シマスル趣旨ノ重モナルモノハ何ダト云フト水ノ利用ニ關

スル權利此水ノ利用ニ關スル權利ト云フコトニ附イテハ御承知デモゴザイ

マセウケレドモ是カラ追々工事ノタメニ其水ヲ利用シナケレバナラスト云フ

トキハ從前引イテ居タ水トノ衝突ガアル其場合ニ之ヲ買收スルト云フ場合

ガアツタトキ之ヲ規定シタル法律ガナイ、據ル所ガナイ、ソレデ是マデ收用

法ニ明記シテアル部分ハ則チ土地ニ掛ケテアリマスルカラ此水利ノコトニ付

イテモ土地收用法同様ニ此法律ヲ適用シタイ、其他土地ノ所有權以外ノ權利ニ附イテモ尙ホ右ニ載セテアリマスルカラ簡單ナ法律ヲ以テ其足ラザル所ヲ

補フ積ニアリマス、ドウゾ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○周布公平君 此委員ノ選定ハ議長ニ御委託致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成
(其他「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ議長ニ於テ選定致シマス

○議長(公爵近衛篤麿君) (異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 臺灣總督府法院ノ判決ニ對スル大審院ノ裁判權ニ

關スル法律案、政府提出、衆議院送付第一讀會

○子爵小笠原壽長君 贊成
(小原書記官朗讀)

臺灣總督府法院ノ判決ニ對スル大審院ノ裁判權ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付

候也

明治三十二年二月二十四日

衆議院議長片岡健吉

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第二條 大審院ニ於テ上告ニ因リ臺灣總督府覆審法院ノ判決ヲ破毀シタル

トキハ自カラ裁判ヲ爲ス場合ヲ除ク外更ニ辯論及裁判ヲ爲サシムル爲其

ノ事件ヲ他ノ控訴院ニ移送シ又ハ原法院ニ差戻スヘシ

(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 此提出ニナリマシタル臺灣總督府法院ノ判決ニ對

スル大審院ノ裁判權ニ關スル法律案是ハ御承知ノ如ク臺灣ハ第一審、第二審

マデニ止リマシテ三審ノ保護ガナインデアリマスルカラ之ヲ大審院ニ出サセ

ルト云フコトニ大ニ人權ヲ重ンズル次第ヨリ斯ク法律案ヲ提出ニナリマシタ

次第デ、トウゾ御協賛アランコトヲ希望致シマス、尙ホ一言述べテ置キマス

ルノハ衆議院ノ此修正デアリマスル、衆議院ハ第二條中ニ其事件ノ下ニ「他

ノ控訴院ニ輸送シ又ハ」ト云フ十一字ヲ挿入シテ修正ヲ致シマシテ決議ニナ

リマシタ、是ハ出來得マセヌコトダカラ政府ハ同意ヲ致シマセヌ、此段ヲ申添

經過シタルトキハ時效ニ因テ消滅ス
第九條 前二條ノ期限内ニ爲シタル納稅告知若ハ仕拂請求ハ時效ヲ中斷ス
第十條 第二章 船舶
外國貿易船開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ税關ニ入港居ヲ爲シ積荷目錄、船口申告書、船用品目錄及旅客氏名表ヲ提出スルト同時ニ船舶國籍證書及仕出港ノ出港免狀若ハ之ニ代ルヘキ書類ヲ預クヘシ
第十一條 沿海通航船外國貨物船卸ノ爲開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ其ノ貨物ノ積荷目錄ヲ税關ニ提出スヘン
第十二條 外國貨物ヲ積載セル船舶ハ税關長ノ認許ヲ得タル場合ノ外積荷目錄ヲ提出シタル後ニ非サレハ貨物ノ積卸ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品及郵便物ハ此ノ限ニ在ラス
第十三條 外國貿易船開港ヲ出港セントスルトキハ船長ハ税關ニ出港居ヲ爲シ出港免許ヲ受クヘシ
第十四條 外國貿易船貨物ノ積卸ヲ爲サスシテ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ出港スルトキハ第十條及第十三條ノ規定ヲ適用セス
第十五條 沿海通航船外國貨物ヲ積載シテ開港ヲ出港セントスルトキハ船長ハ其ノ貨物ノ積荷目錄ヲ税關ニ提出スヘシ
第十六條 積荷目錄ハ其ノ提出ノ時ヨリ二十四時以内ニ限り税關ノ認許ヲ得テ之ヲ訂正補足スルコトヲ得
第十七條 前項ノ積荷目錄ハ貨物ノ船卸ヲ爲スヘキ地ヲ異ニスル毎ニ之ヲ調製スヘシ
第十八條 積荷目錄ハ其ノ提出ノ時ヨリ二十四時以内ニ限り税關ノ認許ヲ得タル
第十九條 外國貨物ヲ積載セル船舶ハ日沒ヨリ日出迄ノ間及税關ノ休日ニハ税關長ノ特許ヲ受クルニ非サレハ貨物ノ積卸ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品及郵便物ハ此ノ限ニ在ラス
第二十條 前條ノ貨物ヲ積載シ來リタル船舶開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ認許證ヲ税關ニ提出スヘシ
第二十一條 外國貿易船用品ヲ積入レントスルトキハ船長ハ税關、税關ノ設置ナキ地ニ於テハ税關官吏、税關官吏在ラサルトキハ警察官吏ノ認許ヲ受クヘシ
第二十二條 稅關官吏職務ノ爲船舶ニ乘込ムトキハ船長ハ相當ノ便宜ヲ與ル
第二十三條 本法ニ於テ外國貿易船ト稱スルハ外國貿易ノ爲外國ニ往來スル船舶ヲ謂フ
第二十四條 貨物ハ開港ニ由ルノ外輸出若ハ輸入ヲ爲スコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第三章 貨物
第一節 總則
第一節 貨物
第二節 貨物
第三節 貨物
第四節 貨物
第五節 貨物
第六節 貨物
第七節 貨物
第八節 貨物
第九節 貨物
第十節 貨物
第十一節 貨物
第十二節 貨物
第十三節 貨物
第十四節 貨物
第十五節 貨物
第十六節 貨物
第十七節 貨物
第十八節 貨物
第十九節 貨物
第二十節 貨物
第二十一節 貨物
第二十二節 貨物
第二十三節 貨物
第二十四節 貨物
第二十五節 貨物
第二十六節 貨物
第二十七節 貨物
第二十八節 貨物
第二十九節 貨物
第三十節 貨物
第三十一節 貨物
第三十二節 貨物
第三十三節 貨物
第三十四節 貨物
第三十五節 貨物
第三十六節 貨物
第三十七節 貨物
第三十八節 貨物
第三十九節 貨物
第四十節 貨物
第四十一節 貨物

一 遭難船舶ノ修繕救援若ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲貨物ヲ賣却スルトキ
二 遭難船舶ニ積載セル損傷貨物若ハ腐敗シ易キ貨物ヲ讓渡スルトキ
三 遭難船舶若ハ難破貨物ヲ輸入スルトキ
四 遭難船舶ヨリ上陸シタル旅客ノ携帶品ヲ輸入スルトキ
第二十五條 貨物ノ検査ヲ開始シタル後ハ貨物ニ關スル申告書ノ訂正補足ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品ハ此ノ限ニ在ラス
第二十六條 日沒ヨリ日出迄ノ間及税關ノ休日ニハ税關長ノ特許ヲ受クルニ非サレハ貨物ヲ税關ニ送致シ又ハ貨物ノ引取、發送ヲ爲スコトヲ得ス
第二十七條 稅關ニ送致シ若ハ陸揚シタル貨物ノ取扱ハ總テ税關長ノ指揮ニ從フヘシ
第二十八條 貨物ノ陸揚、船積其ノ他船舶ト陸地トノ交通ハ税關長ノ特許ヲ得タル場合ノ外税關ニ於テ定メタル場所ニ由ルヘシ
第二十九條 輸出シタル貨物ハ外國貨物トシ輸入シタル貨物ハ内國貨物トス
第三十條 貨物ニ關スル本法ノ規定ハ船用品ニ之ヲ適用セス
第三十一條 第二節 輸出、輸入及積戻
第三十二條 輸入申告書ニハ仕入書ヲ添付スヘシ但シ當該官吏ニ申告シ貨物ノ前項但書ノ添付スルコト能ハサル理由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
第三十三條 貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲サンタルトキハ税關ノ賦課官吏、税關官吏現場ニ在ラサルトキハ收稅官吏ニ申告シ其ノ検査及免許ヲ受クルコトヲ得
第三十四條 輸入貨物ハ輸入免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ引取り若ハ通過ノ爲發送スルコトヲ得ス但シ當該官吏ノ認許ヲ得稅金ノ擔保トシテ
第三十五條 通路ノ爲輸入シタル貨物ノ引取ヲ爲スコトヲ得
第三十六條 運送人ハ通過貨物ニ關シ職務ヲ執行スル官吏ニ對シ相當ノ便宜ヲ與フヘシ
第三十七條 輸出貨物ハ輸出免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ船積スルコトヲ得ス
第三十八條 外國貨物ノ積戻ニハ總テ輸出ニ關スル規定ヲ準用ス但シ假ニ陸揚シタル貨物ノ積戻ハ此ノ限ニ在ラス
第三十九條 内外國貨物ヲ外國貿易船ニ又ハ外國貨物ヲ沿海通航船ニ積載シ開港間ニ回漕セントスル者ハ税關ニ申告シ貨物ノ検査ヲ經テ回漕免許ヲ受クヘシ
第四十條 前條ノ回漕貨物ハ回漕免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ船積スルコトヲ得ス
第四十一條 第三十九條ノ回漕貨物船卸ヲ爲スヘキ地ニ到達シタルトキハ

第四節 郵便物

第四十二條 郵便物中關稅ヲ課スヘキ物品アルトキハ稅關ハ其ノ稅金額ヲ郵便局へ通知スヘシ
第四十三條 關稅ヲ課スヘキ郵便物ヲ受取ラントスル者ハ郵便局ニ申出テ其ノ關稅ヲ納付スヘシ
第四十四條 郵便物ノ關稅ハ郵便物ヲ名宛人ニ交付スル場合ノ外之ヲ課セス
前項ノ關稅ヲ以テ納付スヘシ

第四十五條 第一條第二項但書、第二十四條、第二十六條、第三十一條乃至第三十五條及第三十七條乃至第四十一條ノ規定ハ郵便物ニ之ヲ適用セス
第五節 収容
第四十六條 船積ノ爲稅關ニ送致シ若ハ陸揚シタル貨物ハ其ノ送致若ハ陸揚ノ時ヨリ七十二時以内ニ引取、船積、發送又ハ保稅倉庫ニ庫入ヲ爲ササルトキハ稅關ハ利害關係者ノ費用及危險ノ負擔ヲ以テ之ヲ收容スルコトヲ得
第四十七條 貨物ヲ收容シタルトキハ三日以内ニ其ノ旨ヲ揭示スト
第四十八條 貨物收容ノ解除ヲ得ントスル者ハ稅關ニ申告シ其ノ貨物ニ關スル一切ノ費用及敷料ヲ納メ免許ヲ受クヘシ
第四十九條 前條ノ免許ヲ受ケタル時ヨリ四十八時以内ニ貨物ノ引取、船積、發送又ハ保稅倉庫ニ庫入ヲ爲ササルトキハ前條ノ申告及免許ハ無效トス
第五十條 貨物收容ノ日ヨリ六箇月以内ニ第四十八條ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ稅關ハ其ノ記號、番號、種類、箇數ヲ公告スヘシ
前項公告ノ日ヨリ一箇月以内ニ仍第四十八條ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ貨物ヲ競賣ニ付シ關稅、敷料其ノ他其ノ貨物ニ關スル一切ノ費用ニ充テ残金アルトキハ之ヲ供託スヘシ
第五十一條 収容貨物腐敗ノ虞アルトキ又ハ倉庫若ハ他ノ貨物ヲ害スルノ虞アルトキハ前條ノ期限ニ拘ラス公告シテ之ヲ競賣ニ付スルコトヲ得但シ公告スルノ暇ナキトキハ競賣シタル後之ヲ公告スヘシ
第五十二條 収容貨物ヲ競賣ニ付スルモ買受人ナキトキハ適宜之ヲ處分スルコトヲ得

第四章 稅關官吏ノ職權

第五十三條 稅關長ハ其ノ職權ノ執行ニ必要ト認ムルトキハ船車ノ出發ヲ差止メ又ハ進行ヲ停止スルコトヲ得
第五十四條 稅關長ハ必要ト認ムルトキハ船舶若ハ貨物ニ關スル書類ヲ提出セシムルコトヲ得
第五十五條 稅關長ハ運送貨物ニ對シ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得
第五十六條 稅關長ハ必要ト認ムルトキハ輸出入貨物ノ見本ヲ納付セシムルコトヲ得
第五十七條 稅關官吏ハ船車ニ乘込ミ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得
第五十八條 稅關官吏ハ必要ト認ムルトキハ貨物ヲ検査若ハ封鎖シ又ハ船車倉庫其ノ他貨物ノ藏置場ヲ封鎖スルコトヲ得
第五十九條 稅關長ハ職權ノ執行ニ必要ト認ムルトキハ海軍ノ援助ヲ求ムルコトヲ得
第六十條 前條ノ請求アリタルトキハ海軍艦船長ハ船舶ニ對シ進行停止ノ命令ヲ爲スコトヲ得
前項ノ命令ヲ受ケタル船舶進行ヲ停止セサルトキハ海軍艦船長ハ其ノ船

舶ニ對シ兵力ヲ用ウルコトヲ得

第五章 異議及訴願
第六十一條 關稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ不服アル者ハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ文書ヲ以テ稅關長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得但シ貨物ヲ引取りタル後ハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條 前條ノ規定ニ依リ異議ノ申立アリタルトキハ稅關長ハ文書ヲ以テ之ヲ判定シ異議申立人ニ之ヲ交付スヘシ但シ第六十三條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
第六十三條 從價稅ヲ課スヘキ貨物ノ課稅價格ニ關スル異議ヲ不當ト認ムルトキハ稅關長ハ申告價格ニ其ノ百分ノ五ヲ加ヘタル價格ヲ以テ其ノ貨物ヲ買上ルカ若ハ評價人ヲシテ評價セシムヘシ
評價人ノ評價額一致セサルトキハ其ノ平均ヲ以テ評價價格トス
第六十四條 評價人ハ四人トシ二人ハ稅關長之ヲ命シ二人ハ異議者之ヲ選定ス但シ左ニ掲タル者ハ評價人タルコトヲ得ス
身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者二
三剝奪公權者及停止公權者
四當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者
異議者ニ於テ評價人ヲ選定シタルトキハ稅關長ノ認可ヲ受クヘシ
第六十五條 評價人ヲシテ評價セシメタルトキハ其ノ評價價格ヲ以テ課稅價格トス
第六十六條 异議者ノ選定シタルトキハ稅關長ノ處分ノ執行ヲ停止セス但シ稅關長ハ必要ト認ムルトキハ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ得
第六十七條 异議ノ申立ハ處分ノ執行ヲ停止セス但シ稅關長ハ必要ト認ムルトキハ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ得
第六十八條 稅關長ノ處分ニ對シ不服アル者ハ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ得
第六十九條 訴願ヲ審査セシムル爲委員會ヲ設ク
第七十條 委員會ハ委員過半數出席スルニ非サレハ決議ヲ爲スコトヲ得
第七十二條 委員會ニ於テ審査ヲ了シタルトキハ其ノ結果ヲ大藏大臣ニ具申スヘシ
第七十三條 委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第六章 罰則
第七十四條 輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者ハ犯罪ニ係ル貨物ノ原價ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處シ其ノ貨物ヲ沒收ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
第七十五條 關稅ノ逋脫ヲ圖リ又ハ關稅ヲ逋脱シタル者ハ其ノ逋脫ヲ圖リ又ハ逋脱シタル稅金ノ三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處シ犯罪ニ係ル貨物ヲ沒收ス
第七十六條 免許ヲ受ケスシテ貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントンタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ前二條ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十七條 貨物ト符合セサル積荷目録ヲ提出シタルトキハ船長ヲ五百圓

以下ノ罰金ニ處ス
第七十八條 第十八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
第七十九條 第十二條若ハ第十七條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第八十條 第十條、第十一條、第十三條、第十五條、第十八條第一項、第十九條、第二十條若ハ第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第八十一條 第二十六條乃至第二十八條第四十條若ハ第四十一條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
第八十二条 第七十七條乃至第八十一條ノ規定ニ該當スル者ハ不注意ニ出テタルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルコトヲ得ス
第八十三条 本法ニ依リ沒收スヘキ貨物ハ犯則當時ノ所有者ノ所有ニ屬スル間ハ之ヲ沒收シ既ニ之ヲ讓渡若ハ消費シタルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ犯則者ヨリ徵收ス

第七章 犯則事件ノ調査及處分

第八十四條 稅關官吏ハ犯則ノ事實發見ノ爲必要ト認ムルトキハ船車倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ搜索ヲ爲スコトヲ得
第八十五条 稅關官吏ハ犯則ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ物件ヲ身邊ニ藏匿スル者アリト思料シタルトキハ其ノ開示ヲ求メ若ニ從ハサルトキハ身邊ノ搜索ヲ爲スコトヲ得
第八十六条 稅關官吏ハ犯則事件ノ調査ヲ爲スニ當リ必要ト認ムルトキハ犯則者證人参考人ヲ訊問スルコトヲ得
第八十七条 稅關官吏臨檢、搜索、訊問ヲ爲ストキハ制服ヲ著用シ又ハ其ノ資格ヲ證明スル證票ヲ携帶スヘシ
第八十八条 稅關官吏ハ臨檢、搜索ヲ爲スニ當リ必要ト認ムルトキハ警察官吏ノ援助ヲ求ムルコトヲ得
第八十九條 稅關官吏搜索ヲ爲ストキハ搜索スヘキ船車倉庫其ノ他ノ場所ノ所持人又ハ其ノ同居ノ親族、傭人、隣佑若其ノ在ラサルトキハ其ノ地ノ警察官吏若ハ市町村吏員ヲシテ立會ハシムヘシ但シ船車ニ在テハ其ノ役員ヲシテ立會ハシムルコトヲ得
第九十条 稅關官吏犯則事件ノ調査ニ依リ發見シタル物件犯則ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘシト思料シタルトキハ之ヲ差押ヘ差押目錄ヲ作ルヘシ

第九十二条 稅關官吏ハ前數條ニ記載シタル處分中何人ニ限ラス許可ヲ得シテ其ノ場所ニ出入スルヲ禁スルコトヲ得
第九十三条 稅關官吏臨檢、搜索、訊問ヲ爲シタルトキハ其ノ調書ヲ作り立會人若ハ訊問ヲ受ケタル者ニ示シ共ニ署名セスヘシ
第九十四条 稅關長ハ犯則事件ノ調査ニ依リ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

○政府委員(日賀田種太郎君) 關稅定率法ノ施行ニ伴ヒ又改正條約ノ施行ニ從フ者ニモ亦之ヲ適用ス
第一百條 本法ノ規定中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ履行ス
第一百零二條 明治十六年布告第四十號、特別輸出港規則、同二十三年勅令第五百三條、明治十六年法律第十三號、同二十七年法律第五十四號、同二十九年法律第三號、同二十九年法律第十八號其ノ他本法ニ抵觸スル法令ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス
〔政府委員日賀田種太郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(日賀田種太郎君) 關稅定率法ノ施行ニ伴ヒ又改正條約ノ施行ニ從フ者ニモ亦之ヲ適用ス
準備ト致シマシテ本案ノ提出ヲ要スル譯デゴザイマス、從來關稅ニ關スル法律ノ定ム所ノ關稅通路ニ依ルナラバ一ノ開港場カラ他ノ開港場ヲ經テ他國へ貨物ガ行クテモ一向差支ナイト云フ規定ニナツテ居リマス、但シ其他通路ヲ認メマシテ是ハ命令ヲ以テ定メラル、積デアル、今日ニ於テハ輸入ト云フモノハゴザイマスルガ通過ト云フモノハナインテゴザリマス、是ハ段々近接シテ居ル朝鮮若クハ清國等ノ關係ニ於キマシテモ將來此通過ヲ許スコトハ大いニ商業上ノ便益デアラウト思ヒマス、是ガ即チ著シク從來ト變テ居ルノ一點ゴザリマス、又其他關稅上ノ監視權ヲ明定致シタコトゴザリマス、段々關稅定率モ改リマスルシ將來關稅上ノ密商若クハ脫稅等ヲ豫防シ又ハ之ヲ防遏スルガタメニ完全ナル監視ノ制度ヲ設クリコトハ最モ必要アルノゴザリマス、御承知ノ通稅關ノ制度若クハ此監視制度ハ外國ニ於テハ文官ノ制度モゴザイマスレバ又軍制ニ依クテ居ル所モアルノゴザリマ

ス、何レ帝國ノ如ク四面環海ノ位地ニ於キマシテ此沿岸ヲ通ジテ完全ナル監

視線ヲ設クルト云フコトハ現在ニ於テモ亦將來ニ於テモ大イニ必要デアラ

ウト思ヒマス、サリナガラ目下ノ場合ニ於テ其タメニ許多ノ經費ヲ費シテ

監視線ヲ設ケテソレドヽノ監視制度ヲ施クト云フコトハ蓋シ亦費多クシテソ

レ程ノ益ヲ見ヌカモ知レヌ是ニ於テ此五十九條ニ依リ又六十條ニ依リ必要ノ

長ノ命令ヲ用ヒズ又屢々豫告スルモ其旨ニ從ハザルトキハ海軍艦船ハ其反則

ト思料スル所ノ船舶ニ向テ進行ノ停止ヲ命ズル、是ハ何レ將來又別ニ定メ

ラル、コトデゴザリマスルケレドモ御参考ノタメニ陳述シテ置キマスルガ進

行停止ノ命令ヲ行フニハ先づ水上ニ於テハ信号ヲ以テ之ヲ命ズル而モ其命令

ニ服セザルトキハ始テ此第二項ノ場合ニ至ルノデ第二項ノ場合ニ至ルニハ何

レ先づ第一次ニハ空砲ヲ發シテ反則船ニ注意ヲ與フル屢々注意ヲ與ヘテモ之

ニ應セズ若クハ故意ニ抵抗ヲ致スヤウナ場合ガアリマシタナラバ其時已ム

ヲ得ズ其程度ニ從ヒ必
要ナル砲力ヲ用ヒルコトニ依リマス、場合ニ依リテ

ハ實彈ヲ裝シテ之ニ發スルカモ知レナイ、併シワレハ極度ノ必要ノ場合ニ限

ルコトデゴザリマス、是等ノコトハ一體ノ尙ホ完全ナルヲ申シマスレバ稅關

ノ船舶ニ於テ行フテモ可ナルコトデゴザイマスケレドモソレハ前申ス如ク今

始ク此便法ニ依ルコトヲ可トシタコトデゴザイマス、今一ツハ此異議者若ク

ハ訴願ノコトデゴザリマスルガ是ハ關稅ノコトハ他ノ場合ト違イマシテ實ニ

種々ノ問題ヲ包含スルコトデゴザリマシテ專ラ貨物ノ鑑定上ノ疑義ト云フモ

ノハ成ルベク其異議若クハ故障ヲ申立テシムルノ門戸ヲ裕カニシテ其調べヲ

公平ニシテ納稅者ヲシテ能ク其意ヲ満スコトヲ得セシムルコトヲ必要トシマ

ス、サウ云フ品デゴザイマスカラシテ此六十九條ニ依リテ訴願ヲ審査セシ

ムルタメニ委員會ヲ設クルコトニナッテ居リマス、是ハチヨウト例ヲ舉ゲマ

スレバ例ヘバ「セルジ」トカ羅紗トカ云々テモ中々其區別ト云フモノハ普通ノ

行政官ニハ分ラスモノデアリマス、サルガ故ニソレドヽ適當ナル技術ニ精達

シタル者ヲ選ンデ此會員タラシムル、ソレヲ以テ審査セシメテ然後法律ノ

適用ヲ大藏大臣ガ致スト云フコトニナッテ居リマス、是等ハ成ルベク此異議

故障ヲ明白ニ審判シテ納稅者ニ満足ヲ與ヘントスルノ公平ノ意ニ出テタモノ

デアリマス、其他ハ大抵外國ノ事例ヲモ酌ミ今日ノ宜シキニ適スルヤウニ所編

ノ法案デゴザイマスカラ慎重ナル御詮議ヲ仰グ次第デアリマス

○議長(公爵近衛萬曆君) 御發議ガナク、委員ノ選定ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此特別委員ノ選舉ハ議長御依託致シマス

○議長(公爵近衛萬曆君) 議長ニ於テ選定スルト云フコトニ御異議ハアリマ

セヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛萬曆君) 船舶法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會……

船舶法案

(小原書記官朗讀)

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年二月二十五日

貴族院議長公爵近衛萬曆殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

船舶法案

左ノ船舶ヲ以テ日本船舶トス

日本ノ官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶

日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶ニ在リテハ社員ノ全

員合資會社及ヒ株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株

式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬ス

ル船舶

日本ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其代表者ノ全員カ日本臣

民ナルモノノ所有ニ屬スル合資會社ニ在リテハ業務擔當社員ノ全

員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶ヲ以テ日本船舶トス

日本船舶ニ非サレハ日本ノ國旗ヲ掲クルコトヲ得ス

日本船舶ニ非サレハ不開港場ニ寄港シ又ハ日本各港ノ間ニ於テ物

品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得ス但法律若クハ條約ニ別段ノ定アルト

キ、海難若クハ捕獲ヲ避ケントスルトキ又ハ主務大臣ノ特許ヲ得タルト

キハ此限ニ在ラス

日本船舶ノ所有者ハ日本ニ船籍港ヲ定メ其船籍港ヲ管轄スル管海

官廳ニ船舶ノ積量ノ測度ヲ申請スルコトヲ要ス

船籍港ヲ管轄スル管海官廳ヘ他ノ管海官廳ニ船舶ノ積量ノ測度ヲ嘱託ス

ルコトヲ得

外國ニ於テ取得シタル船舶ヲ外國各港ノ間ニ於テ航行セシムルトキハ船

舶所有者ハ日本ノ領事又ハ貿易事務官ニ其船舶ノ積量ノ測度ヲ申請スル

コトヲ得

日本船舶ノ所有者ハ登記ヲ爲シタル後船籍港ヲ管轄スル管海官廳

ニ備ヘタル船舶原簿ニ登録ヲ爲スコトヲ要ス

日本船舶ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外船舶國籍證書又ハ假

船舶國籍證書ヲ請受ケタル後ニ非サレハ日本ノ國旗ヲ掲ケ又ハ之ヲ航行

セシムルコトヲ得ス

日本船舶ノ名稱ハ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ノ許可ヲ得ルニ非サ

レハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

船舶所有者カ其船舶ヲ修繕シタル場合ニ於テ其積量ニ變更ヲ生ス

タルモノト認ムルトキハ遲滯ナク船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ其船舶ノ

積量ノ改測ヲ申請スルコトヲ要ス

貴族院議事速記録第二十五號

明治三十二年二月二十七日

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

船舶法案

第一讀會 五一

第十一条 船舶國籍證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其書換ヲ申請スルコトヲ要ス
船舶國籍證書カ毀損シタルトキ亦同シ
第十二条 船舶國籍證書カ滅失シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ更ニ之ヲ請受クルコトヲ要ス
第十三条 船舶國籍證書カ外國ノ港ニ碇泊スル間ニ於テ船舶國籍證書ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ船長ハ其地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得
日本船舶カ外國ニ航行スル途中ニ於テ前項ノ事由カ生シタルトキハ船長
ハ最初ニ到著シタル地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得
前二項ノ規定ニ從ヒテ假船舶國籍證書ヲ請受クルコト能ハサルトキハ其後最初ニ到著シタル地ニ於テ之ヲ請受クルコトヲ得
第十四条 日本船舶カ滅失若クハ沈没シタルトキ又解撤セラレタルトキ又ハ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ抹消ノ登録ヲ爲シ且遲滯ナク船舶國籍證書ヲ返還スルコトヲ要ス船舶ノ存否カ六ヶ月間分明ナラサルトキ亦同シ
第十五条 日本ニ於テ船舶ヲ取得シタル者カ其取得地ヲ管轄スル管海官廳ノ管轄區域内ニ船籍港ヲ定メサルトキハ其管海官廳ノ所在地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得
第十六条 外國ニ於テ船舶ヲ取得シタル者ハ其取得地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得
第十七条 第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
日本ニ於テ交付スル假船舶國籍證書ノ有效期間ハ一年ヲ超ユル
コトヲ得
前二項ノ期間ヲ超ユルトキト雖モ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ船長ハ更ニ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得
第十八条 假船舶國籍證書ニ到著シタルトキハ假船舶國籍證書ハ有效期間満了前ト雖モ其效力ヲ失フ
第十九條 第十一條乃至第十四條ノ規定ハ假船舶國籍證書ニ之ヲ準用ス
第二十条 前十六條ノ規定ハ總噸數二十噸未満又ハ積石數二百石未満ノ船舶及ヒ端舟其他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル
第二十一条 前條ニ掲ケタル船舶ノ船籍及ヒ其積量ノ測度ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第二十二条 日本船舶ニ非シテ國籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收ス但捕獲ヲ避ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス
日本船舶カ國籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ニ非サル旗章ヲ掲ケタルトキ亦前項ニ同シ
第二十三条 第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處シ船舶ヲ沒收ス
二十四條 官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登録ヲ爲サシメタル者ハ二月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加ス
前項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リテ處

第二十五条 第六條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十六条 第七條ノ規定ニ從ヒテ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキ又ハ第八條乃至第十二條若クハ第十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十七条 第七條ニ定メタル事項ヲ船舶ニ標示セサルトキ又ハ第八條乃至第十二條若クハ第十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十八条 第二十二条條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ノ規定ハ船長ニ代ハリテ其職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス
第二十九條 第二十二條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ニ定メタル罪ニ付テハ刑法數人共犯ノ例ヲ適用セス
第三十条 第二十七條ノ場合ニ於テ刑法第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ罪ヲ論スヘカラサルトキハ其法定代理人ヲ罰ス
第三十一条 第二十七條ノ規定ハ船舶管理人又ハ商事會社其他ノ法人ノ代表者若クハ清算人ニ之ヲ適用ス
第三十二条 管海官廳ノ事務ハ外國ニ在リテハ日本ノ領事又ハ貿易事務官之ヲ行フ
附則
第三十三条 本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第三十四条 船舶ノ登記ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
明治十九年法律第一號登記法中船舶ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
第三十五条 商法第五編ノ規定ハ商行為ヲ爲ス目的ヲ以テセサルモ航海ノ用ニ供スル船舶ニ之ヲ準用ス但官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶ニ付テハ此限ニ在ラス
第三十六条 同年第十九號布告、同十四年第十二號布告其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ抵觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
第三十七条 明治三年正月二十七日布告商船規則、同十二年第五號布告、同年第十九號布告、同十四年第十二號布告其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ此限ニ在ラス
第三十八条 本法施行ノ際登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ノ所有者カ本法ノ規定ニ依リ船舶國籍證書ト同一ノ效力ヲ有ス但船舶カ船籍港從ヒ登錄ヲ爲シ且船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ要ス
前項ノ規定ニ從ヒテ船舶國籍證書ヲ請受クルマテハ登簿船免狀又ハ船鑑札ハ船舶國籍證書ト同一ノ效力ヲ有ス
第三十九條 本法施行ノ際登簿船免狀ヲ受有スル船舶ノ所有者カ本法ノ規定ニ依リ船舶國籍證書ヲ請受クヘキ場合ニ於テハ其假免狀ハ有效期間ノ満了ニ至ルマテハ假船舶國籍證書ト同一ノ效力ヲ有ス但船舶カ船籍港ニ到著シタルトキハ此限ニ在ラス
登簿船假免狀ノ有效期間カ満了シタルトキト雖モ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ船長ハ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得
アルトキハ船長ハ假船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得
第三十九條 第十四條ノ規定ハ本法施行前ニ同條ニ掲ケタル事由カ生シタルモ未タ登簿船原簿ノ削除ヲ請ハサル場合ニ之ヲ準用ス但同條ニ定メタル二週間ノ期間ハ船舶所有者カ本法施行前ニ事實ヲ知リタルトキト雖モ其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス
本法施行前ニ踪跡ヲ失ヒタル船舶ニシテ未タ登簿船原簿ノ削除ヲ請ハサルトキ亦同シ
第二項ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰

第三十條及ヒ第三十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第四十條 本法施行前ヨリ存否カ分明ナラサル船舶ニシテ未タ舊法ノ期
間カ経過セサルモノニ付テハ第十四條ニ定メタル六ヶ月ノ期間ハ本法施
行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四十一條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム
(政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(岡野敬次郎君) 簡短ニ本案提出ノ理由ヲ申述ベタイト思ヒマ

ス、此船舶法案ハ今回提出ニナリマシタ商法修正案ト離ルベカラザル關係ヲ持テ居リマスル法案アリマシテ前議會ニ於キマシテモ商法修正案ト同時ニ提出セラレタノデアリマシテ既ニ前議會ニ於キマシテモ貴族院ニ於テハ可決セラレマシタ法案アリマスル、今回再應調査ノ上多少ノ變更ヲ加ヘタルモゴザイマスルガ大體ニ於キマシテハ前船舶法案ト異ナル所ハナイノアリマスル、此法案ハ唯今申述ベマスル通商法改正案ト是非共ニ實施セラレナケレバナラナイ法案アリマスルノデ成ルベク早く可決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵高野宗順君 此委員ハ議長ヨリ選定ニナリタイ

○子爵錦織教久君 贊成

○議長(公爵近衛篤齊君) 御異議ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 船員法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十二年二月二十五日

衆議院議長片岡健吉

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

船員法案

第一章 總則

第二章 船員手帖

第三章 船長

第四章 海員

第五章 紀律

第六章 罰則

附則

船員法

第一章 總則

第二條 本法ハ日本船舶ノ船員ニ之ヲ適用ス但湖川、港灣ノミヲ航行スル船舶又ハ船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ノ船員ニ付テハ此限ニ在ラス

第二條 本法ニ於テ船員トハ船長及ヒ海員ヲ謂ヒ海員トハ船長以外ノ一切ノ乗組員ヲ謂フ

第二章 船員手帖

第三條 日本ニ於テ船員ト爲ラント欲スル者ハ管海官廳ニ船員手帖ノ交付ヲ申請スルコトヲ要ス
申請人ハ戸籍吏ノ書面其他ノ公正證書ニ依リテ左ノ事項ヲ證スルコトヲ要ス但申請人カ其本籍地又ハ寄留地ニ於テ申請ヲ爲ス場合ニ於テ其他ノ管海官廳カ戸籍吏ノ職務ヲ行フトキハ此限ニ在ラス

二 本籍地

三 身分

四 出生ノ年月日

未成年者カ船員ト爲ルニハ其法定代理人ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス未成年者カ船員手帖ノ交付ヲ申請スルニハ前條第二項ニ掲ケタル事項ノ外前項ノ許可ヲ得タル旨ヲ證スルコトヲ要ス

第五條 船員ト爲ルコトヲ許サレタル未成年者ハ雇傭契約ニ關シテハ成年者ト同一ノ能力ヲ有ス

第六條 外國ニ於テ船員ト爲リタル者カ日本ニ到著シタルトキハ其到著ノ日ヨリ一个月内ニ船員手帖ノ交付ヲ申請スルコトヲ要ス

第七條 船員手帖ニ記載シタル事項ニシテ第三條第二項ニ掲ケタルモノニ錯誤アリタルトキ又ハ同條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタルモノニ變更ヲ生シタルトキハ船員ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ管海官廳ニ船員手帖ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

第八條 第三條第二項及ヒ第四條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ起算スルコトヲ要ス

第九條 船員手帖カ滅失シタルトキハ船員ハ滅失ナク更ニ其交付ヲ申請スルコトヲ要ス

第十條 船員カ日本ニ在ラサル間ニ於テ船員手帖カ滅失又ハ毀損シタルトキハ船員手帖ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

第十一條 第三條第二項及ヒ第四條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス但キハ船員カ日本ニ到著シタル後遲滯ナク船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二條 船員カ廢業ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク管海官廳ニ其船員手帖ヲ返還スルコトヲ要ス

船員手帖カ毀損シタルトキハ船員ハ遲滯ナク其書換ヲ申請スルコトヲ要ス

第十三條 船員カ日本ニ在ラサル間ニ於テ船員手帖カ滅失又ハ毀損シタルトキハ船員手帖ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

第十四條 船長ハ管海官廳ノ命令アリタルトキハ商法第五百六十二條第一項ニ掲ケタル書類ヲ提出スルコトヲ要ス

第十五條 船舶カ港灣ヲ出入スルトキ、狹隘ナル水路ヲ通過スルトキ其他危險ノ虞アルトキハ船長ハ甲板ニ在リテ自ラ船舶ヲ指揮スルコトヲ要ス

第十六條 日本ト外國トノ間又ハ外國各港ノ間ヲ航行スル船舶カ外國ノ港ニ入港シ又ハ日本ニ到著シタルトキハ船長ハ二十四時間内ニ其港ノ管海

官廳、若シ其港ニ管海官廳ナキトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ航、海日誌ヲ提出シテ其検閱ヲ受クルコトヲ要ス。前項ノ規定ハ船舶カ入港ノ時ヨリ十二時間内ニ發航スル場合ニハ之ヲ適用セス。

管海官廳ハ必要ナル書類ノ提出ヲ命シ又ハ船員、旅客其他船中ニ在リタル者ヲ呼出タシテ訊問ヲ爲スコトヲ得。

第十七條 左ノ場合ニ於テハ船長ハ最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ出頭シテ其報告ヲ爲スコトヲ要ス。

船舶五船中二於テ死亡ミタル者アリタルトキ
船舶カ豫定セサル港ニ寄港シタルトキ又ハ前項第二號乃至第五號ニ掲ケ
タル事由カ碇泊中ニ生シタルトキハ船長ハ其港ノ管海官廳、若シ其港ニ
管海官廳ナキトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ出頭シテ其報
告ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條 前條第一項及ヒ第二項ノ場合ニ於テハ船長ハ報告書ヲ作リ其認證ヲ申請スルコトヲ得

第十九條 船舶ニ急迫ノ危険アルトキハ船長ハ人命、船舶及ヒ積荷ノ保護ニ必要ナル手段ヲ盡シ且旅客、海員其他船中ニ在ル者ヲ去ラシメタル後ニ非サレハ其皆擣スル船舶ヲ去ルコトヲ得ス

第二十條 船舶カ衝突シタルトキハ船長ハ互二人命及ヒ船舶ノ保護ニ必要ナル手段ヲ盡シ且船舶ノ名稱、船籍港、發航港及ヒ到達港ヲ告クルコトヲ要ス但自己ノ指揮スル船舶ニ急迫ノ危険アルトキハ此限ニ在ラズ

第二十一條 船長カ航海中救援ヲ求ムル船舶ヲ認メタルトキハ人命ヲ救フ
コトヲ要ス但自己ノ指揮スル船舶ニ急迫ノ危險アルトキハ此限ニ在ラス
第二十二條 每員カ船中ニ於テ死亡ノレトキハ船長ハ其船中ニ在レ遺棄

ヲ保管スルコトヲ要ス
第二十三條 外國ニ駐在スル日本ノ公使、領事又ハ貿易事務官カ法令ノ定
ムレ所ニ依リ日本臣民ヲ日本ニ送還ベキコトヲ命シテキハ船長、

正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
送還費用ノ償還ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

官廳ニ提出シテ就職ノ認證ヲ申請スルコトヲ得

第二十五條 船長カ死亡シタルトキ、船舶ヲ去リタルトキ又ハ之ヲ指揮スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テ他人ヲ選任セサルトキハ運航ニ從事、ノモ貢ム、其威宣須立ニ至ル。

第四章 海員
第二十六條 海員ノ雇入若クハ雇止ヲ爲シ又ハ雇入契約ノ更新若クハ變更

第二十七條 管海官廳カ公認ヲ爲スニハ海員名簿ニ記載シタル事項ヲ當事者双方ニ讀聞カセタル後之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス但海員ノ雇

止ヲ爲シタル場合ニ於テ正當ノ理由アルトキハ當事者ノ一方カ出頭セサルトキト雖モ公認ヲ爲スコトヲ得當事者カ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル若シ署名スルコト能ハス且印ヲ有セサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル前項ノ規定ニ依リ捺印セス又ハ氏名ヲ代署セシメ若クハ捺印シタル場合ニ於テハ海員名簿ニ其事由ヲ附記スルコトヲ要ス第二十八條 當事者ハ正當ノ理由アル場合ニ限り代理人ヲシテ公認ヲ受ケシムルコトヲ得第二十九條 公認アリタルトキハ海員ハ遲滯ナク其船員手帖ヲ管海官廳ニ提出シテ公認ノ認證ヲ申請スルコトヲ要ス第三十條 海員ノ雇止ニ關シテ争アルトキハ當事者ノ一方ハ管海官廳ニ

第二十九條 公認アリタルトキハ海員ハ遲滯ナク其船員手帖ヲ管海官廳ニ提出シテ公認ノ認證ヲ申請スルコトヲ要ス
第三十條 海員ノ雇止ニ關シテ争アルトキハ當事者ノ一方ハ管海官廳ニ其事由ヲ申立テ雇止ノ公認ヲ申請スルコトヲ得
管海官廳カ前項ノ申請ヲ正當ナリト認メタルトキハ當事者雙方ヲ呼出タシ毎員名簿及ヒ船員手帖ヲ提出セシメテ雇止ノ公認ヲ爲スコトヲ要ス

其事由ヲ申立テ雇止ノ公認ヲ申請スルコトヲ得
管海官廳カ前項ノ申請ヲ正當ナリト認メタルトキハ當事者雙方ヲ呼出タ
シ海員名簿及ヒ船員手帖ヲ提出セシメテ雇止ノ公認ヲ爲スコトヲ要ス
當事者ノ一方カ出頭セサルトキハ管海官廳ハ相手方ノ申立ニ因リテ雇止
ノ公認ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ海員名簿及ヒ船員手帖ニ其事由ヲ
記載スルコトヲ要ス

第三十一條 前二項ノ場合ニ於テハ管海官廳ハ海員名簿又ハ船員手帖ノ提出ヲ強制スルコトヲ得

第三十二条 海員カ雇入期間中脱船シタルトキハ船長ハ遲滞ナク管海官廳ニ其海員ノ船員手帖ヲ返還スルコトヲ要ス
第三十三条 海員ハ雇主アリタル場合ニ於テハ船長ニ對ニ其職務ノ執行又

第三十四條 海員名簿カ滅失又ハ毀損シタルトキハ船長ハ更ニ海員名簿ヲ
ハ品行ニ關スル證明書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
ヨリ之ヲ舊海員簿ニ呈出シテ公認ヲ申請スレコトヲ要ク

第二十七條及ヒ第二十八條ノ規定ハ海員名簿及ヒ海員手帖カ共ニ滅失又ハ毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス但原管海官廳ニ公認ヲ申請スルトキハ此限ニ在ラバ

第三十五條 海員カ雇入期間中第九條又ハ第十條ノ規定ニ依リテ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請シタル場合ニ於テ其交付又ハ書換アリタルトキハ毎員ハ運帶ヲノ第二十ニ七条ニ定ムタレ手續ヲ爲スヨトヲ要ス。

第五章 紀律

三二一 海員ナシニ對ミテ其職務ヲ怠リタルトキ
海員カ他ノ海員ノ職務執行ヲ妨ケタルトキ

五四 海員カ船長ノ許可ヲ得シテ船舶ヲ去リタルトキ又ハ船長カ指定シタル時マテニ歸船セサリシトキ

八七六 海員カ船長ノ許可ヲ得シテ端艇ヲ使用シタルトキ
海員カ食料又ハ飲料ヲ濫費シタルトキ

トキ
十 海員カ酩酊シテ事ヲ省セサルトキ

第六十五條 船長カ正當ノ理由ナクシテ船舶ヲ遺棄シタルトキハ一月以上
二年以下ノ重禁錮ニ處ス
船長カ外國ニ於テ正當ノ理由ナクシテ海員ヲ遺棄シタルトキハ一月以上
一年以下ノ重禁錮ニ處ス
第六十六條 海員カ船長ノ許可ヲ得シテ兇器、爆發又ハ發火シ易キ物、劇
藥其他ノ危險物ヲ所持スルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第六十七條 故ナク船體若クハ機關ノ要部ヲ毀損シ又ハ重要ナル屬具ヲ毀
損若クハ放棄シタル者ハ十一日以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
前項ノ罪ヲ犯シ因テ船舶ノ運航ヲ妨ケタルトキハ一等ヲ加ヘ船舶ヲ覆沒
シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ重懲役ニ處ス
第六十八條 船舶ノ運航ヲ妨クル目的ヲ以テ前條第一項ノ罪ヲ犯シタル者
ハ重懲役ニ處シ因テ船舶ヲ覆沒シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ刑法第百
六十九條 ハ重懲役ニ處シ因テ船舶ヲ覆沒シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ刑法第百
六十九條ノ例ニ依リテ處斷ス
第六十九條 海員カ上長ニ對シテ脅迫ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法各本條ノ
例ニ照シ一等ヲ加フ
刑法第三百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニハ之ヲ適用セス
第七十條 海員カ上長ニ對シテ殴打創傷ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法各本
條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ
第七十一條 船長カ旅客、海員其他船中ニ在ル者ニ對シテ其職權ヲ濫用シ
又ハ虐待ヲ爲シタルトキハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ十圓
以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病、死傷ニ致シタルトキハ前條ノ例ニ依リテ
處斷ス

第七十二條 海員カ相黨與シテ左ノ行爲ヲ爲シタルトキハ各號ノ區別ニ依
リテ處斷シ首魁ハ一等ヲ加フ
一 職務ニ服セス又ハ上長ノ命令ニ服從セサルトキハ十一日以上六月
以下ノ重禁錮ニ處ス

二 脱船シタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

三 第六十九條 又ハ第七十條ノ罪ヲ犯シタルトキハ各本條ノ例ニ照シ

第七十三條 船員カ著シク其職務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損若クハ覆沒シ又ハ
人ヲ死傷ニ致シタルトキハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ十圓以
上千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十四條 本章ノ規定中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代ハリテ其職務
ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第七十五條 本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ關シテハ勅令ヲ以テ別ニ本法施行ノ期
日ヲ定ムルコトヲ得

第七十六條 明治十二年第九號布告西洋形船海員雇入雇止規則ハ本法施行
ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但本法施行前ニ同規則ニ定メタル罰則ヲ適用スヘキ
行為アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ其罰則ヲ適用ス

第七十七條 船員ハ本法施行ノ日ヨリ六ヶ月間ハ船員手帖ノ交付ヲ申請ス
前項ノ期間經過ノ後ハ船員ハ遲滯ナク船員手帖ノ交付ヲ申請スルコトヲ

第六十五條 船長カ正當ノ理由ナクシテ船舶ヲ遺棄シタルトキハ一月以上
二年以下ノ重禁錮ニ處ス
船長カ外國ニ於テ正當ノ理由ナクシテ海員ヲ遺棄シタルトキハ一月以上
一年以下ノ重禁錮ニ處ス
第六十六條 海員カ船長ノ許可ヲ得シテ兇器、爆發又ハ發火シ易キ物、劇
藥其他ノ危險物ヲ所持スルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第六十七條 故ナク船體若クハ機關ノ要部ヲ毀損シ又ハ重要ナル屬具ヲ毀
損若クハ放棄シタル者ハ十一日以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
前項ノ罪ヲ犯シ因テ船舶ノ運航ヲ妨ケタルトキハ一等ヲ加ヘ船舶ヲ覆沒
シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ重懲役ニ處ス
第六十八條 船舶ノ運航ヲ妨クル目的ヲ以テ前條第一項ノ罪ヲ犯シタル者
ハ重懲役ニ處シ因テ船舶ヲ覆沒シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ刑法第百
六十九條 ハ重懲役ニ處シ因テ船舶ヲ覆沒シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ刑法第百
六十九條ノ例ニ依リテ處斷ス
第六十九條 海員カ上長ニ對シテ脅迫ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法各本條ノ
例ニ照シ一等ヲ加フ
刑法第三百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニハ之ヲ適用セス
第七十條 海員カ上長ニ對シテ殴打創傷ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法各本
條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ
第七十一條 船長カ旅客、海員其他船中ニ在ル者ニ對シテ其職權ヲ濫用シ
又ハ虐待ヲ爲シタルトキハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ十圓
以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病、死傷ニ致シタルトキハ前條ノ例ニ依リテ
處斷ス

第七十二條 海員カ相黨與シテ左ノ行爲ヲ爲シタルトキハ各號ノ區別ニ依
リテ處斷シ首魁ハ一等ヲ加フ
一 職務ニ服セス又ハ上長ノ命令ニ服從セサルトキハ十一日以上六月
以下ノ重禁錮ニ處ス

二 脱船シタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

三 第六十九條 又ハ第七十條ノ罪ヲ犯シタルトキハ各本條ノ例ニ照シ

第七十三條 船員カ著シク其職務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損若クハ覆沒シ又ハ
人ヲ死傷ニ致シタルトキハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ十圓以
上千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十四條 本章ノ規定中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代ハリテ其職務
ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第七十五條 本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ關シテハ勅令ヲ以テ別ニ本法施行ノ期
日ヲ定ムルコトヲ得

第七十六條 明治十二年第九號布告西洋形船海員雇入雇止規則ハ本法施行
ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但本法施行前ニ同規則ニ定メタル罰則ヲ適用スヘキ
行為アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ其罰則ヲ適用ス

第七十七條 船員ハ本法施行ノ日ヨリ六ヶ月間ハ船員手帖ノ交付ヲ申請ス
前項ノ期間經過ノ後ハ船員ハ遲滯ナク船員手帖ノ交付ヲ申請スルコトヲ

第七十八條 従來ノ海員名簿ハ本法施行ノ日ヨリ六ヶ月間ハ商法ニ定メタ
ル海員名簿ト同一ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間内ニ公認アリタルトキハ其期間經過ノ後ト雖モ其後始メテ公
認アルマテハ從來ノ海員名簿ハ仍ボ其效力ヲ有ス
第七十九條 本法ノ規定ニ依リ管海官廳カ行フヘキ事務ニ付テハ主務大臣
ハ市町村長、市制又ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ戸長又ハ之ニ
準スヘキ者ヲシテ其事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第八十條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム

(政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(岡野敬次郎君) 此船員法案ハ矢張船舶法案ト同一ノ理由ヲ以テ
提出セラレマシタ法案デアリマシテ、前議會ニ於キマシテハ同一ノ運命ニ遭
遇シタ法案デ是モ船舶法案ト同様ニ成ルベク速ニ可決セラレントヲ希望致
シマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 御異議ガナクハ委員選定ニ移リマス

○子爵堤功長君 是ハ前ノ船舶法案ト同一委員ニ付託ヲ…

○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公爵近衛篤曇君) 御異議ガナクバ船舶法案ト同一委員ニ付託致シマ
ス

○議長(公爵近衛篤曇君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○子爵堤功長君 是ハ前ノ船舶法案ト同一委員ニ付託ヲ…

○議長(公爵近衛篤曇君) 教育基金特別會計法案、政府提出、第一讀會ノ續、
特別委員長報告

(久保田讓君演壇ニ登ル)

○久保田讓君 本案ハ一昨二十五日第一讀會ヲ開カレマシテ小學校教育費國
庫補助法案ノ特別委員ト同一委員ニ付託ヲ致サレマシタ、即日委員會ヲ開キ
マシテ調査ヲ致シマシタ、委員ハ九名悉ク出席ニナリマシテ文部大臣竝ニ附
府委員モ出席ニナリマシテサウンテ段々質問ナゾモゴザイマシテスガ其質問
ハ極簡單ナコトデアリマシテ此金ヲ如何ナル費用ニ用ヒルカト云フコトニ附
イテノ質問デ即チ費用ノ方法ニ附イテノ質問ガアリマシタ、ソレハ政府ノ答
ニ據リマスレバ此費用ハ卽チ第三條ニ書イテアル通普教ノ費用ニ使スル
モノデアル、サウシテ其事柄ハ專ラ小學校ノ教員ノ獎勵ノ費用ニ使用スルト
云フコトデアリマス、其外別段質問モゴザイマセヌデ全會一致ヲ以テ可決致
シマシタコトデアリマス、唯其費用ノ方法ニ附イテハ段々政府ニ注意ヲサレ
タ人モゴザイマスガ是ハ格別今此處デ申上ゲル必要モナイト存ジマスカラ省
略ヲ致シテ置キマス、抑此件ハ日清戰爭ノ名譽ナル大勝利ハ偏ニ海陸軍將校
士卒ノ忠勇武烈ナル効ニ依リマスコトハ勿論デアリマスルガ抑又教育ノ結
果ニ依リマシテ斯ノ如キ大功ヲ盡シタルト云フコトハ此法律ニ依クテ表明スル
コトニナリマシタノデ大ニ國家教育ヲ獎勵シ又同時ニ國民ノ愛國心ヲ鼓舞獎
勵スル所以デアリマシテ學政ニ取リマシテハ頗ル洪益アルコトデアリマス、
ソレデ此ノ如キ大體ノコトニ附キマシテハ是マデ當議場ニ於テモ屢々論辯モ
アリマシタコトデアリマス、又世間デハ新聞ナリ雜誌ナリ或ハ演説ナリニ詳
シク論述ニナシテ居リマスコトデアリマスカラ、今更詳シク申上ゲル必要モナ
イデアリマス、ソレ故ニ委員會ニ於テモ斯ノ如キ大體論ニ附イテハモウ別段
議論モナカタコトデアリマス、而シテ斯ノ如キ趣味アル所ノ教育基本金ト云

フモノヲ政府デ以テ積立テタト云フコトハ是マデ恐ラク各國ニモ類例ノナイコトデアラウト思フノデゴザイマス、彼ノ佛蘭西ナリ獨逸ナリニ於テ戰爭ノ後ニ都府ニ凱旋門ヲ立テサウシテ敵國カラ得タ所ノ大砲环ヲ飾附ケテサウシテ堂々タル凱旋門ヲ起シタリ或ハ又非常ニ高イ所ニ紀念塔ヲ興シタリスルヤウナコトハ間々アルノデアリマスガ、ソレ等ノ舉ニ比シマンテハ遙ニ高尚デアラテ且ツ文明的ノコトデアリマシテ此一事ハ大ニ他ニ誇ルニ足ルコト、本員ハ信ズルノデゴザイマス、サウシテ是ハ教育歴史上ニ於テ著名ナル事蹟ナルト考ヘルノデゴザイマス、偶々少シ遺憾ニ存ズルノハ金額ガ餘り巨大デナイコトデアリマスガ、併シ是ハモウ今日ニナシテハ如何トモ致方ナイコトデアリマスカラ願ハクハ政府ハ此教育基金ヲ將來種々ノ方法ヲ以テ或ハ政費ニ残餘ノアラタキ又ハ山林官林环ノ拂下环ノ方法ヲ以テ成ルベク此教育基金ヲ増加ヲセラル、コトニ注意ヲサレタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、而シテ此事柄ハ御承知ノ通モウ全國輿論ノ歸スル所デアル既ニ本院环モ續々請願ガ出テ居リマス、又各省ノ大臣ヘモ段々建議ニナシテ居ルヤウナコトデアリマシテ一人モ殆ド異議ノナイヤウナコトデアリマスカラドウカ願ハクハ満場一致ヲ以テ御賛成アラテ速ニ可決ニナランコトヲ希望シマス

○千阪高雅君 委員長ニ少シ質問ヲ致シタウゴザイマス、此普通小學ノ教育基金ニ償金ノ一部ヲ充テルト云フコトハ本員环モ熱心ニ希望致シタ一人デゴ相談ガアラタラウカドウ云フコトデアルカ、伺ヒタイ

○久保田讓君 御答致シマス、是ハ委員會デハ別段ニ議論ハゴザイマセヌデシタガ先達第一讀會ノ節ニ本員カラ政府ニ御尋ラ致シタ其趣意ハ今千阪君ノ御希望ニナシタ通ノ次第ゴザイマシテ政府カラシテ此金ヲ千万圓積マルレバ又町村モ矢張ソレト同ジク千万圓位ハ積ンダラ宜カラウト云フ建議者ノ考デアラタノデアリマスカラシテ若シ左様ナ話ノアラタトキニ其金ヲ此教育基金ニ入レルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ附イテ御尋ラ致シタ、所ガ政府委員ハ答ヘテソレハ一向差支ナイコトデ即チ此教育基金ノ内へ加ヘルコトハ出來ルト云フ御説明デアリマシタ、ソレデ本員ノ考ヘル所デハ是ハ即チ教育基金特別會計法即チ政府ノ會計法デアリマスカラシテ其問題ハ矢張別問題デアラタニ是カラシテ或ハ法律ヲ以テ又命令ヲ以テ此方法ヲ盡スコトヲ致セバ即チ此教育基金ヘハ尙ホ加ヘルコトガ出來ルコトデアラウト信シテ居ルノデアリマス、委員會デハ別ニ問答ハゴザイマセヌデレタ

○子爵鍋島直彬君 此案ハ満場ノ諸君ニ於テモ別ニ御異論ハアルマイカト思ヒマスカラドウカ讀會省略ヲ以テ……

○千阪高雅君 モウ少シ質問致シタウゴザイマスガ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 宜シウゴザイマス

○千阪高雅君 政府委員ニ問フテ見タインデゴザイマス、政府委員ニ於テハ此一件ニ附イテハ文部省ノ命令トカ省令トカ或ハ又命令トカ何カラ以テ是ニ附イテ各町村ニ積金ヲサセル精神デアルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイ

○政府委員(柏田盛文君) 唯今ノ御質問デゴザイマスガ、償金ノ同額ダケ或

ハ其倍ダケヲバ町村ニ積マセタイト云フ議ハ追々此前ヨリアウタコトデゴザイマスガ、併ナガラ文部省ニ於キマシテハ其コトハ美譽デハアリマスケレドモ俄ニ行ヒ難キコト、認メマシタ、ソレ故ニ將來ノコトハ分リマセヌケレドモ唯今ノ所デハ別段町村ニ積立テサスルト云フ評議ハゴザイマセヌカラソレダケヲ……

○千阪高雅君 說明モ大概分リマンテゴザイマスガ、然ラバ各市町村ニ於テ地方官ノ方カラ申立テ、地方官ガ何カ方法ヲ以テ申立テルト云フヤウナコトガアラタラバ矢張此金ヲ本トシテ積金ノ方ニサセル、積金トシテ御許ニナルト云フ精神デゴザイマスカ、ソレハ許サヌト云フ御意見デゴザイマスカ

○政府委員(柏田盛文君) 其地方ニ於テ教育基金ヲバ積立テルト云フコトハ最モ希望スルコトデゴザイマスカラ其コトヲバ申出テマスレバ喜ンデ勿論許可ニナルコト、思ヒマス

○子爵曾我祐準君 委員長ニ少シ御尋致シタウゴザイマスガ、唯今ノ御説明ノ内ニハシキリ分リマセヌデヤタガ、小學校教員ノ何ニ使フノデスカモノハ小學校ノ教員中デ品行モ方正デアラタリ學力モ衆ニ超エテ居ル、勉勵モ衆ニ超エテ居ルヤウナ人ヲ選ンデサウシテソレニ獎勵金ヲ與ヘテ獎勵ヲスルト云フヤウナ次第ゴザイマス

○子爵曾我祐準君 若シ此基金ナカタセバ小學校ノ教員ト云フモノヘハマルデ獎勵法ハ立タナインデアリマスカ、此基金ナカタセバ小學校ノ教員ト云フモノハ幾ラ勉強シテモ獎勵金ヲ與ヘヌト云フコトヲ頼ヒマス

○久保田讓君 ソレハドウカ政府委員ニ御尋ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 政府委員カラ説明ヲ願ヒマス
(政府委員柏田盛文君演壇ニ登ル)

○政府委員(柏田盛文君) 唯今ノ御質問ハ少シ分リ兼ネマンシタガ、若シ此償金ヲバ獎勵基金ト云フコトニシナケレバ外ニ獎勵セヌ積カト云フ御尋デ……

○子爵曾我祐準君 違ヒマス、元來唯今デハ小學校ノ教員环ガ非常ニ勉勵シタトカ何トカ云フ者ノ其獎勵ハ如何ニナシテ居リマスカ、之ヲ第一番ニ確メテ置キタイ、又此先キノ所ハ獎勵スベキモノノデアルシテモ此基金ガナカセバ獎勵ハシ能ハヌノデアルカ、以後ハ此教育基金が出來ルニ依フテ獎勵シ能フノデアルガ、此基金ナカタセバ此先キハ獎勵法ハ到底行ヒ得ナイト御認メニナシテ居ルノデアリマスカ、私ノ考ヘル趣意ト云フモノハ例令此基金ガナクマテモ政府ハ相當ナ獎勵ノ方法ヲ取ルベキガ道理デアラウト思フ、此基金ヲ備ヘタガタメニ獎勵ニ用ヒル金ハ多クナルト云フコトハ免モ角モダカ此基金ガナケレバ小學校ノ教員ト云フモノハマルテ獎勵ヲシナイト云フコトニ元來ガ出來テ居ルノカ、又政府ハ其方針デアルカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス

○政府委員(柏田盛文君) 唯今マデノ所デハ別段ニ獎勵ト云フタメニ金ヲ使フコトハナイヤウニ思ヒマス、或ハ年功加俸デアルトカ或ハ恩給デアルトカ其他一般ノ法律ニ依ラテ恩典ヲ受ケル所ノ者ハアリマスケレドモ特別獎勵金トシテ出ス金ハナカタト思ヒマス、又將來ノ所ニ於キマシテハ此處テ明言申ス譯ニハイキマセヌケレドモ國庫補助ト云フヤウナ金ガ十分ニ出ルヤウニナリマスレバ其中ニ唯年功加俸バカリデハナクシテ或ハ特別加俸ヲバ尔斯ト

○政府委員(柏田盛文君) 唯今ノ御質問デゴザイマスガ、償金ノ同額ダケ或

- 子爵曾我祐準君 此金ヲ以テ法律ニ極メテ居ル所ノ年功加俸禄ニ使フト云
考ヲ持チマシテ成ルベク其方ニ向ケルト云フコトニ唯内議ダケガ略ミ決ッテ
居ルノデアリマシテマダ是ガ確定シタト云フコトデハナイト云フコトヲ委員
會デモ申シテ置キマシタ、ドウゾ左様……
- 子爵曾我祐準君 此金ヲ以テ法律ニ極メテ居ル所ノ年功加俸禄ニ使フト云
考ハマルデナインデアリマスカ
- 政府委員(柏田盛文君) イヤ、ソレハアリマセス
- 中島永元君 鍋島子爵ノ讀會省略ノ說ニ贊成致シマス
- 山田卓介君 贊成
- 小原重哉君 贊成
- 子爵小笠原壽長君 贊成
- 子爵木莊壽亘君 贊成
- 男爵金子有卿君 贊成
- 男爵南光利君 贊成
- 三浦安君 贊成
- 三田昇馬君 贊成
- 渡邊洪基君 贊成
- 武井守正君 贊成
- 議長(公爵近衛篤齊君) 讀會省略ノ動議ハ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君
ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵近衛篤齊君) 起立者 多數
- 議長(公爵近衛篤齊君) 次ニ本案可決ト認メテ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシト呼フ者多シ」)
- 議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ可決ニナリマシタ、取引所法中改正法律案、
政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告
- (男爵尾崎三良君演壇ニ登ル)
- 男爵尾崎三良君 此取引所法案ハ極ク簡単ナ法律デアリマス、依ッテ一昨
日委員會ヲ開キマシテ審査ヲ遂ゲマシタンデゴザイマスルが御覽ノ通極簡單
ナ法律デアリマス故ニ又其理由モ極簡單ニアリマス、テ政府委員モ出席致サ
レ篤ト其理由ヲ承リマシタガ別段ニ深イ意味モナイノデ、此理由書ニ書イ
テアル通ノ話テ、即チ現行ノ法律ニハ、第十一條ノ第一項ニ「帝國臣民ニ非
サレハ取引所ノ會員株主又ハ仲買人トナルコトヲ得ス」ト斯ウ現行法ニハア
ルノデ、即チ外國人ハ是ノコトニナルコトガ出來ナイ、會員株主仲買人ト
云フモノニナルコトハ最早必要ハナイ、依ッテ此際此第十一條ヲ修正致シテ唯其
株主ト云フ二字ヲ削ッテサヘ仕舞ヒマスレバ即チ廣く内外人トモ此株ヲ所
有スルコトガ出來ルト云フノデアリマス、ソレダケノ理由デアリマスカラド
ウゾ諸君ニモ速ニ御議定アランコトヲ希望致シマス、序ナガラ斯ノ如キ短
モノデアリマスカラドウカ讀會ヲ省略シテ直チニ議決ナランコトヲ希望致シ
マス

- 子爵本莊壽亘君 読會省略ニ贊成
- 子爵小笠原壽長君 本莊君ノニ贊成、イヤ讀會省略ニ……
- 子爵錦織教久君 贊成
- 子爵堤功長君 贊成
- 瀧兵右衛門君 贊成
- 三田昇馬君 贊成
- 渡邊洪基君 贊成
- 菊池長四郎君 贊成
- 鳥越貞敏君 贊成
- 議長(公爵近衛篤齊君) 読會省略ノ動議ハ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君
ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵近衛篤齊君) 起立者 多數
- 議長(公爵近衛篤齊君) 御異議ガナクハ原案可決ト認メマス
(「異議ナシト呼フ者アリ」)
- 議長(公爵近衛篤齊君) 長野縣下郡廢置及郡界變更法律案、政府提出、第
一讀會ノ續、特別委員長報告
- (伯爵德川達孝君演壇ニ登ル)
- 伯爵德川達孝君 長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ノ委員會ニ於ケル經
及結果ヲ御報道ニ及ビマス、本案ハ去ンヌル二十四日及二十五日ノ兩日ニ委
員會ヲ開キマシテ政府委員ニモ質問モ致シ、十分ニ審議ヲ盡シマシタル所、
一名ニ對スル六名ノ大多數ヲ以チマシテ本案ハ否決ニ相成リマシタ次第ゴ
ザイマス、其否決ニナリマシタ所ノ理由ヲ申述ベマス前ニ一應贊成者ノ方ノ
申ス所ヲ申シマスレバ此法律案ノ中ニモゴザイマスル如ク下水内郡及下高井
郡ハ區域ガ甚ダ狭イコッデモアルシ現在ノ儘デハ逆モ其郡政上又經濟教育殖
產等ニ於テハドウモ十分ニハ自治ノ體面ヲ維持スルコトモ困難デアルコトデ
アレバ幸ヒ此兩郡即チ下水内ト下高井ノ兩郡ノ地勢人情風俗等ハ能ク似テ居
ルコトデゴザイマスルカラ之ヲ合併シテ本案即チ政府カラ提出致サレタ所ノ
法律案ノ如ク區域ヲ廣大ニスルハ將來郡治上ニ於テ都合モ宜シクアルダラ
ウ、殊ニ此縣會杯テハ此分合ノコトニ附イテハ請願建議等モゴザイマシテ
屢々分合ノコトヲ建議サレタコトモアル譯故ニ縣治上已ムヲ得ナイコトデア
ルカラ本案ノ如クナツタ方ガ宜カラウト云フ所ノ趣意ヲ以テ贊成者ハ贊成サ
レタ譯デアリマス、又否決論者即チ此本案ニ反對スル所ノ論者ノ大要ヲ申述
ベマスルガ此論者ノ中ニモ斯ウ云フ風ニ此郡ヲ廢置スルトカ又ハ郡界ヲ變置
スルト云フコトハ絶體的ニシナシ方ガ宜イ、郡制實施以來續イテ居ルニッテア
ルカラ一朝ヤタラニ變更スルト云フコトハ大キニ宜シクナイカラシテ絶體的
反對、斯ウ云フ論者モアル、又同ジ反對論者ノ中ニモサウデナイ、時機ガ到
來スレバ宜イガ、時機ガ到來セヌ中ニ此變更廢止ト云フコトハ當分ヨシタラ
宜カラウト云フコトハ絶體的ニシナシ方ガ、誦リ雙方反對論者ノ申ス所ヲ綜合シ
テ大意トシテ申述ベレバ先づ是カラ申スヤウテ譯デゴザイマス、其大要ハ郡
村ノ組織ト云フモノハ山河自然ノ形勢ニ依ッテ出來テ居ルモノデアル、御存
知ノ如ク下ト云フモノハ長野縣下ニ於ケル所ノ有名ナ大河モノデアリマスカラ
モノデアリマスカラドウカ讀會ヲ省略シテ直チニ議決ナランコトヲ希望致シ
テ大意トシテ申述ベレバ先づ是カラ申スヤウテ譯デゴザイマス、其大要ハ郡

居ル其他風俗人情ニ依フテ發達シテ今日ノ有様ニナツテ居ル故ニ一朝人爲ヲ以テソレヲ容易ニ變更スルコトハ甚ダ其當ヲ得タモノデナカラウト思フ、殊ニ此長野縣ノ如キヘ其郡村ノ變更ヲシナケレバ郡制施行上ニ於テ不都合デアラウト云フ譯デモナク、開ク所ニ依レバ郡制ヲ實施シテ今日ニ至ラタマデハ最早大分ノ星霜ヲ經テ數年ヲ經タ故ニ今更ソレヲ改メルモ如何デアラウカ、又

(男爵金子有卿君一簡單ニ願ヒマス御報告ニ賛成シマスガラ……ト
〔説フ〕

〔一〕贊成〔二〕呼「者數名乃則」

○請長(公篤近衛篤磨君) 曾我子篤 是ハ

○子節曾我禱進君 や是ハ讀會省略云詰末致シマゼ又
○子爵公千歲君 燥案ニ賞成シテガリナカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマ
子爵三一城君 廉第ニ賛成元ニヤ

ス、
本案第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者ハゴザイマセヌカラ是ハ否決ニナリマシ

水先法案 政府提出 第一讀會ノ續 特別委員長報告

(磯邊包義君演壇ニ登ル)
〔明治二十一年六月一日上〕

○ 確邊包義君 徵報告申上グマ、本案ハ去二十四日八午前午後ニ於キマシテ特別委員會ヲ終了致シマシテゴザイマス、本案ハ大體ニ就キマシテハ誠

ニ單純ナ案デゴザイマスルケレドモ第二條ニ於キマシテ詰ル所此水先人ハ帝國至民アナケレバナラヌト云フ說ガ出マシテ、出席委員ハ殘ラズワレニ贊成

デゴザイマシタ、尤モ最初ハ帝國臣民バカリデナケレバナラナイ、外國人ニ
チノテハナラナヨト云フコトアゴザイマシタナノトモ殺々比實祭ニ於キマシ

テハ未ダ日本ノ水先人ト申シマスルモノハ僅ノ八數デゴザイマシテ到底日本

ハカリテハ當時逆モ水先人ヲ得ルコトハナラナイト云フ段々政府委員カテモ説明デゴザイマシテ遂ニ此第三十三條ガ加ハルコトニナリマシテゴザイマ

ス、其他ニ於キマシテハ茲ニ少々ノ修正ガゴザイマスガ、總テ一人モ別段異議ヲ申ス者ハゴザイマセヌデゴザイマシタ、チヨウト此改正ノ段ヲ申上ゲテ

貴族院議事速記錄第三十五號

明治三十二年二月二十七日

水先法案

第一讀會ノ讀

二五

置キマス、第二條ノ「水先免狀ハ主務大臣ノ定ムル試験規定ニ依リ試験ニ合格シタルコトニ「水先人名簿ニ登録セラレタル者ニ授與ス」トゴザイマシタノヲ「左ノ條之ニ改マリマシタ、ソレカラ第十八條ニ於キマシテ十八條ノ二項デゴザイマス」
件ヲ具備スル者ニ授與ス、一、帝國臣民ナルコト、二、主務大臣ノ定ムル試験規程ニ依リ試験ニ合符シタルコトニ「水先人名簿ニ登録セラレタルコト」
ス「水先人組合ハ主務大臣ノ認可ヲ經テ規約ヲ定ムヘシ」ト申シマスノヲ「水先人組合ハ規約ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ」、ソレカラ第十九條デアリマス、十九條ノ第二項ニ「殺傷シタルトキ」トゴザイマスノヲ「死傷ニ致シタルトキ」是ハ殺傷ト死傷トニハ別段趣意ハゴザイマセヌ、外ニ總テ死傷トナッテ居リマスルカラ他ノ法律ニ於テモ又同一ニト云フコトデ是ニ改マリマシタ、ソレカラ第二十二條ニ於キマシテ「水先人其ノ業務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損シ若ハ之ヲ覆沒セシメ」毀損ノ下ニシノ字ヲ加ヘマシテ「若ハ」ノ下ニ「覆沒シ」トアルノヲ「之ヲ沈没セシメ」ト變ヘマシタ、是モ覆沒トゴザイマスルノハ矢張、外ニ「沈没」云フコトガゴザイマシテ沈没ト云フノガ至當デアラウト云フコトデ變ハリマシタノデ是モ別ニ趣意ハゴザイマセヌノデ、ソレカラ第二項ニ於キマシテ「船舶ヲ毀損シ」毀損ノ下ニシノ字ヲ加ヘマシテ「若ハ之ヲ沈没セシメ」是モ矢張覆沒ト云フ字ヲ「沈没」ニ改メマシタバカリデ、ソレカラシタ此三十三條ノ未書ハ「此法律施行後五箇年ヲ限リ主務大臣ハ第二條第一項ノ規定ニ關ハラス水先免狀ヲ授與スルコトヲ得」前項ニ依リ授與シタル水先免狀ハ前項期間満了ノ後ト雖モ其ノ效力ヲ失フコトナシト是ハ五箇年マデハ今日マデノ通ニ致シマセヌト何分日本ノ人デゴザイマシテハ此水先人ニ適當シマスルモノガ到底不足ヲ致シマスルト云フコトデゴザイマス、此案ハ條ハ右ノ如ク三十三條モゴザイマスルケレドモ事柄ハ至フテ單純ナ船業上ノコトデゴザイマスルデ成ルベク速ニ通過アランコトヲ希望致シマス
○子爵内藤政共君 本員ハ此委員デアリマシタケレドモ丁度此委員會ノ折
ハ豫算委員會ト同時ニ開カレマシタ故ニ出席スルコトガ出來ヌデアリマシタカラ少々此委員長ノ精神ヲ質問シタイ、全體此水先人ト云フモ、權限ニ附イテハ船長ガ居ル所ニ水先人が乗込ンダ折ニハ總テ船長ノ責任ト云フモノハ水先人ニ移ルト云フ法律ノ精神デアリマスカ、或ハ水先人ト船長モ亦幾分カ責兼任ヲ持テ居ルト云フコトデアリマシタラウカ、委員會デハソレニ附イテ政府委員ニ對シテノ質問ガアリマシタラウカ、ソレヲ一つ伺ヒマス、ソレカラモウ一つハ此第二十二條ニ沈没セシタルトキニハ云々トナシテ居リマス、是ハ確カ船長ノ方ノ規定ニハ此船長ハ確カ免狀ノ停止ト禁止トニ止マテ居ルト考ヘテ居リマスガ此方ハ免狀ノ停止ト云フコトデナクニ十一條ノヤウニ異ツテ居リマスノハ如何ナル所以デアリマスカ、此二箇條ヲ…
○磯邊包義君 御答ヲ申シマスガ最初ノ御問ノコトニ附キマシテハ大體此總テノ各條ニ於テ其事ハ現ハレテハ居リマセヌカラ委員會ニ於テハ別段ニ左様ナル質問モゴザイマセヌデシタ
○子爵内藤政共君 然ラバドウゾ委員長ノ御意見ガアリマスカ、或ハ政府委員カラデモチヨウト此コトヲ伺ヒタ
○磯邊包義君 フレハ委員長ノ意見デゴザイマスレバ此水先人ト申シマステノ各條ニ於テ其事ハ現ハレテハ居リマセヌカラ委員會ニ於テハ別段ニ左様ナル質問モゴザイマセヌデシタ

ゴザイマス、是ハ大抵イヅ方ノ港ニ於キマシテモ水先人ハサウナフテ居リマス、船長ニ於キマシテハ我船ヲ保護スルト云フコトニ於キマシテハ無論責任ガアリマス、私ハ左様ニ心得テ居リマスアルヤウナ沈没セシメタト云フトキニハ是ハ水先人バカリデ船長ニハ何モ責任ハナインデアリマスカ

○子爵内藤政共君 チヨットモウ一應伺ヒマス、サウ致スト此第二十二條ニアルヤウナ沈没セシメタト云フトキニハ是ハ水先人バカリデ船長ニハ何モ責任ハナインデアリマスカ

○磯邊包義君 其事柄ニ依リマシテ船長ハ即チ沈没致シマスレバ其時ニソレシマス、水先人ハ矢張水先ノ方ニ依ツテ決シマス、兩方ニ罪ガアレバ兩方トモ罰セラレル譯デ片一方ニ罪ガアレハ片一方ハ無罪デアリマス、ソレハ是マテガ大抵サウ云フコトニナツテ居ルノデ改メテ今日此法案が起フタノデハナイノデ、ソレハ從前ノコトガ御質問デゴザイマスナラバ從前ノコトハ政府委員ガ能ク心得テ居リマスカラ其方ヨリ御聽取リヲ願ヒマス

○子爵内藤政共君 二十二條ノ方ノ御答ヲ願ヒマス

○磯邊包義君 二十二條ハ矢張唯今申上ゲルヤウナ譯デソレニ籠ヲテ居リマス、勿論二十二條ノ所ノ御答ヲ申シタ積デゴザイマス

○子爵内藤政共君 チヨット本員ノ質問シマシタ所ヲ御聽取リニナラナカツカト思ヒマス、二十二條ノ所デハ此水先人ハ船舶ヲ毀損シ或ハ沈没セシメルト云フコトガアツタ時分ニハ此三年以下重禁錮トナツテ居ル、然ルニ船長ハ船ヲ沈没セシメタトカ何トカ云フコトガアリマシタ時分ハ是ハ免状ノ禁止或ハ停止デ済ンデ居リマスル、故ニ是ガ水先人ニ對シテハ重禁錮ニナリ船長ニ對シテハ是ガ免状ノ停止或ハ禁止ニナツテ居リマスガコ、ラノ所ハ委員會デハ何カ御詫ガアリマシタラウカト云フコトヲ……

○磯邊包義君 實ハ私ガ質問致シマセヌト申シマスルモノハ今申上ゲマシタ通デゴザイマス、此水先人ガ船ヲ沈没セシメタルトキハ此二十一條ニ依テ處斷ガナケレバナラヌ、船長ノ方ハ是ハ別段デゴザイマス、是ハ即チ水先法案デゴザイマステ水先人ノ法律デアル、船長ノ方ハ自カラ是マデソレハ海員ノ色ノノ法律ガゴザイマシテ其方ニ依テ處斷サレマスノデゴザイマス、是ハ第二十二條ハ單ニ水先人ニ限テ居リマスノデ船長ハ云フテハナインデ船長ハ無論此船ニ對シテ責任ガゴザイマスレバ船長ガ沈没セシメテ罪ガゴザイマスレバソレゾレ他ノ法律ニ依ツテ罰セラレルコトハ無論デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ私ハ分リキッタコト、思ヒマスデ別段ニ質問ハ致シマセヌデゴザイマシタ御分リニナリマシタカ

○子爵内藤政共君 分リマシタ、チヨットモウ一應シマスト船長ノ方ハ停止或ハ禁止デ済ンデ居ルノニ此二十二條デ水先人デアルト云フト重禁錮ニナツテ居ル、是デ權衡ヲ得テ居ルト云フ御考デアリマスカ如何デアリマス

○磯邊包義君 ソレハ權衡ヲ得テ居ルト云フ考デアリマス

○子爵本荘壽巨君 私モチヨット質問ガアリマスガ第八條ニ二艘以上ノ船舶ニ於テ同時ニ水先信號ヲ爲シタルトキハ近イ船ニ行ケト云フヤウニナツテ居ル、併シ一方ノ船ガ危難ニ罹ル場合ニ於テハ遠近ニ拘ラズ其ノ危難ニ罹ルテ居船ニ行ケト云フコトニナツテ居ル、コノ罹ルト云フコトハ最早罹テ居ルト云フコトニナルト思ヒマスガ或ハ此中ニ罹リ又ハ罹ランストルト云フノモ此中ニ籠ヲテ居リマスカ、一方ノ船ハ暗礁ニ向ケテ乗テ行ク他ノ一方ノ

水先案内ニ近イ船ハ暗礁ニ乗り掛ケル懸念ガアルトスルトドチラニ行クノデスカ、罹ル者ト云フト罹ラテ仕舞フタモノ、ヤウデスガ、罹リ又ハ罹ラントスルト云フモノモ此中ニ籠ヲテ居ルノデアリマスカ

○磯邊包義君 ソレハ御答ヲ致シマスガ既ニ危難ニ罹ラテ仕舞ヒマスレバ水先ノ必要ハゴザイマセヌノデゴザイマス、文章ハ罹リト申シマシテモ危難ニ罹ラテハ居リマセヌノデゴザイマス

○子爵本荘壽巨君 危難ニ罹リトアラテモ、罹ラントスルト云フ譯デアリマスカ

○磯邊包義君 サウ云フ意味デアリマス

○籠手田安定君 私ハ文字ノコトニ附イテ氣附キマシタカラチヨット委員長ニ御尋申シタイ、此朱書ニ第一第二第三トアリマス「主務大臣ノ定ムル規程ニ依リ試験ニ合格シタルコト」ト云フ此「コト」ト云フ文字ハ第三ノモ同ジコトテ「水先人名簿ニ登録セラレタルコト」トアリマスガ「コト」ト云フノハ誤カト氣附キマシタガ、合格シタルモノ、登録シタルモノト、モノト云フコトニ改メニナルガ穩當ノヤウデアリマスガ如何デアリマセウカ

○磯邊包義君 何々ノ「コト」ト云フノハ「水先免狀ハ左ノ條件ヲ具備スル者ニ授與ス」ト、言ハヤ授與スルコト、云フ意味ニナリマスノデ、其修正ハ委員會ニ於テハ出席員ハ一人モ異議ナク多數デ決シマシタノデアリマスカラ尙本修正案ニ御意見ガゴザイマスナラバ、アナタヨリ特別ニ御出シ下サイマシ私ガ今報告スルノデアリマスカラドウシタラ宜カラウカト云フコトハ出來マセヌ

○籠手田安定君 ドウモ「モノ」ト云フタ方ガ穩當ニナルヤウデアリマス

○磯邊包義君 今委長君ガソレガ宣シイト云フコトハ申サレマセヌ

○水野遵君 委員長ニチヨット序ニ……委員長ニモ政府委員ニモ宜シウゴザイマスガ私ガ御尋ヲシマスノハ第二條ノ修正ノ「帝國臣民ナルコト」、大體ニ於テ此水先案内ト云フ仕事ハ私ノ營業デアルカ官務デアルカト云フノ區別ヲ明ニスルガ必要デアラウト思ヒマスガ若シ私ノ營業ニアレバ必ズ帝國臣民ニアラザレバ水先案内ヲ爲スコトヲ得ズト云フ制裁ヲ附ケルノハ如何デアラウカト、是ハ唯疑バカリデアリマス又此法律ハ大抵萬國普通ノ例ノアリマスコトデアリマス、故ニ各國デモ其國民ニアラザレバ水先免狀ヲ吳レスト云フ成規ニナツテ居レバ何モ私ハ疑ラ懷キマセヌガ、若シヤ各國ハ制規ノ試験ヲ受ケレバ何人デモ水先案内ガ出來ルノデアツテ我帝國ダケガ此法律が出來ルト云フコトハ如何デアラウト存ジマスカラ政府委員ヨリ若クハ委員長ヨリデ宜シウゴザイマスガ此答ヲ願ヒマス、第一ニ御尋致シタイノハ各國モ皆斯ノ如クニナツテ居ルカ、ナツテ居ナクテモ斯ウ云フコトハ帝國ダケ特別ニ制規ヲ設ケテ差支ナイカ、其例ガアレバ御示ヲ願ヒタイ、私モ委員ノ一人デアリマスガ内藤子爵ト同様ニ豫算ノ方ヘ出席シマシタノデ此會ヘハ更ニ出席致シマセヌデアリマシタカラ委員會ニ御論ノアツタコトヲ再ビ御尋マスルカ知レマセヌガ……モウ一つ政府委員ニ御尋致シマスガ「満一千二年ニ達セサル者」ト云フコトガアリマスガ大抵斯ウ云フモノハ二十五年トカ三十年トカ或ハ丁年トカ云フノガ普通ノ法律ノ制限ニナツテ居リマスガ是ニ限テ二十三年ニナツテ居リマスノハ何カ理由ノアルヤ否ヤ此兩點ヲ御尋致シタイ

○磯邊包義君 御答致シマスガ修正案ハ委員ガ修正シタノデアリマスカラ御答致シマス、委員ノ修正說ハ帝國ノ臣民ニナケレバナラヌト云フノハ何デアルカト申シマスト日本ノ港灣ノ水路海峽等ハ自ラ國家ノ防禦ノ一一

ナッテ居ルノアリマスカラ成ルベク日本人デ水先ヲ勤メサセテ外國人ニ委員ハ航路ヲ自由ニ知ラシメザルコトヲ希望スルト云フ意味デアルノアリマス、是ハ政府委員ニ於キマシテモ其コトハ甚ダ希望ナコトデアルケレドモ今日ハ甚ダ水先人ガ少イ、現今水先免狀ヲ受ケテ居ル者ハ、總テ二十四人デアリマス、其中六人ガ日本人デアツテ十八人ハ西洋人、サウ云フ有様デアルカラ今度又法案ノ規則ガ出來旁々致シマシテ愈々水先人ハ餘計入ルガ日本人ハ得悪い、其コトハ希望デアルケレドモ今日ハ出來兼ネルト云フコトカラ三十三條ト云フモノヲ設ケテ修正ニナリマシタ、全ク國家防禦上ノタメニ此說ハ出マシタ、出席委員ハ全員同意デゴザイマシタノデ……ソレカラ今一ツハ二十三ト申シマスコトハ是ハ委員カラモ質問ガゴザイマシタ、是ハ實際ハ二十三年デハ到底水先案内ハ出來ルモノデハアリマセヌ、是ハ成ルタケ區域ノ廣イ方ガ宜カラウ所謂人民ノ自由ヲ廣クシテ置イタガ宜カラウト云フ委員ノ說デアリマス、尙ホ御問ガゴザイマスナラバ、政府委員ニ御問ヲ願ヒマス

○水野遵君

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 水野君ニ御答ヲ致シマス外國ノ例ハ唯今マデニ調査ヲ致シマシタ處デハ合衆國ノ水先案内ハ亞米利加人デナケレバナラヌト云フコトニ規定ニナッテ居ルデスガ其他歐洲列國アタリデハサウ云フ例ヲ見ナイノデアルデス、ソレデ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ二十三年ト致シマシタノハ今委員長ヨリモ御聽ノ通ニ其航路ニ熟達致シマシテ又船舶ノ操縦ノ経験モ十分積ンダ者アナケレバナラヌノデアリマスカラ多クハ二十五歳以上或ハ三十歳ニモナラナケレバ其資格ガ出來ナイノデアルデスガ併シ是ハ精々人ヲ得ルヤウニシタイト云フタメニ最下限ヲ示シタモノト御承知ヲ願ヒマス

○子爵内藤政共君

政府委員ニ質問致シマス、少シドウゾソレヘ……唯今委員長ニ質問ヲシマシタ處ガ委員會デハサウ云フ話ガナカツト云フ話デ即チ船長ト水先人トノ權限ノ區域ガ分レテ居ル所ノコトヲ質問シマシタ處ガ委員長一個個人トシテノ御說デアリマシタケレドモソレニ附イテモソレニ附ルヤウニ一ツ政府委員カラ御辯明ヲ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ三十三條ニ法律施行ノ日カラ五年間ト限ラレタノハ如何ナル故デ五年ト限ラレタカ、之ヲ伺ヒタイ、五年立テバ今人ガ足リナイガ出來ルト云フノハ如何ナル御見込デ五年ト限ラレタカ、委員長ガ述ベラレマシタ所ニ依ルト日本デハ僅ニ水先人ガ二十四人アル二十四人ノ中ニ既ニ日本人ガ六人マデアル、他ノ今足ラヌ所ハ十八人アル、之ガ如何ニドレ程熟達ノイルモノデアルカト云フコトハ大抵御承知デアリマスデセウガ日本全國ノ人ヲ募シテ此人ノ中ニ僅ニ十八人ノ人ヲ得ラレナイト云フ理窟ハアルマイト思ヒマス、是ガ五年待テバ八年ガ出來ル、五年待タナケレバ十八人ノ人ガ出來ナイト云フコトハアルマイト考ヘル、タレカラ遞信省ノ今日マデ見ル處デアルト私ノ考ヘル處デハ決シテ今日人ガナインデハナカラウト思フ、往々不斷ノコトニ斯ウ云フコトガアル、既ニ水先人ヲスル所ノ船舶ハ重モニ外國船デアル、日本船ヨリモ外國船ガ重モデアル故ニ外國人ヲ餘計使フト云フコトガ多イノデアル、故ニ此遞信省ヲハ人ノナイト見ラレタノハ間違フタコトデ大ノ必要ガナイカラ其處ニ出テ來ナイ、是ガ五年ナゾト云フ年期ヲ切レバ五年立タナケレバ出テ來ナイコトニナラウト思フ、今年カラマルデ外國人ヲ罷メルト云フコトデアレバ二十八人ヤ三十人ノ水先人ハ無論アル、之ニ附イテハ何レ二讀會ノ時ニ一年トカシテ又一年デ足ラヌト思ヘバソレカラ延バスノハ何デモナイ故ニ修正說ヲ出

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、第二讀會ニ移スベシト云フコトニナリマシタ

○名村泰藏君

此案ハ政府ニ於テハ大變急イデ居ラル、様子デゴザイマスカラ直チニ議事日程ヲ變更シテ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○男爵金子有卿君

賛成

〔其他賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガナクバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガナクバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第二條

第一條 水先人ハ水先免狀ヲ有スルコトヲ要ス

水先人ニアラサル者ハ水先區ニ於テ船舶ノ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第二條

第二條 水先免狀ハ主務大臣ノ定ムル試験規程ニ依リ試験ニ合格シタルコト

第一 水先人名簿ニ登録セラレタルコト

二 主務大臣ノ定ムル試験規程ニ依リ試験ニ合格シタルコト

三 水先人名簿ニ登録セラレタルコト

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクハ委員ノ修正ニ決シマス、次ハ第三條ヨリ第十七條マデ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 左ノ各號ニ該當スル者ハ水先人タルコトヲ得ス

一　満二十三年ニ達セサル者及満六十年以上ノ者

二　剝奪公權者

三　家資分散者及破産者

四　瘋癲白痴者及身體不具又ハ羸弱ニシテ業務ヲ營ムニ不適當ナル者

五　水先免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者
得ス

第六條　水先人ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ業務ヲ營ムコトヲ

第七條　公權ヲ行フコトヲ停止セラレタルトキ

第八條　水先免狀ノ行使ヲ停止若ハ假停止セラレ又ハ之ヲ差押ヘラレタルトキ

第九條　水先人其ノ業務ニ從事スルトキハ水先免狀及水先法令書ヲ携帶ス

第十條　水先人ハ當該官吏若ハ公吏ノ命令ニ依リ又ハ水先人ヲ要招シタル船長ノ

要求ニ依リ水先免狀又ハ水先法令書ヲ開示スヘシ

第十一條　水先人其ノ業務ニ從事スル爲水先船ニ乘込ミタルトキハ晝間ニ在

第十二條　リテハ水先旗ヲ掲揚シ夜間ニ在リテハ海上衝突豫防法第八條ノ規定ニ依

ルヘシ

第十三條　水先人ヲ要招セントスルトキハ船長ハ水先免狀ヲ爲スヘシ

第十四條　二艘以上ノ船舶ニ於テ同時ニ水先免狀ヲ爲シタルトキハ水先人ハ自己ニ

最モ近キ船舶ノ要招ニ應スヘシ

第十五條　二艘以上ノ船舶ニ於テ同時ニ水先免狀ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ中ニ危

難ニ罹リタル船舶アルトキハ水先人ハ前項ノ規定ニ拘ラズ該船舶ノ要招

ニ應スヘシ

第十六條　二艘以上ノ水先人同時ニ要招ニ應シタルトキハ其ノ何レヲシテ水

路ヲ嚮導セシムヘキカハ船長ノ選擇スル所ニ依ル

第十七條　水先人水先船ヲ去リタルトキハ水先旗ヲ撤去スヘシ

第十八條　水先人水路ヲ嚮導スヘキ船舶ニ乗込ミタルトキハ船長ハ水先免

第十九條　二告知シ且水先人ノ要求アルトキハ其ノ證明書類ヲ開示スヘシ

第二十條　水先人ハ同時ニ二艘以上ノ船舶ノ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス但

シ船舶運航ノ自由ヲ得ス又ハ水先人ヲ得ル能ハサル爲其ノ船舶ト水路ヲ

嚮導ヘキ船舶ト曳綱ヲ以テ聯結セラレタルトキハ此ノ限ニアラス

第二十一條　水先人水路ヲ嚮導シタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ヲ請求ス

第二十二條　前條但書ノ場合ニ於テハ水先人ハ各艘ノ船舶ニ付前項ノ權利ヲ有ス

第二十三條　水先人ハ水先修業生一名ニ限り水路ヲ嚮導スヘキ船舶ニ之ヲ伴

ル權利ヲ有ス

第二十四條　子爵本莊壽丘君此八條ニ附イテ本員ガ先刻委員長ニ質問シマシテ委員長

カラ答辯ガゴザイマシタガ其答辯ニ依ラテ見ルト此八條ノ一項ノ方ニ其中ニ

危難ニ罹リタル船舶トアルノハ罹ラントスル船舶デ罹リタル船ハ水先人ヲ要招スル必要ハナイ、サウスルト罹ラントスル船デアリマス船デアリマスカ

ラ是ハ寧ロ「危難ニ罹リタル船舶」ト云フノヲ「其中ニ危難ニ罹ラムトスル船舶アルトキハ」ト云フコトニ修正シタイ、是ハ全タ意味ノ修正デハナク文字ノ修正ニ止リマスカラドウゾ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員佐藤秀顯君 チヨット一言説明ヲ申述ベテ置キタイデスガ此危

難ニ罹リタル船舶アリタルトキハ水先人ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其危イト認メ

ラル、船ノ要招ニ應ジナケレバナラスト云フ精神デアリマシテ決シテ罹ラントスル船ガアタトキハト云フ譯デハナインデアル、今茲ニ一艘ノ船ガアタ

テ一艘ハ安全デアルト云フ場合同時ニ要招サレタモノデモ危イ方ニ先ニ行ラ

テサウシテソレニ乘フテ船長ヲ助ケルヤウニ斯ウ云フコトニシナケレバナラヌ必要ガアルノデゴザイマスカラ御承知下サルヤウニ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 本莊子爵ノ動議ニハ定規ノ賛成ガアリマセヌ、修正ヲ出ストキニハ二十人ノ賛成者ヲ要シマス、第三條カラ第十七條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ第十八條

○議長(公爵近衛篤脣君) 主務大臣ハ水先區ヲ指定シテ水先人ノ員數ヲ制限シ水先人組合ヲ設ケシメ又ハ水先船ノ免狀及纏裝ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクハ委員ノ修正ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 第十九條 (特別委員修正案)

四 亂醉、粗暴其ノ他ノ失行アリタルトキ

四 亂醉、粗暴其ノ他ノ失行アリタルトキ
水先人組合ニ屬スル水先人其ノ組合規約中命令ノ規定ニ依リ懲戒ニ付ス
ヘキ事項ニ違反シタルトキ亦前項ニ同シ
○議長(公爵近衛篤督君) 是レ亦御異議ガナケレバ修正ニ可決致シマス
〔異議ナシト乎フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤麿君) 次ハ二十條二十一條
第二十條 前條ニ依リ審判ニ付スヘキ事件ノ管轄ハ其ノ水先人ノ住所ヲ管

轄スル地方海員審判所ニ屬ス
前項ノ事件海員懲戒法ノ規定ニ依リ審判ニ付スヘキ事件ト關聯スルトキ
ハ前項ノ管轄ハ海員懲戒法ニ依ル事件ヲ管轄スル地方海員審判所ニ屬ス

第二十一條 水先人ノ懲戒ニ關シ此ノ法律ニ規定ナキモノニ付テハ海員徵
戒法ノ規定ヲ準用ス

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ二十二條
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

第二十二條 水先人其ノ業務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損若ハ覆沒シ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ五十圓以上六百圓以下ノ罰金ニ處ス

水先人ニアラサル者水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シ因テ船舶ヲ毀損若ハ覆没シ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ亦前項ニ同シ

第二十二條 水先人其ノ業務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損シ若ハ之ヲ沈沒セシメ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ五

十圓以上六百圓以下ノ罰金ニ處ス
水先人ニアラサル者水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シ因テ船舶ヲ毀損シ若ハ之ヲ沈没セシメ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ亦前項ニ同シ

○議長（公爵近衛篤脣君） 御異議ガナケレバ修正ニ決シマス、次ハ二十二條
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

第十四條 第二十三條 左ノ各號ニ該當スル者ハ二百五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第一項ノ規定ニ違反シテ水先人ノ業務ヲ營ミタル者及之ヲシテ水

三二
路ヲ嚮導セシメタル者
第八條第二項第三項又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者
十五條ノ規定ニ違反シテ水先案内料ヲ授受シタル者

五四 水先免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者
詐偽ノ目的ヲ以テ船舶ノ喫水若ハ積量ニ付水先人ニ對シ不實ノ告
印ヲ爲シ又ハ契水ノ票識ヲ變更シタル者

六 水路ノ嚮導ヲ要求セラレタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ之ニ應セサル者又ハ之ニ應シタルモ正當ノ理由ナクシテ水路ヲ嚮導セ

七 サル著
水路ノ嚮導ヲ要求シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ水先人ヲ
シテ水路ヲ嚮導セシメス又ハ正當ノ理由ナクシテ水先人ヲ水先區

外ニ伴ヒタル者
八 水先人ニアラスシテ水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シタル者
第二十四條 左ノ各號ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 水路ヲ嚮導セシメサレハ航行危險ナル場合ニ於テ水先人ヲ得ル能ハサルカ爲水先人ニアラサル者ヲシテ水路ヲ嚮導セシメタルモノナルトキハ前條及第二十三條第八號ノ規定ヲ適用セス

第二十七條 此ノ法律中船長ニ關スル規定ハ船長ニ代ハリテ其ノ職務ヲ行フ者ニ亦之ヲ適用ス

附則

第二十八條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條 明治十一年第三十七號布告ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止

第三十條 明治十一年第三十七號布告ニ依リテ授與シタル水先免狀ハ主務大臣ノ定ムル所ニ從ヒ此ノ法律ニ依リテ授與スル水先免狀ト交換ス。前項ノ交換ヲ了スルマテハ舊水先免狀ハ該免狀ニ記載スル水先區中此ノ法律ニ依リテ定メタル水先區ニ該當スル部分ニ限り之ヲ代用スルコトヲ得

舊水先免狀ヲ有スル者第三條ノ各號ニ該當スルトキハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第三十一條 此ノ法律施行前ヨリ其ノ施行後マテ引續キ水路ヲ嚮導スル場合ニ於テハ水先案内料ハ明治十一年第三十七號布告ニ依リテ之ヲ算定ス

ヘシ

第三十二條 第十九條第二十條及第二十一條ノ規定ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ亦之ヲ適用ス

一 明治十一年第三十七號布告ニ依リテ審問ヲ要スルモノニシテ此ノ法律ニ依リ懲戒スベキ行爲此ノ法律施行前ニ發生シ其ノ施行後ニ至リテ發覺シタルトキ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ委員修正三十三條
(特別委員修正案)

第三十三條 此ノ法律施行後五年間ヲ限リ主務大臣ハ第二條第一號ノ規定前項ニ依リ授與シタル水先免狀ハ前項ノ期間滿了ノ後ト雖其ノ效力ヲ失

○子爵内藤政共君 此三十三條ハ前ニ質問ノ際チヨット申シマシタ通ノ理由ニ拘ラス水先免狀ヲ授與スルコトヲ得

○子爵内藤政共君 此三十三條ハ前ニ質問ノ際チヨット申シマシタ通ノ理由ニアリマスカラ別段ニ長クハ申シマセヌガ五年トアルヲ二年ニ致シタイ考デアリマス、別ニ案ヲ具ヘタ譯デモアリマセヌカラドウカ滿場諸君ノ御贊成ヲ請ヒマス

○瀧兵右衛門君 内藤子爵ニ贊成

○子爵曾我祐準君 委員カラノ説明ヲ承リタウゴザイマス、五年トサレタノニハ多少理由ガアラウト思ヒマスガ委員ノ中デドウカ委員長其他ノ中デ五年ニサレタコトヲ承リタイ、今一つハ内藤子爵ハ今日デモノ隨分得ラル、モノデアルト云フ御考デアリマスカ、政府ハドウ云フ御考デアリマスカ修正案ニ附イテ御尋ヲスルノデヘナリ、内藤子爵ノ言ハル、ヤウニ天下ニハ隨分水先案内ト云フ者ガ得易イモノデアルカドウカ其邊ニ就イテ政府ノ御調査ガアレバ承リタイト思ヒマス

○磯邊包義君 曾我君ニ御答致シマスガ五年ト申シマスルニ附キマシテハ最初委員會ニ於テハ實ハ三年ト云フ修正ガ出マシタ、ソレガ遂ニ五年トナリマシタ、ト云フモノハ段々政府委員カラ實際ノコトヲ承リマストドウモ三年デハ果シテ此水先人ヲ得ラル、ト云フコトハ覺束ナイノデアリマス、此水先人ハ唯乘ルコト、航海道筋ヲ知テ居ルバカリデハ出來マセヌ、此水先人ヲ要スル船ヘ外國ノ船デアリマスカラ第一ニ外國語ガ自由ニ通シマセネバナラヌ、ソレデ日本ニハナゼソレガ少イカト申シマスト云フト日本ハ全體ガ船長ガ全ク足リマセヌノデアリマス、水先案内ドコロデハナイ其船ノ責任ヲ持ツ船長サヘモ大キナ船ヘ皆外國人ト云ハナケレバナラヌヤウナ幼稚ナ我國ハ船員デアリマス、殊ニ此水先案内ト云フモノハ船員ノ中デモ極老熟致シマシテカラモウ遠イ所ノ航海ハ勤マラナイカラ近イ所ニデ水先案内デモシヤウト云フヤウナモノガ多クハナルノデゴザイマス、所ガ日本ハ今申スヤウナ有様デゴザイマスカラ其人ヲ得ルコトハ實際上今日ハ出來マセヌ政府委員ノ答ヘタ所モ私共ノ考タ所モ同シコトデゴザイマシタ故ニ先づ五年ト云フコトニ致シマシタ五年ト雖モ私共ノ考デハ未だ果シテ得ラル、ト云フコトハ覺束ナイト思フ位デアリマス、此段御答致シマス

〔政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル〕

○政府委員佐藤秀顯君 今委員長カラモ御聞ノ通船舶職員即チ日本船舶ノ生命財產ヲ預リマシテ重大ナ責任ヲ負ハナケレバナラヌ者デスラ今日ハ餘儀ナク外國人ヲ使シテ居ルト云フヤウナヤウデアリマス、其タメニ海員ノ養成ト云フコトモ孜々力テ居ル場合デアルノデ今其船舶職員ノ暇ニナリマシタ者即チ十分ノ経験ヲ積デ而モサウ云フ劇職ニハ當リタクナイト云フヤウナ者カラシテ多クハ此水先人ト云フ者ハ出ルノデアリマスカラソレガ得ラレヌト云フノハ誠ニ已ムヲ得ザル譯デアルノデアリマス原案デハ帝國臣民ニ限ルト云フコトハヤリタクハアリマスガ唯今ノ所ハ時機ガ許サナイタメニ餘儀ナク書カナカタノデアリマス委員會ニ於テ御調査ノ際是非相當ノ時期ヲ限シテ其後ハ帝國臣民ニ限ルト云フコトニシタイト云フノ御希望モアリマシタカラソレハ萬々政府ニ於テモ御同感ナ譯デアリマスガ今時期ヲドレ程ニシタラ宜カラウカト云フト安心ナ所ヲ申シマスレバ一兩年來商船學校ニ這入りマシテ今學問ヲシツ、アル者ハ航海其他ノ學科ナリ又外國語ニ附イテモ十分ニ教育ヲ致シマスカラソレガ卒業ヲ致シマシテ相當ノ経歴ヲ積シテ船長ニナルト云フ場合ハ今カラ十年先デアルデスカラ其位マデヲ限シテ置イタナラバ差支アルマトイト存ジマスガソレハ餘り漠トシタコトデアルカラ法律ニ規定スルノニ十年後ノコトヲ今云フノモ穩デナシ、勿論十年トシマシタ所ニモ五年ニモ出来ルダケハ急ガナケレバナラヌデアリマスルガ何分今日ノ所五年ヨリ短クテハ見込ハナノデアリマス、ソレ勿論其年ノ間ト雖モ帝國臣民ニ充タリマシテ十分ニ安心ノ出來ル水先人ヲ得ルト云フコトハ勿論必要デアル必必要ヲ充タスノニ萬ニニ差支ヘガアルト云フコトニナリマシテハ誠ニ遺憾ナ譯デアリマスカラソレデハ先づ五年トデモサレルカト云フコトデ委員會ハ通過シタノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 三十三條委員ノ修正ニ御異議ガナケレバ之ニ決シ

○議長（公爵近衛篤脣君）是ニテ二讀會ハ終リマシタ
○名村泰藏君 ドウカ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希
望致シマス

○子爵板倉勝達君 贊成

○男爵金子有卿君 贊成
○議長（公爵近衛篤脣君）直ニ二讀會開クニ御異議ガナクバ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤脣君）然ラバ三讀會ニ移リマス

○議長（公爵近衛篤脣君）御異議ガナクバ原案可決ト認メマス

○議長（公爵近衛篤脣君）時刻ニナリマシタカラ休憩致シマス
午後零時一分休憩

午後一時二十分開議

○議長（公爵近衛篤脣君）報告ヲ致シマス
〔小原書記官朗讀〕

本日左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

明治二十三年法律第九十號中改正法律案

明治二十三年法律第九十一號中改正法律案

國籍法案兩院協議委員ニ於テ議長ニ子爵谷干城君副議長ニ三好退藏君當選

セラレタリ

○議長（公爵近衛篤脣君）今朝御依託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道

権利收用ニ關スル法律案特別委員

伯爵德川達孝君 子爵立花種恭君

子爵入江爲守君 男爵渡邊清君

伯爵坊城俊章君 子爵永井尚敏君

千坂高雅君 山脇玄君

松岡康毅君 伊澤修二君

水野遵君 長谷川貞雄君

登録稅法中改正法律案特別委員

子爵大原重朝君 子爵前田利鬯君

子爵松平直哉君 男爵尾崎三良君

成川尙義君 千間千代吉君

關稅法案特別委員

船舶法案外一件特別委員

子爵鳥居忠文君 男爵青木信光君

小原重哉君 男爵小早川四郎君

武井守正君 男爵木大亮君

子爵内藤義君 伯爵高野宗順君

子爵菊池武臣君 馬越貞敏君

○議長（公爵近衛篤脣君）是ヨリ午前二引續イテ會議ヲ開キマス、北海道拓殖銀行法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

（公爵二條基弘君演壇ニ登ル）

○公爵二條基弘君 委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道致シマス、委員會ニ於キマシテハ此議案ニ就キマシテモ、十分質問討論ヲ致シマシタ所ガ、別段ニ異議ガゴザンセズ原案ノ儘可決致シマシタ譯アリマス、其理由ハ極簡單ナコトデ當時北海道ハ御承知ノ通既ニ其拓殖事業ニ掛ケテ居ル、今日デハ大分ノ日數ハ掛ケテ居リマスケレドモマダ中々此先キト云フモノモ開拓スル所モ多クアル、從フテ今日ノ有様デハ總テ金融ノ圓滑ナラズ、爲ニ資本ノ缺乏ヲ來スト云フヤウナコトデ折角事業ヲ爲ス者モ其事業ガ十分ノ抄取ヲシナイト云フヤウナコトガアリマスルデ北海道ノタメニ此事業ノ發達ヲ圖ルニハ是非トモ何カ一ノ機關ヲ設ケナクアリマスケレドモ、信ズルノデアリマス、ソレニ就イテハ此法案ノ如ク拓殖銀行ト云フヤウナコトハ設ケマシタナラバ是カラ後ト云フモノモ北海道ノタメニモ仕合ニナルコト、考ヘマス、デ此銀行ハ唯普通ノ農工銀行ト同ジヤウナモノアリマスケレドモ、農工銀行ハ不動産ヲ抵當ニシテ永年ノ貸付ヲスルト云フバカリデアリマスガ、此銀行ハマダ其上ニ農產物ヤラ又ハ株式會社ノ株券債券ト云フモノヲ抵當ニシテ其金貨ヲ爲スコトノ出來ルト云フヤウナ方法ニ附イテ少シ性質ハ他ノ農工銀行トハ優シテ居ルヤウデアリマスケレドモ實際今日ノ北海道ノ景況ヲ見マスレバ如何トモ他ノ内地ニ於テ農工銀行ヲ立テルヤウナコトハ到底出來ナイコトデアリマス事情已ムヲ得ヌ矢張斯ウ云フ法ニシテイカナクアリテハ總テ事業上ノコトニ附イテモ便利ヲ得ルコトガ餘程惡ルカラウト思フ、又サウ云フ簡單ナル譯アリマシテ此法案ヲ此度發行サレマシタナラバ非常ニ向後北海道ノタメニハ總テノコトノ便益ニモナルコトダト考ヘマス、右ノ理由ヲ以チマシテ委員會デハ原案ノ通可決スベキモノト致シマシタ譯アリマス、ドウゾ皆サンモ委員會ノ報告ノ通御賛成アラシテ可決アランコトヲ希望致シマス

○名村泰藏君 チヨシト政府委員ニ質問ヲ致シタリ、第五條ノ「監查役ハ三十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二箇年トス」ト御定メニナシタノハドウ云フ御趣意デアラウカ既ニ本院モ通過シ衆議院モ一昨日アタリ通過シタル所ノ商法修正案ニ於テハ監查役ト云フモノハ一年ト限ラレテ居ル、デ商法ト云フモノハ一般ノ會社法ノ根據ト爲ルベキモノデアル、其一般ノ根據ト爲ルベキ所ノ商法ニハ監查役ト云フモノハ一年ト超ユルコトハ出來ナリト定メラレテ居ルノニソレニモ拘ラズ任期ヲ二箇年ト此法律ニ於テ定メラレタ所ノ其理由ヲ一應承知シタリ
〔政府委員下坂藤太郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員下坂藤太郎君 唯今ノ御問ニ御答ヲ致シマスガ、成ル程此度ノ修正商法ニ依リマスルト、監査役ノ任期ハ一年トナカニテ居リマス、然ルニ此爾來特別銀行法トシテ提出致シマシタル日本勸業銀行ノ監査役ノ任期ハ三年簡年トシテアリマス、ワレカラ臺灣銀行ノ監査役ノ任期モ三箇年トシテアリマス、此北海道拓殖銀行ニ於キマシテハ二年ト致シマレタ、即チ修正商法ノ一年ト短縮サレタ理由モ酌ミマシタ、斯ノ如キ特別ノ銀行ヲ立テマシテ特別ノ取締役モ他ノ會社ノ重役ト爲スコトハ出來ヌト云フ如キワレド方法ヲ別ニシテ取締役ハ三箇年ドウシテモ年期ハナケレバナラヌ、監査役ノ如キモ

- 議長（公爵近衛篤曆君） 本案ヲ第一讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長（公爵近衛篤曆君） 過半數ト認メマス
- 議長（公爵近衛篤曆君） 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス
- 子爵小笠原壽長君 贊成
- 湯地定基君 贊成
- 議長（公爵近衛篤曆君） 「其他〔賛成〕ト呼フ者アリ」
- 議長（公爵近衛篤曆君） 御異議ガナクバ直ニ二讀會ヲ開キマス
- 議長（公爵近衛篤曆君） 「異議ナシ」ト呼フ者多シ
- 議長（公爵近衛篤曆君） 然ラバ二讀會ニ移リマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス
- 議長（公爵近衛篤曆君） 本案全部御異議ガナクバ可決ト認メマス
- 議長（公爵近衛篤曆君） 「異議ナシ」ト呼フ者多シ
- 議長（公爵近衛篤曆君） 三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ致シマス
- 湯地定基君 贊成
- 議長（公爵近衛篤曆君） 然ラバ三讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案可決ト認メマス
- 議長（公爵近衛篤曆君） 沖繩縣土地整理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告
- 〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕
- 子爵鍋島直彬君 本案ノ委員會ノ經過並ニ結果ノ御報告ヲ致シマス、其御報告ヲ致シマスル前ニチヨット申上ゲテ置キマス、此衆議院デ修正ニナリマシタ第六條ノ所ニ「第二條」ト三字ヲ朱デ消シテアリマシテ「ノ」字ガマダ活カシテアリマスガ是ハ矢張「第二條ノ」ト云フ「ノ」字マデ朱ヲ引カネバナラヌノ、誤ダト申スコトデゴザイマスカラ其所ヲ御報告致シマス、本案ノ委員會ハ過ル二十三日ニ正副委員長ノ互選會ヲ開キマシテ二十四日ニ午後ヨリ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、二十四日ニハ此案ハ沖繩縣ニ取フテハ餘程重大ノ案デゴザイマシテ、隨分政府ノ事業トシテモ頗ル手數ヲ要シ殊ニ注意ヲ要スル法案デゴザイマス、政府委員ヨリモ逐條ニ細カナ説明デゴザイマシテ、委員ヨリ逐條種々ノ質問モゴザイマシテ、遂ニ二十四日ハ午後ハ質問ノミデ終リマシタヤウナコトデゴザイマス、二十五日ニ重ねテ開會致シマシ

テ、二十五日ハ逐條審議ヲ致スコトニ至リマシテゴザイマス、全體此案ハ一ヨリハ此銀行ニ對シテハ二箇年位ノ方ガ適當デハアルマヒカト云フノデ二箇年ト致シタノデアリマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 本案ヲ第一讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 過半數ト認メマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 「其他〔賛成〕ト呼フ者アリ」

○議長（公爵近衛篤曆君） 御異議ガナクバ直ニ二讀會ヲ開キマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 「異議ナシ」ト呼フ者多シ

○議長（公爵近衛篤曆君） 然ラバ二讀會ニ移リマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 本案全部御異議ガナクバ可決ト認メマス

○議長（公爵近衛篤曆君） 「異議ナシ」ト呼フ者多シ

○議長（公爵近衛篤曆君） 三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ致シマス

○湯地定基君 贊成

○議長（公爵近衛篤曆君） 「異議ナシ」ト呼フ者多シ

○議長（公爵近衛篤曆君） 沖繩縣土地整理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

○子爵鍋島直彬君 本案ノ委員會ノ經過並ニ結果ノ御報告ヲ致シマス、其御報告ヲ致シマスル前ニチヨット申上ゲテ置キマス、此衆議院デ修正ニナリマシタ第六條ノ所ニ「第二條」ト三字ヲ朱デ消シテアリマシテ「ノ」字ガマダ活カシテアリマスガ是ハ矢張「第二條ノ」ト云フ「ノ」字マデ朱ヲ引カネバナラヌノ、誤ダト申スコトデゴザイマスカラ其所ヲ御報告致シマス、本案ノ委員會ハ過ル二十三日ニ正副委員長ノ互選會ヲ開キマシテ二十四日ニ午後ヨリ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、二十四日ニハ此案ハ沖繩縣ニ取フテハ餘程重大ノ案デゴザイマシテ、隨分政府ノ事業トシテモ頗ル手數ヲ要シ殊ニ注意ヲ要スル法案デゴザイマス、政府委員ヨリモ逐條ニ細カナ説明デゴザイマシテ、委員ヨリ逐條種々ノ質問モゴザイマシテ、遂ニ二十四日ハ午後ハ質問ノミデ終リマシタヤウナコトデゴザイマス、二十五日ニ重ねテ開會致シマシ

トテゴザイマシタル今日ニシテハ第一此人民ノ土地所有權、ソレヨリ稅法ノ如キハ總テ内地ト同様即チ各府縣人民ト同様ニアリマシテ而シテ總テノコトヲ漸次内地ト同様ナル法令制度ノ下ニ立タルシムルト云フコトハ沖繩ノ人文モ大イニ進ミ、智識モ餘程發達致シマシタル今日ニシテハ是非サウナケレバナラスコトデアフテ、實ハ國家多事デ種々ナ近年内外多端ノトキデアリマスカラ政府ニ於テモ沖繩縣廳ニ於テモマア土地整理ノコトハ餘程早クカラ考モアタノデゴザイマシタサウデアリマスガ遂ニ桂冉今日ニ至リマシタ位ノコトデアフテ、既ニ今日ハ尙ホ……尙ホ……尙ホデハナイ、既ニ遲イト申ス位ノ時期デアルノデ、一日モ早ク此土地整理ノコトガ行ハレマセヌケレバ實ニ沖繩人民ハ不幸ナル有様境遇ニ居ルノデゴザイマス、ソレデ此土地整理法案ハ誠ニ唯今申述ヘマシタル如ク沖繩縣廳ニ於テモソレカラ臨時土地整理事務局ト云フモノヲ既ニ沖繩ニ設ケラレテ總テ準備モ整フテ居リマシテ政府ニ於テモ既ニ遲シト思フ位ノコトデゴザイマスカラ一日モ早ク行ハレタイコトデアフテ、今日沖繩人民ニ於テモ此法案ノ實施サル、コトハ實ニ皆領ヲ引イテ望ンテ居ルノデゴザイマス、ソレデ大體ニ於テハ勿論委員會ニ於テ大イニ賛成ヲシマス案デゴザイマシタガ段々之ヲ審議致シマスルニ附イテ、此中二箇條バカリ是ハ法文面ノ不完全トカ道理ガ惡イトカ云フコトニアラズシテ寧ロ實際上委員凡ソ同一ノ感ヲ持ツテ餘程懸念シマスコトガ尙ホ委員會ニ於テモ二三日デモ能ウ勘考致シマシテ實際ノ利害ノ致研究ヲ致シマシタ上デハ或ハ修正ノ說モ提出致スカモ知レマセヌノデゴザイマシタケレドモ何分此餘日ナイ今日ニシテ他ノ議案モ輻湊シテ居ル今日デアフテ法文面ハ不都合ト云フデモナイ、實際ノ想像上各自ノ推測上ヨリ心配ヲスルト云フコトヲ修正ヲ致シマシテ其結果或ハ兩院協議會ト云フヤウナコトニマデ至リシタ第六條ノ所ニ「第二條」ト三字ヲ朱デ消シテアリマシテ「ノ」字ガマダ活カシテアリマスガ是ハ矢張「第二條ノ」ト云フ「ノ」字マデ朱ヲ引カネバナラヌノ、誤ダト申スコトニナルヤモ測リ難イ、然ルトキニハ此法案ノ全體ハ誠ニ結構デアリマシタトキニハ遂ニ此案ハ不成立ト云フコトニナシテ此會期ニ間ニ合ハスト云フコトニナシテ仕舞フト云フ「ノ」字マデ朱ヲ引カネバナラヌノ、誤ダト申スコトニナルヤモ測リ難イ、然ルトキニハ此法案ノ全體ハ誠ニ結構デアリ又法文面強チ惡イト云フデモナイガ實際上懸念ノタメニ修正ヲ加ヘテソレガマシタトキニハ遂ニ此案ハ不成立ト云フコトニナシテ此會期ニ間ニ合ハストタメニ萬一不成立ニテモナラタトキニハ其二箇條位ノコトデハナイ、此結構雲ハ著手が出來ナイト云フコトニナシテ來ルト誠ニ二箇條バカリノ心配ノタメニ大體ニ大變不都合ヲ來シ沖繩人民ニ餘程ノ不幸ヲ來シ、折角政府デモ十分準備ニナシテ居ルコトモ空シク歲月ヲ送ルコトニナシテハ行カナイ所謂諺ニ

言フ角フ矯メテ牛ヲ殺スト云フヤウナ詰ラナイ結果ヲ得テハナラナイ、法文上甚ダ不都合ナコトガアレバ尙ホ勧考シナケレバナヲ又ガ、先ヅ時期切迫ノ今日ニ於テハ結構ナ案デアルカラ二箇條ノ心配ハ即チ政府ノ注意、地方官及土地整理事務局ノ注意ヲ喚起スルダケニ止メテ此案ハ修正セズニ即チ衆議院ノ修正通可決致スガ宜カラウト云フコトニ全會一致ヲ以テ二十五日ニ種々協議致シマンタル末ニ決定致シマシタノデゴザイマス、其二箇條ト申スノハ少シ長クナリマスガ、此澤山議案ノアル中テ長クナッテハ諸君ノ御厭モゴザイマセウガ、一ト通沖繩ノ事情ハ餘程内地ト違ヒマスカラ他日土地整理以後ノ實際上ニ就イテ沖繩ノ縣治上政府ノ方針上、或ハ諸君ノ御参考ニナルコトモアリマセウト存ジマス、又政府ノ注意、縣廳ノ注意或ハ又土地整理事務局ノ注意ヲ喚起シテ置キタイト思ヒマスカラ成ルベク短簡ニ一ト通陳述致シテ置キマス、ソレデ第二條ニ「此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過シタルトキニ於テ最終ノ地割ニ依リ」ト斯ウゴザイマス、是ハ即チ本案ニ一箇年ノ經過ノ猶豫ヲ置イタト云フノハ斯ノ如キ沖繩ノヤウナ種々ノ舊慣ノ田地ト餘程異ッタル慣行ノアル所ニ即チ此土地整理法地租改正ヲ施行スルニハ一年位ノユトリヲ置イテ其最終ノ地割デ所有權ヲ極メルガ穩當デアラウト云フ先ヅ大凡サウ云フ趣意デ這入ツテ居ル、又土地整理事務局ノ官吏ノ人ノ話ヲ承リマストドウモ是ハ一箇年ト云フコトガナイト云フト直ニ此法律ヲ施行致シテ直グ此現在ノ地割デ所有權ヲ定ムルト云フト全體沖繩ノ慣例トシテ村ノ土地ハ決シテ他村人ニ賣買ハ出來ナイ慣例テアルソレデ所有權が直グニ定マルト云フト直ニ賣買シテ宜シイト云フ途ガ開ケテ來ルト土地整理上ニ甚ダ困ルノデアル、内地人环モ澤山這入り込ンデ居ル、ワシナ人ニ賣買シテ内地人ガ土地ヲ買フト云フコトニナルト整理上ニ困ルカラ是ダケノ猶豫ヲ置イタ方ガ整理上ニモ宜シイ、斯ウ云フヤウナ趣意ノヤウニ承リマシタ、併シ此委員我ミノ心配致スト云フ點ハ決シテ此法文デ一年ノ猶豫ヲ與ヘタノガ不都合チャトカ又ハ賣買ヲスルコトニ早クナツテハナラストカ遅クナツテハナラストカ云フノデハナイノデアツテ御承知ノ通成ル程沖繩ハ人文モ餘程進ミモ致シマシタ、智識モ一體餘程進シニ居ルニ違ヒナイ、併シ此地割ノ所有權环ヲ得ルト云フ多數ノ人ハ即チ皆農民デアツテ其智識程度タルヤ未だ内地カラ這入ツテ居ル商人其他ノ者ニ比シタラ餘程懸隔ガアルモノデアル、然ルニ一年ヲ經過シナケレバ所有權ヲ定メヌト云フコトニシテ置キマスト云フト其間ニ表面上賣買ハ出來マスマイケレドモ裏面デ萬一内地カラ往ツテ居ル人ガ種々ノ狡猾手段ヲ以テ或ハ此地割ノ定マラザル間ニ其農民ヲ教唆シ指嗾シ若クハ其農民ノ拙ニ乘ジテ中間デ何カ利ヲ圖リ或ハ智識ノ程度ノ低イノヲ奇貨トシテ何カ勝手ナコトヲヤルト云フコトガナイトモ保證サレマセヌ、全體沖繩ノ地割ハ今日ノハ何デモ十年前位ノガ多クアラウト思ヒマス、チャント定シテ居ルテ決シテ分ラナイモノノデハナイ、不明瞭ナモノデハナイ、チャント定シテ居ルハ實ハ地割ト云フコトハ直グ即チ現在ノ地割デ所有權ヲ確メタ方ガ我ミハソレ等ノ心配ハアルマイト思ヒマス是ハ實際ノ心配デアルノデ實際上委員デハ頻ニ其コトヲ希望致マスノデゴザイマス、併ナガラ唯今申ス通、「此法律施行ノ日ヨリ一箇年經過シタルトキニ於テ」ト云フ文字ヲ削除シテ修正ヲ致シテ果シテ是ガ兩院速ニ協議ガ整ハリ成立致スト宜ウゴザイマスガ萬一ソレガタメニ議デモ合ハスト云フコトニナリマスト誠ニ此沖繩ハ此法律ハ一年モ二年モ延ベテ置カシマスハ實施が出來ナイト云フコトニナツテ大變不幸ヲ蒙ルノデアリマセ

カラ此一年間ノ不幸ナドヲ蒙ラヌヤウニ何處マデモ當局者ノ注意政府ノ方針、沖繩ノ人民ヲ愛撫シテ無智ノ貞民ヲシテ不幸ニ陥ラシメヌト云フ偏ニ注意ガアタテ其コトガ萬一デモナイヤウニ注意アランコトヲ我ミ委員ハ希望致スノデゴザイマス、ソレデ修正ハ致シマセヌデゴザイマシタガ其希望ハ尙本今日ニ於テモ我ミ委員ニ於テ存シテ居リマス、ソレカラ十八條デアリマス、是ガ最モ委員ニ於テ餘程心配致スノデアリマス、十八條ハ是ハ細ニ申スト餘程長クナリマスカラ成ルベク短ク申シマス、杣山ト云フコトガ十八條ノ初二ゴザイマス、是ハ即チ内地デ申ス森林デゴザイマス、杉ダトカ松ダトカ、船ノ材料ニナル良材ガ此山ニアルノデ、沖繩ハ御承知ノ通至シテ山ノ少イ所デ先づ沖繩全島デ三分ノ一北ノ方ニ僅ノ山ガアル其他ハ樹木ガ甚ダ少イ、殊ニ山ノ少イ中デ其杣山ト云フノニ先づ良材ガアル至シテ木材ガ乏シイ所デアリマス、ソレデ是マデモ餘程斯ウ云フ間切ナリ村ナリデ杣山ト云フモノノ保護ニハ他ノ制度ハ隨分不都合ナルコトガ大ニアルニ山林ノ保護ニ至シテハ餘程能ク居イテ居ルソレハ間切デモ村デモ此山林ノ保護ハ或ハ内地ヨリ餘程能ク居イテ居ル、誠ニ樹木ノ少ク、山ガ壞レマスト彼ノ南洋ノ一孤島運輸ノ便ノ惡イ所デ他ヨリ木材ヲ取寄セナケレバナラヌト云フコトニナシテ來マス、此木材ノ少イガ故ニ餘程保護カ居イテ居リマス、ソレガタメニ間切ニ種種ノ役人ヲ置イテ殆ド數十百人山ヲ取締ルタメニ役人ヲ置ク、且ツ人民モ沖繩テハ一向村ノ共有トカ或ハ人民ノ有トカ官有トカ明ニ分ルヤウナ書附モ何モゴザイマセヌ、皆人民杯ハ百分ノ物ト斯ウ心得テ居リマスガラ又個人々々ニ於テモ餘程注意ヲ致スノデアリマス、ソレデチヨット此杣山ト云フコトノ性質ヲ凡ソ申上ダマスガ此杣山ト申シマスノハ總テ間切キノ人民ノ薪炭用少シ其邊ハ締リガ附キマシテ薪炭用ニ伐ルノハ間切役所ニ願出テ木材ハ山方ノ役人ノ許可ヲ經ル船材ハ縣廳ノ許可ヲ受ケルト云フコトニナシテ、無代價トニシテアタマ、併ナガラ其中ニ松ノ良材トカソレト此船ヲ拖ヘル船材、此ニシテ希望ニ依シテ隨意ニ伐ッテ宜シイ唯許可ヲ得ルト云フダケノコトデアリマス、ソレデ舊藩支那杯ニ交通致シタ大キナ船或ハ舊藩主ノ居城ノ修繕ニ用ヒ價デアルカ伐採ノ手間ニ充テルカ知レマセヌカソレデ買收シテ居シタト云フマスノハ狹イ山ノ中デ別ニ仕立敷ト云フモノガアリマス其木材ハ即チ手形ヲ出シマシテ其ノ間切ノ管轄シテ居ル處ニ手形ヲ以テ木材ノ入用ノ分ヲ徵收致シマス、其トキハ定代ト云フノデチャント一定シタ代價デ、ソレハ木材ノ代價デアルカ伐採ノ手間ニ充テルカ知レマセヌカソレデ買收シテ居シタト云フイ、官有デアル一本モ伐ルコトハナラヌト云フタナラバ沖繩ノ山林ニ依シテ慣行通ニ間切ナラ間切デ人民ノ伐採シテ宜シイト云フ「事實」ト云フ「事實」ト云フ文字ノ解釋ニ依シテ沖繩縣ノ人民ノ幸不幸ノ分ル、所ニナルダラウトハ出來ズシテ、間切ノ經濟モ人民ノ生活モ殆ド前途ノ目的ハナイコトニナラ思ヒマス、證據モナケレバ書キ物モナイカラ是ハ民有ニナルベキモノデハナウト思ヒマス、此「事實」ト云フノモ餘程寬ニ見テ舊藩以來數十年來ノ慣行ハ生活シテ居ル北ノ方ノ國頭郡ト云フ人民ハ經濟ノ殆ド源タル山林ニ依ルコトチ事實トシテ許スト云フコトニナラスト餘程過酷ナル政ニナラウト思ヒマス」ソレカラ第二項ノ「杣山ノ保護管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ規定スルモノ

ノ外從來ノ慣行ニ依ル「トアリマスカラ勅令ヲ以テ規定スルト云フノハドウ
云フコトカト云フコトヲ政府委員ニ承リマシタ所ガ是ハマダドウ云フコト、
云フ勅令ノ草案モナケレバ腹案モナイ、併ナガラ固ヨリ沖繩ニハ慣例ガアッ
テ内地トハ異ナルカラ沖繩ノ保護管理ニ於テハ務テ舊慣ニ從ツテ、舊慣ヲ改
ムルヤウナコトハシナイ精神アル、併ナガラ萬一濫伐ノ弊ガアッテ取締ガ
附カヌト云フトキハ已ムヲ得ズ勅令ヲ以テ多少ノ制限ヲ付スルコトハアルカ
ラ知レヌト云フコトデ萬一二揆ヘルカモ知レヌト云フコトヲ詳ニ答ヘラレマ
シタ、ソレデ多少安心ラシマシタガ本員杯ハ實ハ勅令ヲ以テ規定スルト云フ
文字ハナクチモ宜イカト思ロマスガ是モ實際問題ニアッテ、務テ舊慣ニ依ル
萬巳ムヲ得ザル場合ニハ勅定スルト云フコトモ實際ニ間違ナク行レタイト思
フノデアリマス、尙ホ山ニ附イテ申上ゲマスコトハ殆ド北ノ方ノ一郡ハ大概
ハ山デアル沖繩デハ高山ト申シマスガ私杯内地ノ人デ見マスレバ決シテ高山
デハナイ、小サナ山デアル、横幅ノ狭イ島デアリマスカラ山ノ麓ハ直ニ海岸
デ、耕作ノ耕地ハ僅ニ海岸ノ山ノ麓ニ在ルニ過キス、而シテ瘠地バカリデア
ル若シ此山林ガ官有ニナクテ伐ルコトガ出來ヌト云フコトニナリマシタナラ
バ其一郡ノ人民ハ殆ド僅ナ海岸ノ極磧確ノ地ニ耕作ヲシテ居ルダケニナクテ
畢竟木材ハ居ケサヘスレベ勝手ニ伐ツテ宜シイ、薪炭ニ用ヒ家屋ノ建築ニ用
ビル……第一沖繩ノ產物タル砂糖樽ノ板ハ皆是伐出スコトガ勝手ニ出來ヌ
ト云フコトニ取締ガ附キマシタナラバ殆ド一郡ノ人民ハ生活ノ途ハ立ヌコ
トニナクテ來ル、而シテ或ハ此勅令ヲ以テ規定シテ取締ヲ附ケルヤウナコト
ガアルカモ知レヌト云フコトデアリマスガ今日ノ慣例ノ儘ニシテ置ケバ決シ
テ沖繩ノ山林ハ濫伐モナケレバ盜伐モナクシテ十分ノ保護ガ出來マスガ種
種取締等ニ新ナコトヲヤッタラバ人民ハ自分ノ物デナイ役人ノ物デアル間切
デ勝手ニスルコトハ出來ナイ、イツツ盜伐デモシタラ宜カラウト云フ考ヲ起
スカモ知レナイ、起スデアラウト本員等ハ信ジテ居ル、舊慣ヲ改メテ嚴ニス
ルニハ役人デモ一郡ニ百人二百人モ置カナケレバ盜伐ガ多クナクテ其結果ハ
取締ノ費用ガ掛ツタ上ニ盜伐ノ犯罪人ヲ陸續出シ山ハ荒レテシマフ、サウ
シテ沖繩縣ノ乏シイ木材ハ内地ニ仰ガネバナラヌヤウニナクテソレガタメニ
薪炭カラ總テノ木材ガ大變騰貴シテ砂糖樽ノヤウナモノニ用ヒル材料、沖繩
ノ唯一ノ物産タル砂糖ニ關係ヲ及シテ山ノアル一郡ノ人民ノ不幸ナルノミ
ラズ一縣ノ經濟上大不幸ヲ來シ折角土地整理法案ヲ政府ガ出サレテ沖繩人
民ハ内地ト同様ノ權利ヲ與ヘ總テ同一ノ程度ニ立タシメテ今日ノ憲法政治ノ
マス、山林ノコトハ實ニ處分上大變間違ナルノミナラズ沖繩一縣ノ不幸ヲ來サウト
纏ノ如キ山林ノ少イ處デ其人民ノ三分一若クハ三分ノ以上モ山林ニ依
テ生活シテ居ルト云フ處デハ務テ舊慣ニ依ツテヤラナケレバ理窟詰ニ官有ト
云フコトニ……證據ガナイカラ實際御前達ノ物デナイト云フヤウナ過酷ナコ
トガアツテハ實ニ處分上大變間違ナルノミナラズ沖繩一縣ノ不幸ヲ來サウト
思ヒマス、是モ法文上デハ政府委員ノ説明ヲ承リマスレバ決シテ過酷デモ何
デモナイ積ニアリマスガ、當局者ガ誤ツタキハ右様ナコトガ出來ヌトモ
云ヘナイノデアリマス、是ハ政府ハ勿論沖繩縣土地整理事務所ニ於テモ注意
シテ右様ナ急激ノ變更ガ大不幸ヲ來スコトノゴザイマセヌヤウニ偏ニ御注意

○水野遵君 私ハ政府委員ニ御尋ね致シタイ、唯今委員長ノ御説明モゴザイ
マシタ、第二條ノ中ノ此法律施行ノ日ヨリ云々ト云フ點デゴザイマスルガ是
ハ衆議院デモ修正ハ致サズ即チ原案其儘ニナクテ居リマシタ、依ツテ政府ノ方ニ於キマシテ委員
長ノ御懸念通り寧ロ此數文字ヲ削除致シタ方ガ宜シトイト存ジマスガ政府ニ於
テ一ト通ノ御辯明ヲ請ヒマス、果シテ此文字ガアルタメニ沖繩縣ノ人民ガ非
常ナ影響ヲ被ルト云フコトナラバ衆議院ノ決議ニ拘ラズ本院ハ本院ノ權能デ
之ヲ削除致シタ方ガ宜シトイト本員ハ考ヘマス、故ニ政府委員ノ詳細ノ御説明
ヲ請ヒタ

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 水野君ニ御答ヲ致シマスル元來此數文字ノ這
込シテ居リマスルノハ成ルベク事ノ處理ヲ鄭重ニ致シタイト云フコトニ外ナ
ラヌノデゴザイマス、サリナガラ又同時ニ衆議院ニ於キマシテモ成ル程意ハ
美デアルケレドモ併シ美意ノ如ク事柄ガ運ブヤ否ヤト云フコトガ大ニ疑ガア
ル、成ル程政府ノ原案ヲ提出シタ考ハ宜イケレドモ如何デアラウカ或ハ時ニ
諸種ノ困難ヲ見ヤア致シマスマイカト云フ議論デゴザイマシテ委員會ニ於テ
ハ此數文字ヲ削除スルト云フコトニ修正ガ出來テ居ツタ、無論斯ノ如キ法案
テゴザイマスルカラ政府ノ考ニ於キマシテハ成ルベク此立法院ノ慎重ナル審
議ニ依ツテ法律上ノ利害得失ヲ論究セラレテ其上ニ於テスルト云フコトハ固
ヨリ異存ノナニヨト、又他ノ法案ノ如クデモナシ實ニ御同様ニ此我同胞ナル
沖繩縣人ノ休戚ニ關スルコトデアルカラ公平ナル審議ガアラニテ宜シイ譯デア
ル、斯ウ申シテ居ツタコトデゴザイマスルデ其邊ハ御審議ニ存スル所ニ從ツ
テ宜イコト、斯ウ信ジマス

○水野遵君 更ニ念ヲ押シマス、政府ハ此削除ヲ二讀會ニ致シマシタナラバ
ソレヲ御同意ニナル即チ喜バレル方デアルカ或ハ原案ノ方ガ宜イカ、ドチラ
カハツキリ御答辯ヲ願ヒタ

○政府委員(目賀田種太郎君) 唯今申シマシタ如ク別ニ不同意ハ申サヌノ
デ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 鍋島子爵ハ何デス

○子爵鍋島直彬君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請
ヒマス

起立者

多數

- 議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス
○男爵西五辻文仲君 直ニ二讀會ヲ請求致シマス
○子爵鍋島直彬君 賛成
○議長(公爵近衛篤磨君) 二讀會ニ移ルコトニ御異議ガナクバ……
○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ二讀會ニ移リマス、第一條、朗讀ハ省略ヲシマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下倣之)

- 第一條 沖繩縣ニ於ケル土地ハ此ノ法律ノ定ムル所ニ依テ之ヲ整理ス
○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第二條

- 第二條 村ノ百姓地、地頭地「オエカ」地、「ノロクモイ」地、上納田、「キナワ」烟ニシテ其ノ村ニ於テ地割セル土地ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過シタルトキニ於テ最終ノ地割ニ依リ其ノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス
前項ノ土地ニ付テハキ者多數ノ協議ニ依リ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ地割替ヲ爲スコトヲ得
村カ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ地割シタル土地ニシテ第六條第一項但書ニ依リ村ノ所有トナルヘキモノ及間切ノ仕明地ヲ間切内各村ニ分配地割シ又ハ村ノ仕明地ヲ其ノ村ニ於テ地割シタル土地ニ付テモ亦前二項ニ同

- 議長(公爵近衛篤磨君) ドウ云フ修正ヲ提出致シマス
○水野遵君 唯今持參致シマス

(水野遵君演壇ニ登ル)

- 水野遵君 諸君、極簡短ニ申シマスガ先程政府委員ノ答辯ヲ求メマシタ
第二條ノ政府案「地割セル土地ハ」ノ下「此法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過レタルトキニ於テ最終ノト云フ是ダケノ文字ヲ削除スル修正デゴザイマス、次ハ第二項ノ「前項ノ土地ニ付テハ」ト云フ文字ヲ削リタイ是ハ文字ノ修正

- デゴザイマスソレデ二項ヲ但書ニ致シテ「但シ其ノ配當ヲ受クヘキ者」云々トシテ第三項ノ一番末ニゴザイマスル「又前二項ニ同シ」ト云フ此前ノ下ノ二字ヲ取リマス、理由ハモウ既ニ委員長及政府委員ヨリ御述ベニナリマシタ通デ却テ此一年ノ間經過ヲ致シマスルト其間ニ弊害ガ百端出マシテ土地ノ所

- 有權ヲ失ヒ真正ノ沖繩ノ農民ヲ奸商奸民ノタメニ利益ヲ壊断サレルト云トガゴザイマスル、且ツ是ハ政府ニ於テモ別ニ今異論ガナイト云フコトヲ明言セラレテ居リマスルシ此數文字ノアルタメニ却テ此法律が出マシテモ沖繩縣民ノ不幸ヲ釈スコトヲ避ケラレマセスト存ジマス、且ツ此コトハ既ニ衆議院ニ於テモ委員會ニ於テハ唯今申通削除致シテ決議致シタ位デゴザイマス

- カラ本院ニ於テ斯ウ決議ニナツテ衆議院ニ移ツ所ガ之ガタメニ此法律ガ白紙ニナル患ハ萬ゴザイマセヌト本員ハ信ジマスルドウカ御賛成ヲ願ヒタク、且ツ咄嗟ノ提出デゴザイマスカラドウカ定規ノ二十名ノ御賛成ヲ此議場ニ於

テ下サルコトヲ希望致シマス

- 馬屋原彰君 チヨツト水野君ニ質問致シマス、唯今ノ修正案ハ能ク調ベマセヌガモウ一應ドウカ朗讀ヲ願ヒマス

- 水野遵君 修正ハ政府案ノ第二條ノ二タ下リ目ニ「セル土地ハ」トゴザイマス、其下ニ「此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過シタルトキニ於テ最終ノ」是マデヲ削ルノデ即ち地割セル土地ハ地割ニ依テ其配當ヲ受ケル、一年俟タズシテ地割ガ出來タトキハ直ニ土地ヲ持ツテ居ルガ眞ノ所有者ニナルト云フ意味ニ是ハ修正ヲ致ス

- 馬屋原彰君 分リマシタ、ソレハ詰リ水野君ノ御杞憂ニナル點ハ此一箇年ノ云々ト云フコトガアルタメニ種々ノ弊害ガアルト云フ今御説デアリマスガ其種々ノ弊害ト云フノハドウ云フ黒デアリマスルカは隨分我々モ委員ノ一人ニ加リマシテ反覆討議ヲ致シタノデアリマス、ソレデ是ハ全ク委員が見落シテ居フタト云フコトハナインデアリマスルガ水野君ノ其憂ヘラル、所ノ點ハドウ云フコトデアリマスカ、一例ヲ舉ゲテ御説明ヲ願イタイ

- 水野遵君 御答ヘ致シマスル私ノ憂ヘマスルノハ先程委員長ノ御演説ノゴザイマンタ通沖繩縣民ハ是マデ時々此地割ヲ受ケテ田地ヲ耕シテ居フタ者ト又内地ニ比較致シマスルト人文ノ程度モ低ウゴザイマスル、故ニ此際一年云々ト云フコトニ致シテ置キマスルト一年ノ間ニ真ニ割ヲ受クヘキ百姓ハ割付ヲ受ケズニ他ノ奸民奸商ノタメニ土地ヲ壟斷サレルト云フコトガ恐ロシイト云フコトガ本員ノ刪除致シタイト云フ第一ノ理由デゴザリマス

(子爵曾我祐準君「賛成ガナケレバイラヌイラヌ」ト述フ)

- 馬屋原彰君 宜シイ

○馬屋原彰君 未ダ此御説ニハ賛成者ハナイヤウデゴザイマスガ私ハ此案ニ對シテハ反對ノ説ヲ取リマス

○子爵堀田正養君 賛成

○子爵久留島通簡君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

○子爵玉松眞幸君 賛成

○子爵堀田正雄君 賛成

○子爵鍋島誠一郎君 賛成

○子爵池長四郎君 賛成

○子爵辻健介君 賛成

○子爵柳末徳君 賛成

○子爵宮島誠一郎君 賛成

○子爵戸田忠義君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○三浦安君 賛成

(其他「賛成」ト呼ブ者數名アリ)

○馬屋原乾君 極論短デゴザイマスカラ是テ述ベマスが唯今ノ重議ガ出マシ
タ其理由ハ承リマシテゴザイマスガ實ハ其邊ノ點ハ委員會ニ於キマシテモ度
度出タ說デゴザイマスガ詰リ琉球人民ハ内地ヨリハ程度ガ低イソレデ一箇年
ヲ置イテ先キデヤレバ色ニ其處ヘ持ツテ來テ奸ヲ働く、詰リ此割方ヲ受クベキ
者モ之ガタメニ權利ヲ失スルト云フヤウナ處ガアルト云フコトハ既ニ委員會
ニ於テモ論ガタノテ然ルニ僅カ一年過ギタナラバトテ矢張其點ニ至ラテハ
繩デハ現今餘程地價ガ内地ヨリハ高價ニナシテ居ルト云フコトニ例ヘバ一段
ニ附イテ五百圓位ナ價ヲ持ツテ居ル中ニ之ヲ他カラ這入シテ一攫千金ナド、云
ナ者ガ這入り込ンデ色ニナ奸ヲ働くカウト云フヤウナコトハアルマイカト云フ
説モアグタノデアリマス、所ガ其邊モ我ニガ餘程實際ヲ研究シテ見マシタガ沖
繩ニ付イテ五百圓位ナ價ヲ持ツテ居ル中ニ之ヲ他カラ這入シテ一攫千金ナド、云
フ奸策ヲ此間ニ用ヒントシテモ其餘地ハナイノデアリマス詰リソレダカラシ
テ其點ニ向シテ杞憂ヲ懷クト云フコトハ無用デアル、ソレヨリハ寧ロ一箇年
ヲ過ギテ云々ト云フコトニシタナラバ隨分是マデハ此地割等ノコトニ附イテ
ハ別段ニ地券ト云フ如キモノヲ渡シテハナク實ハ口頭デ其地割ノ授受ヲシテ
居ル有様デアル、サウデアリマスカラ此法律ガ出ルヤ其邊モ却テ實際デハ圓
滑ニ相談モシテ地割ヲ受クベキ者ト受クベカラザル者トノ真正ナル權利ヲ得
ル方針ニ協議ガ調フデアラウ、然ラバ此際直ニヤルヨリハ一箇年經過シテ最
終ノ地割ト云フモノヲ鄭重ニシタ方が却テ圓滑ノ結果ヲ得ルデアラウト云フ
居トテ詰リ委員會ハ決シタ譯デアリマス、加フルニ詰リ之ヲ憂ヘラル、ノモ
矢張杞憂又我ニガ云フノモ實ハ想像デアリマスケレドモ若シ反對者ノ如ク杞
憂ニ重キヲ置キマスニ致シマシテモ既ニ會期モ迫シテ居リマスシ、又衆議院
ヘ回シテ協議會デモ開イテ成ル程圓滿ナル結果ヲ得レバ格別デアリマスケレ
ドモ若シモ自然衝突ヲ起シタトキニハ之ガタメニ折角政府ガ從來調査シテ此
法案ヲ出サレテモウソレハ材料モ調フテ居ル際ニ當シテ又此延期ヲスルト
ナレバ之ガタメニ生ズル結果ト云フモノハ如何デアリマセウカ、本員等ハサ
ウ云フ結果ガ若シアラバ一年經過云々ト云フコトヲ殘シテ置タ害ヨリハ
一層甚シキ害ヲ見ルデアラウト思ヒマスカラ旁ニ是ハ此原案通據置クガ宜イ
ト云フコトニ委員會ハ全會一致デ決シタ次第アリマス、ドウカ是ハ諸君ニ
於テモ此御杞憂ノ點ハ却テ御主張ナサルガタメニ又一層深イ弊害ヲ來スト云
フヤウナコトガアツテハナラヌト云フコトニ御著目アタテドウカ此反對ノ動
議ニハ御贊成ニナランコトヲ切望致シマス
○議長(公爵近衛篤麿君) 水野君ノ修正ニ附イテ
○三浦安君 此一箇年經過ヲ省クト云フコトハ政府ニ於テモ強テ差支ハアル
マイト思ヒマス、ドウ云フ譯デ是ハ一箇年經過ト云フコトニ致シタカ、ドウ
シテ政府ハ其所見ヲ固執スル譯デハナイ、衆議ノ赴ク所ニ從ヒマシテ宜シ
シテ申シタノデ、唯之ヲ尊重ニスルト云フ意味ノ外ハアリマセヌ、茲ニ唯一言申
シテ置キマスルガ唯今委員長ノ御報告ニ修正ハシタイケレドモ間ガナシ、併
シ其修正ヲ欲スル程ノ希望ヲ行政官ニ於カレテ成ルベク注意ヲスルヤウニト

云フ御趣意六万、タヤウテアリ、オルカ其邊ハ行政官ニ於テモ少イ困ラセウト
思ロマス、修正ヲスルナラバ矢張シテ置カスト修正ヲスルト同一ナル注意ヲ
行政官ニ持テト云フコトハ何分困難デアリマス、其邊ハ十分ニ御審議アラン
コトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤磨君）多
「少數」ト呼フ者アリ
「多數」ト呼フ者多シ

長(公爵近衛篤磨君) 然

議長（公爵近衛篤賢君）　起立者少數ト認メマス、水野君修正ニ決シマス、第三條

ヨリ末條マデ
第三條 他則記當ノ流庄ノ爲見二十米苦ハ之ニ代ハレキ報賞ヲ受クヘキ

支交付シ又ハ代償ヲ爲スコトヲ要ス
村カ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ地割シタル土地ニシテ村ノ所有トナラサ

ルモノノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ニハ其ノ村持地ノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ヨリ相當ノ土地ヲ交付

シ又ハ代償ヲ爲スコトヲ要ス
第四條 村ノ百姓地、他頂地、「才工カ」地、「ノロクモイ」地ヲ其ノ村ニ於テ

第百四十九条
屋敷地トシテ配當タルモノハ其配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼レ者ノ所トベ

村
カ浮掛又ハ叶掛け受ケテ之ヲ屋敷地トシテ配當シタル土地ニシテ第六

第五條 一項但書ニ依リ林ハ所有トナルヘキモノニ付テモ亦前項ニ同ミ
屋敷地配當ノ統並ノ爲現ニ叶米若ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ受クル

者及村ガ浮掛又ハ叶掛ヲ受ケテ之ヲ屋敷地トシテ醸當シタル土地ニシテ
村ノ所有トナラサルモノノ配當ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル

第六條 著付ノハ第三條ノ例ニ依ル
村ノ百姓地、地頭地「オエカ」地、「ノロクモイ」地、「キナワ」烟ニ

シテ村又ハ與ヨリ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタルモノハ其ノ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ於ケル地割ノ配當ヲ受クヘキ者ノ共有トス但シ叶米若

ハ之ニ代ハルヘキ報償不納ノ場合ノ外取戻スコトヲ得サル浮掛又ハ叶掛けヨリ浮掛け叶掛ヲ受ケテ占有ヲ得タル者又ハ其ノ權ノ土地ハ村又ハ與ノ浮掛け叶掛け又ハ叶掛け叶掛ヲ受ケテ占有ヲ得タル者又ハ其ノ權

利ヲ承繼シタル者ノ所有トス
前項ニ依リ共有トナルヘキ土地ニ付此ノ法律施行前ニ成立セル浮掛又ハ

叶掛ノ關係ハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍存續ス
第一項ニ於ケル共有着ノ持分ハ第一條ニ於ケル地割ノ率ニ依ル

第一項但書ニ依リ所有ヲ得タル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル村又ハ與ニ對シ報償ヲ爲シ且第二十三條ニ依リ地租ヲ徵收セラル迄從前ノ叶米又ハ之ニ代ハルヘキ報償ヲ浮掛又ハ叶掛ヲ爲シタル

三志

村又ハ與ニ交付スルコトヲ要ス

第七條 藩制ノトキ地頭ノ自作シ若ハ拾掛ヲ爲シタル地頭地ニシテ村持ト

ナラサルモノハ其ノ自作者若ハ拾掛ニ依リ占有ヲ得タル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第八條 藩制ノトキ地頭ノ質入シタル地頭地ニシテ村持トナラサルモノハ

質取主又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

前項ニ依リ所有ヲ得タル者ハ質入主ニ對シ其ノ債權ヲ主張スルコトヲ得

タルモノトス

第九條 「ノロクモイ」地ニシテ村持トナラサルモノハ「ノロクモイ」トシテ

占有ヲ得タル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十條 墓地及其ノ附屬地ハ朱引等ヲ有スヘキ者ノ所有トス

第十一條 仕明請地、仕明知行地、請地、拂請地、拜領地及那霸、首里兩

區内ノ屋敷地ハ手形、差出等ヲ有スヘキ者ノ所有トス

第十二條 埋立地及濱山野ニシテ此ノ法律施行前埋立又ハ開墾ノ成功シタ

ルモノハ其ノ埋立又ハ開墾ヲ爲シタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ

所有トス

第十三條 間切山野、村山野、浮得地、保管地、馬場、牧場及間切役場ノ敷地

等ハ其ノ區、區ノ字、間切、村又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十四條 村持地ニシテ村ヨリ讓渡シタル事實アルモノハ讓受人又ハ其ノ

權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十五條 期限ヲ定メシテ開墾ヲ許可シタル杣山ハ第十八條ノ規定ニ拘

ハラス其ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ權利ヲ承繼シタル者ノ所有トス

第十六條 永久ニ交換シタル土地ハ其ノ引渡シタル土地ノ名義ニ依テ前各

條ヲ適用ス

第十七條 前各條ニ該當セサル土地ニシテ民有ト認ムヘキ事實アルモノハ

第二條以下ノ規定ニ準シ處分ス

第十八條 杣山、川床、堤防敷、道路敷及其ノ餘地其ノ他民有ト認ムヘキ事

件ナキモノハ總テ官有トス

杣山ノ保護管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ規定スルモノノ外從來ノ慣行ニ依

ル

第十九條 此ノ法律ニ依リ協議シタル事項ハ當該官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十條 此ノ法律ニ依リ民有トナリタル土地ハ便宜區畫シテ地盤ヲ丈量

シ每筆其ノ品位等級ヲ詮定シ所得ヲ審查シ其ノ土地ノ情況ニ應シテ地價

ヲ定ム

第二十一條 土地整理ニ關スル處分ニ付不服アル者ハ處分ヲ受ケタル後九

十日以内ニ當該官廳ニ申立ツルコトヲ得但シ第十九條ノ場合ハ此ノ限ニ

アラス

第二十二條 前條ノ申立ニ對スル處分ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコ

トヲ得

第二十三條 地租條例及國稅徵收法ハ勅令ヲ以テ期日ヲ定メ漸次沖繩縣ニ

施行ス但シ社寺地、拜所ハ地租ヲ免除ス

第二十四條 沖繩縣ニ於ケル地租ノ納期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條 此ノ法律ノ施行ニ關シテハ伊江島、伊平屋島、粟國島、渡名喜

島、鳥島ハ間切ニ準シ與那國島ハ村ニ準ス

第二十六條 沖繩縣ニ於テ土地ニ關シ舊慣ニ據リ徵收スル國稅ハ第二十三條ニ依リ地租ヲ徵收スル年ヨリ之ヲ廢止ス

第二十七條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 一二讀會ハ是ニテ了リマシタ

○子爵堤功長君 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 二讀會ノ開キマス、御異議ガナクバニ讀會ニ移リマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 一二讀會ノ開キマス、御異議ガナクバニ讀會ニ移リマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ可決ト認メマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 漁業法案、政府提出、第二讀會

○議長(公爵近衛篤脣君) 漁業法案、政府提出、第二讀會

○議長(公爵近衛篤脣君) 本案ニ付キマシテ政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、此

漁業法案ハ專ラ營利ヲ目的トスル所ノ漁業者ノ爲ニノミ設ケラレルノデアリ

マスルカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 馬屋原彰君 私ハ第一讀會ノトキニ委員會へ出席シマシタ、メニ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 逐條會議デアリマスガラ其大體ヲ御質問デアルト

少シ違アフト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 馬屋原彰君 宜シウゴザイマス、併ナガラ少シ要點ガアリマスカラ

○議長(公爵近衛篤脣君) 第何條デスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 第一條ニアリマス

○議長(公爵近衛篤脣君) チヨット御待下サイ宣告ヲシマス、第一條……

○議長(公爵近衛篤脣君) 行政廳ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

○議長(公爵近衛篤脣君) 前項ノ外免許ヲ受クルコトヲ要ス

○議長(公爵近衛篤脣君) 第一條ノ場合ニアリマスガソレハ第一條ノ法文ヲ見マスル

ト甚ダ我々ノ見マス所デハ意味ガ明瞭ニナイヤウデアリマスルデ同ヒマスル

ガ詰リ此漁業ヲ爲ス者ハ云々ト云フコトガアリマス、此漁業ヲ爲ス者ト云フ

ノハ營利ヲ目的トスル所ノ漁業者ノミデアルカ、又ハソレバカリデナク自己

ノ食用若クハ慰ミニタメニスル所ノ者ニマデモ及スト云フ積テアリマスカ、

此精神ヲハッキリト伺ヒタインデアリマス

○政府委員牧朴眞君演壇ニ登ル

○政府委員牧朴眞君 唯今ノ御質問ニ答ヘマス、此第一條ハ漁業者即チ營

業者ノ爲ニ營業ヲ致シテ居ル者ヲ指シマスノデゴザイマス、併シ其他遊獵ノ

如キ者ニ於キマンシテモ或ハ禁漁場ヲ犯シマシタリ或ハ第九條ノ場合等ヲ犯シ

マスル者ガゴザイマスレバ此法律ヲ以テ制裁ヲ致シマスルノデアリマス、併

ナガラ此第一條ニ何ガ這入ツテ居ルカト云ヒマスレバ所謂漁業ヲ營業ト致シ

マス者ニアリマス

○馬屋原彰君 尚其他ニ質問シタイコトアリマスガ此際デハ條ヲ履ンデ先キノ方ノ質問ハ御許ニナラヌノデスカ
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今ハ第一條ダケガ問題ニナマテ居リマスカラ其箇條へ行クタキニ御質問ニナルガ宜カラウト思ヒマス
 ○馬屋原彰君 ソレデハモウ一箇條宛デ今ノ順ヲ逐フデナケレバ質問ハ出來ヌデスカ
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 問題ニ供シタ部分ダケデナイト問題外ニ涉リマスカラ・併シ御便利ノタメニ宣告ノ追加ヲシマス、第一條ヨリ第二條マデ全部ヲ問題ニ供シマス
 第二條 入會又ハ専用ノ慣行アル漁場區域ニ於テスル慣行ノ漁業ハ其ノ慣行ニ依ル
 第三條 前條ノ慣行ニ付争アルトキハ關係漁業者ノ請求ニ因リ地方長官之ヲ決定ス
 前項ノ場合ニ於テ漁場若ハ關係漁業者ニシテ一道廳府縣ノ管轄以外ニ涉キハ主務大臣之ヲ決定ス
 第四條 水產動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益ノ爲必要ナルトキハ行政廳ハ漁業ノアルトキハ關係地方長官協議ノ上其ノ争ヲ決定ス協議調ハサルト
 第五條 漁業免許ノ取消シ又ハ制限スルコトヲ得
 入會又ハ専用ノ慣行アル漁業ニシテ前項ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ漁業ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得
 第六條 行政廳ハ必要ト認ムルトキハ漁場ノ位置若ハ區域ノ標識ヲ建設シ不服アル者ハ訴願ヲ得
 前項ノ場合ニ於テハ明治二十三年法律第三十八號水路測量標條例ノ規定ヲ準用ス
 標識ノ建設ヲ命セラレタル場合ニ於ケル其ノ建設保存ノ費用及其ノ敷地ノ使用料ハ關係漁業者ノ負擔トス
 第七條 漁業免許ヲ受ケタル者引續キ二年間其ノ漁業ニ從事セサルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
 第八條 壇、堤、水閘、水車其ノ他ノ建設物ヲ設置シテ魚類ノ通路ヲ妨碍スルト認ムルトキハ行政廳ハ建設物設置者ノ費用ヲ以テ魚道ノ設置ヲ命スルコトヲ得
 第九條 水產動植物ニ有害ナル物質ヲ遺棄シ其ノ蕃殖ヲ妨害スルト認ムルトキハ行政廳ハ其ノ禁止若ハ制限シ又ハ遺棄者ノ費用ヲ以テ除害ノ方法ヲ設ケシムルコトヲ得
 第十條 行政廳ハ水產動植物ノ蕃殖保護若ハ漁業取締ノ爲命令ヲ以テ禁漁場ヲ設ケ又ハ水產動植物ノ採捕、漁具ノ使用、漁撈ノ方法ヲ禁止シ若ハ制限スルコトヲ得
 第十一條 公有水面ニ通スル私有水面ニハ水產動植物ノ蕃殖保護上必要ナル場合ニ於テ前條ノ規定ヲ適用ス
 第十二條 第六條第八條第九條又ハ第十一條ニ依リ行政廳ノ命シタル事項

ヲ其ノ義務者ニ於テ履行セサルトキハ行政廳ハ自ラ之ヲ執行シ若ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得
 前項ノ執行ニ要シタル費用ハ其ノ事項ヲ命セラレタル義務者ノ負擔ト前項費用ノ徵收ハ國稅徵收法ヲ準用ス但シ其ノ先取特權ノ順位ハ國稅及府縣稅ノ次トス
 第十三條 行政廳ハ水產動植物ノ蕃殖保護及共同ノ利益ノ爲地區ヲ定メテ漁業組合ノ設置ヲ命スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テハ其ノ地區内ノ漁業者ハ總テ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ行政廳ニ於テ漁業ノ種類ニ依リ組合ニ加入スルノ必要ナシト認メタル者ハ此ノ限ニアラス
 漁業組合ノ設置ヲ命セラレタル漁業者ハ漁場ノ區域ヲ定メ定款ヲ議定シテ行政廳ノ認可ヲ受クルヲ要ス
 第十四條 漁業組合ノ經費ハ其ノ組合員及其ノ漁場區域内ニ於テ漁業ヲ爲ス者ヨリ徵收スルコトヲ得
 第十五條 明治三十年法律第四十七號重要輸出品同業組合法ノ規定ハ之ヲ漁業組合ニ準用ス但シ農商務大臣ニ屬スル職權ハ漁業組合ヲ認可スル行政廳之ヲ行フ
 第十六條 第十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第十七條 他人ノ免許漁場又ハ第二條ノ慣行漁業ヲ侵シテ漁撈シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
 前項ノ罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス
 第十八條 免許ヲ受ケシテ免許ヲ受クヘキ漁業ヲ營ミタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第十九條 此ノ法律若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依ル禁止若ハ制限ニ違反シテ採捕シタル水產動植物ヲ販賣シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處シ仍其ノ代價ヲ追徴ス
 第二十條 此ノ法律ハ明治二十三年一月一日ヨリ施行ス
 (特別委員修正案)
 第四條 水產動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益ノ爲必要ナルトキハ行政廳ハ漁業ノ免許ヲ取消シ又ハ制限スルコトヲ得
 入會又ハ専用ノ慣行アル漁業ニシテ前項ノ場合ニ該當スルトキハ行政廳ハ其ノ漁業ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得
 第五條 漁業免許ノ拒否又ハ第三條及第四條ニ依ル行政廳ノ處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ得
 行政廳ノ處分違法ニシテ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 第十三條 行政廳ハ水產動植物ノ蕃殖保護及共同ノ利益ノ爲地區ヲ定メテ漁業組合ノ設置ヲ命スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テハ其ノ地區内ノ漁業者ハ總テ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ行政廳ニ於テ漁業ノ種類ニ依リ組合ニ加入スルノ必要ナシト認メタル者ハ此ノ限ニアラス
 漁業組合ノ設置ヲ命セラレタル漁業者ハ定款ヲ議定シテ行政廳ノ認可ヲ

受クルヲ要ス

第十六條 第十三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ過料ニ處ス

第十七條 他人ノ免許漁場又ハ第二條ノ慣行漁業ヲ侵シテ漁撈シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 免許ヲ受ケシテ免許ヲ受クヘキ漁業ヲ營ミタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 此ノ法律若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ依ル禁止若ハ制限ニ違反シテ採捕シタル水產動植物ヲ販賣シタル者ハ一圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ仍其ノ代價ヲ追徴ス

○馬屋原彰君 夫カラ其次ニ政府委員ニ伺ヒマスガ第二條ノ場合ニアリマス示シマシタモノニアリマシテ第一條ノモノハ即チ場所ヲ區劃シテ所謂區劃漁業ノコトヲ指シマスモノデゴザイマス、故ニ第二條ノ漁業者ト云フノハ此第一條ニ依ラテ免許ヲ受

ケル漁業者デハアリマセヌカ否ト云フコトヲ先づ伺ヒマスシマスモノニアリマスモノニアリマスハ第一條トヘ違ヒマス、併ナガラ或ル場合ニ於テハ矢張第一條ニ依ラテ漁業

○馬屋原彰君 然ラバ第二條ノ場合ニハ免許ヲ受クルヲ要セザルモノモ其中ニアルノデアリマスカ

○政府委員(牧朴眞君) モウ一應承リタイ

○馬屋原彰君 第一條デハ必ず免許ヲ受クルヲ要スル漁業者デアリマスルガ第二條ノ御説明デ見ルト少シ分リ兼マスカラ推シテ御尋致シマスガ第一條ノ漁業者モ這入シテ居ル、又其他ノ漁業者モ這入シテ居ルト云フヤウナ御説明デアリマシタガ果レサウナラバ第一條ノ免許ヲ受クベキ漁業者トソレカラ受ケナイデモ宜イ無免許デ漁業スル者モ第二條ニ這入シテ居ルカト云フ御尋

○馬屋原彰君 モウ一ツ其次ニ伺ヒマスガ第九條ノ所デゴザイマス、其第九條ニ「遺棄者ノ費用ヲ以テ除害ノ方法ヲ設ケシムルコトヲ得」トアリマスルガ此規定ハ實際人民ニ取テハ甚ダ困難デアラウカト云フ疑フ持テ居ルノデアリマス其一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ彼鑽毒ノ如キモノガ若シ誤ツテ河川ニ流失シタト云フヤウナ場合デゴザイマシテソレヲ除害シヤウト云フコトハ逆モ此規定通ニシテ人民ニ負擔ヲサセルト云フコトハ頗ル困難ナコトデ逆モ其負擔ニ堪フベキモノニアリト思ヒマスガサリナガラ政府ハサウ云フ場合ガアラモ是非此九條ノ規定ハ此儘ニシテ置カネバナラヌト云フ必要ヲ認メラ

○政府委員(牧朴眞君) 中上ゲマス、是ハ第九條ハ此有害物ヲ還棄シタル場合合、其タメニ繁殖ヲ妨害スルコトガアラタ場合デアリマス、少々害物ガ流レタカラ直チニ此除害ノ方法ヲ設ケシメル、ドノ場合デモイツデモ之ヲ設ケシ

(三九)

ムルト云フ積デハナイデス、或ハ其害が大イニ甚シウゴザイマシテ水產動植物ノ被害ヲスルコトガ甚シイ、一方ニハ此事業ノコトガ如何ナルモノニアリカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、寧ロ此繁殖ヲ圖ル方ニ重キヲ置ク繁殖ヲ妨害スルコトガ餘程甚シイト云フ場合ニコレハ除害ノ方法ヲ設ケシメナケレバ此魚類ノ繁殖ト云フモノヲ圖ラレナイ、斯ウ云フ必要ノ場合ニ迫リマシタ

トキニ始テ此除害ノ方法ヲ設ケ或ハ制限禁止ヲ致シマス、イツノ場合アモ必ズ除害ノ方法ヲ設ケシムルト云フノ主意デハゴザイマセヌ、即チ書イテモゴザイマスル通除害ノ方法ヲ設ケルト云フノ必要已ムヲ得ザル場合ニ於テ、魚類繁殖ノタメニ此除害ノ方法ヲ設ケル積デゴザイマス

○馬屋原彰君 然ラバ今鑽毒ノ如キモノガ若シ誤ツテ河川ニ流失シタト云フヤウナ場合ニハ如何ナルノデスカ、サウ云フ場合ハ此規定ヲ施行サルハノデアラウト思フ無論此法文デハ方法ヲ設ケシムルコトヲ得トアルカラシテソレハ取捨ハアルノデゴザイマセウ、併シ本員ガ御尋致シマスル所ハ萬一斯ウ云フ場合ノ出タトキハコレラノモノハドウ云フ處分ヲスルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○政府委員(牧朴眞君) 鑽毒ノ場合ニ於キマシテモ其害が非常ナ害デゴザイマシテ水產物ノ繁殖ヲ妨害スルコトガゴザイマシタナラバ、ソレガタメニ此除害ノ方法ヲ設ケシムルト云フコトヲ致シマセヌケレバナラヌノデアリマス、既ニ鑽業條例ノ方ニ於キマシテモサウ云フ場合ニ於キマシテハ其義務ヲ負擔スルヤウニナクテ居リマスデ甚シク害ガゴザイマシタトキハ實際且ツ繁殖上尤モ必要ナトキデアラタトキニハ此鑽業者ニ命ジテ除害ノ方法ヲ設ケシメサセル積デゴザイマス、鑽業條例ノ方ニ於テモ其責任ガ負ハシテゴザイマスル

○馬屋原彰君 モウ一ツ伺ヒマス、政府ハ此案ヲ御提出ニナル以上ハ元ヨリ此水產動植物ノ中ニ就イテ尤モ繁殖ヲ圖リ最モ必要トスル所ノ動物ノ種類植物ノ種類ハ大凡斯ウ云フモノデアルト云フコトヲ御調ニナクテ居ルダラウト考ヘマスガ其邊ヲ悉クテナクテモ宜シウゴザイマス、概要ヲ御示ヲ願ヒタ

○政府委員(牧朴眞君) 澤山ナ種類デゴザイマスカラ一々ハ申サレマセヌガ例ヘテ申シマスレバ鯨鮭鰐ト云フヤウナモノデゴザイマス、其他澤山種類ガゴザイマスガ、一々總テノ種屬ハ私モ唯ハ申サレ切レヌ程ノ數デゴザイマス

○馬屋原彰君 其次ニ今一ツ伺ヒマスガ、此十三條ノ場合デス、第十三條ノ組合ノ所デ御尋致シタイ、其第二項ニ地區内ノ漁業者ト云フコトガアリマス、此漁業者ノ中ニハ第一條ニ規定シテアル所ノ漁業者、其外第一條ニ規定セザル所ノ漁業者即チ第一條ノ範圍外ノ漁業者ト云フモノモアルヤウニ解セラレマスルガ、詰リ此漁業組合ト申シマスルモノハ海ノ漁師モ川ノ漁師モ總テ一ト纏ニシテ此組合ニ加入サセルト云フノガ此第十三條ノ主意ノヤウニ見エマスノデゴザシスルガ、果シテ左様デアリマスルカ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(牧朴眞君) 中上ゲマス、此第十三條ハ唯今丁度御質問ノゴザイマシタ通所謂第一條ノモ第二條ノモ凡テ漁業ヲ以テ營業ヲ致シテ居リマスルモノハ此第二項ノ漁業者ノ中ニ這入リマスルノデゴザイマス、併ナガラコ

レハ第一條ノ一項ニ書イテゴザイマスル通ニ最モ此漁業組合ヲ設ケルコトガ必要デアルト云フ場合ニ即チ行政廳ガ組合ヲ命ジマス、又餘リ必要デナイ所

ハ組合ヲ設置スルコトヲ命ズル限デハナイノデアリマス、唯此漁業者ト云フモノハ御質問ノ通總テ這入りマスノデアリマス

○馬屋原彰君 甚ダ長クナリマスルガモウ一箇條其次ノ第十四條ノ所デアリマスルガ、其十四條中「其ノ組合員及其ノ漁場區域内ニ於テ漁業ヲ爲ス者ヨリ」

云々トアリマスルガ其組合員ト申シマスルモノハ無論此文字ノ上デ申シマシテモ漁業者ト云フモノトハ區別シテゴザイマスガ其漁業者ノ外ニ組合員ト云

フモノハドウ云フモノヲ指スノデアリマスカ、ソレヲ一ツ御示ヲ願ヒタイ

○政府委員(牧朴眞君) 中上ゲマス、此組合員ト申シマスルノハ即チ漁業者ノ組合員デゴザイマスカラ、此第二項ノ漁業者ガ即チ組合員デゴザイマス、而シテ此漁業ヲ爲ス者ト申シマスモノハ組合ニ這入フテ居リマセヌモノニシテ他ヨリ……此區域外ヨリ參リマシテ漁業ヲ爲ス者ノコトデアリマス、第二項ノ……六十三條ノ第二項ハ即チ其地區内ニ所謂何郡ナラ何郡ト云フ其郡内ニ住居シテ居リマスル漁業者ヲ指シタノデアリマス、コレハ此組合外ヨリ來テ漁業ヲ爲ス、區域外ノ人ガ參リマシテ漁業ヲ爲ス者ト、斯ウ云フ風ナ意味ニナクテ參リマシテ、一方ハ其土地ニ住居シテ居ル者、一方ハ他ヨリ來テ漁業ヲ爲ス者ヲ指シタノデアリマス

○馬屋原彰君 然ラバ此組合員ト云フ者モ矢張第十二條ニアル所ノ漁業ヲ爲ス者デアリマス

○政府委員(牧朴眞君) 左様デゴザイマス

○馬屋原彰君 シテ其漁業區域内ニ於テ漁業ヲ爲スト云フ者ハ先づ例ヲ舉ゲテ申シマスレバ其組合ニ這入ラナイ即チ加入スルノ必要ガナイ者ト認メラレタ者ノ如キ漁業者ト云フ意味デゴザイマスナ

○政府委員(牧朴眞君) 左様デハゴザイマセヌ、コレハ他ヨリ參リマシテ此甲郡ヘ乙郡カラ參リマシテ其區域内ニ於テ漁業ヲシマスコトガアリマス、現ニ中國四國环ニハ澤山此コトガゴザイマス、其トキニハ其組合ノ入費ヲ拂ウト云フヤウナコトモ實際ゴザイマスル、コレハ前ノ十三條ノ第二項ハ其土地ニ住居シテ居ル者、其土地ニ住居シテ居ル者ハ皆組合員デアリマス、其組合

○政府委員(牧朴眞君) 左様デハゴザイマス

○馬屋原彰君 意見ヲ述ベタウゴザイマスガ宜シウゴザイマスカ第八條ニ附イテ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス
(男爵船越衛君演壇ニ登ル)

○男爵船越衛君 本案ハ全體ノコトニ附キマシテ極全備ト云フデハナイ、甚ダ缺損ガアラウカト考ヘルガ併シ其内デ最モ行レテ然ルベカラズト考ヘルコトガアル、此第八條ノ私ハ削除ノ意見ヲ述ベマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス
(男爵船越衛君演壇ニ登ル)

第八條ハ「堰、堤、水閘、水車其ノ他ノ建設物ヲ設置シテ魚類ノ通路ヲ妨碍スルト認メルトキハ行政廳ハ建設物設置者ノ費用ヲ以テ魚道ノ設置ヲ命スルコトヲ得一ト云フコトガアル、先づコトニテ此例ヲ設ケテ言フト」ノ川ガアル、仕切シマフデ魚ガ通ルコトガ出來ナリ、サウスルト云フト魚道ヲ開ケサストヲ得ルト云フガチヨット考ヘルト此魚道ヲ附ケルト云フヤウナコトハ

易イヤウナケレドモ仕切タテ魚ノ通ルタケノ水道ヲ附ケルト云フノデアルカテ是ハ容易ニ出來ルコトデヤアナイト思フ、又其水道ヲ附ケレバ堰止メテ田畠ヘ灌グ水ハ行カナクナル、又チヨット口デ言フト易イヤウダガ魚ノ通ル溝ヲ附ケルノデアルカラ水モ多クナクチヤアナラヌ、廣クモナクチヤアナラヌ、淺

クテコヽヲ通ルト云フ譯ニハ行クモノデハナイ、デ是ハ行レヌコト、思フ、ソレデ斯ウ云フコトヲ出シテ置クト云フト争論ノ基ニナル無論魚道ノ設置ヲ命ズルコトヲ得ト云フコトデアルカラ其場合ニ於イタラウ云フコトハ爲ササヌコトガアラウケレドモガ、既ニ魚類ノ通路ヲ妨碍スルト認ムルトキハ行政

廳ハ云々トアル以上ハ川ヲ仕切リヤア是ハ必ズ魚類ノ通行ヲ止メルノニ違ヒナイ、ソレハ矢張止メルニ違ヒナイ、止メルト見レバ即チ其魚ノ通ル路ヲ開ケルト云フコトニナラニヤナラヌ、デ僅ナ魚類ノタメニ幾百町、幾千町ヘ灌グ

水ヲ減ジサセ、魚ノタメニ仕切ヲ開ケサスト云フコトハ甚ダ大小輕重頗ル權衡ヲ得ヌコトデアル、唯水產上カラ見レバ漁人ノ保護ヲシ魚ノ繁殖ヲスルヤウデアルケレドモソレガタメニ田畠ノ灌漑等ヲ止メサセニヤアナラヌコトガ

或ハ生ジルカモ知レナイ、デ此條ハ廟ジテ削除致シタインデ、殊ニ近來往々水產ノ保護モ出來テ誠ニ本員ニ於テモ賛成致ス、賛成ハ致スガ物ト云フモノハ一方ヘ傾クト或ハ弊ガ生ズル、保護ハ宜イ繁殖ノ方法ヲ圖ルモ宜シイ、然ルニ一方ダヤア田地ノ害ヲスルト云フコトチャア是ハ決シテ贊同ハ出來ナイ、殊ニ地租モ今年ハ増徵ニモナクテ隨分農民ニ益、田畠ノ灌漑等ニ便利ヲ與ヘサセニヤナラヌ、又

水產モ繁殖ヲ圖ルトハ云フモノ、國稅ト云フモノハ北海道ヲ除ク外ハ一錢モノデ是ハ斷シテ削除致スンデゴザイマスガ又第九條ニ於テモ隨分妨碍、頗ル出シテ居ラヌノデアル、一方ハ稅ヲ増シテ遣リ、一方ハ北海道ヲ除ク外ハ一程ノ水產ガアツテモ國稅ハ一錢モ出サナイ、ソレニ田地ノ害ニモナクテ多數ノ米作ノ必要ノモノヲ其水ヲ分ケルト云フコトハ甚ダドウモ大小輕重ヲ得ヌノデ是ハ斷シテ削除致スンデゴザイマスガ又第九條ニ於テモ隨分妨碍、頗ル煩雜ガ生シテ行政官モ困マラウト思フデ此間主務ノ人ニ質問致シタガ決シテ妨碍ノナイヤウニスルト云フテ職務ヲ以テ答辯ガ出來マシタデ是ハ先づ實行ヲ見ル積デ是モ必ズ論ガ起ル、煩難ガ生シヤウトハ思フガ、當局者ガ責任ヲ以テ答ヘル以上ハ是ハ削除ハ致シマセヌガ必ズ論ガ起ラウト存ジマスルデ益、當局者ハ親切ニ凡ソ總テノ權衡ヲ見テ宜シク事務ヲ扱ハレンコトヲ是ハ當局者ニ希望致シマス、削除ニ序テ一言述べテ置キマス

○馬屋原彰君 本員ハコヽデ一ノ動議ヲ提出致シタウゴザイマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 動議、何ノ動議デス
(馬屋原彰君演壇ニ登ル)

○馬屋原彰君 本員ハ此漁業法案ヲ委員ニ再付託ニ致シタイト云フ希望ヲ持テ居リマス、其故ハ此法案ハ漁業社會ニ於キマシテハ頗ル利害ノ關係ヲ有スルモノデアリマシテ是ハナカク重大ナ法案デアルト考ヘマス、デ先づ其

重ナル點ヲ申シマスルト先刻來質問ヲ致シマシタ所ノ箇條ノ中ニ附キマシテモ第九條ニ有害ナル物質ヲ遺棄シテサウシテ其繁殖ヲ妨害スルト云フヤウナ場合ガアツタナラバ之ヲ行政廳ニ於テ禁止若クハ停止スルト云フコトハ當然

ノコト、思ヒマスルナレドモ未文ニ至ツテ其遺棄者ノ費用ヲ以テ除害ノ方法ヲ説ケサセルト云フニ至ツテハ政府委員カラ本員ガ一ノ事例ヲ以テ尋ねマシタニ對シテ彼ノ鑽毒ノ如キモノガ若シ河川ニ流出シタキハ無論此條ヲ適用シナケレバナラヌト明言サレタノデアリマス斯様ナ場合ガ九條ノ範圍内ニ置カレタナラバ實際ニ於テ果シテ行ル、ヤ否ヤ、本員等ハ逆モ行レ得ベキモノデハナイト考ヘマス、如何トナレバ其鑽毒ノ如キモノガ河川ニ流出シタ場合ニハ逆モ其費用ガ少々ノコトデ濟ムモノデナイ、非常ノ多額ヲ以テシナケレバ逆モ此除害ノ方法ト云フモノヲ設ケルコトハ出來マイト考ヘマス、然ルニ此法案デハ若シ其遺棄者ガ自分デヤラナイトキハ第十二條ノ規定ニ依ッテ之ヲ行政廳デヤツテ、其費用ト云フモノハ彼ノ遺棄者ノ義務ニスルト云フ無理ナル規定ニナツテ居ル、ソレカラ次ニ最モ重ナル點ヲ申シマスレバ第十三條ノ場合ニアリマス此十三條ノ漁業組合ト申シマスルモノハ如何ナル性質アルカト云フコトヲ先刻政府委員ニ尋ネマシタ所デ此組合ハ第一條ニ在ル所ノ免許ヲ受クベキモノ竝ニ其外ノ免許ヲ受クルヲ要セザル者モ這入シテ居ルト云フコトデアリテ總テノ漁業者ト云フモノヲ皆一緒ニシテ、サウンシテ一ノ組合員トスルノデアリマス、所ガ是ハドウデアリマセウカ、其漁業者ノ中ニハ僅ニ釣ヲ以テ營業トシテ居ル者モアリ、又ハ其大ナル者ニ附イテ云ヒマスレバ海水面ニ亘萬ノ資本ヲ投ジテ網漁等ヲスルヤウナ者モ居リマセウシ、色々ノ漁業者ヲ以テサウシテ組合ヲ造ルト云フノデアリマスガ、本員等ガ考ヘマスニハ公共ノ利益ト云フモノガ此組合ヲ設ケタガタメニドウシテ起リマセウカ、公共ノ利益ハドウ云フ所カラ起ルカ、其組合ノタメニ利益ガ起ルト云フコトハ甚ダ疑ハナインミナラズ却テ色モノ分子ヲ以テ組織シタ組合員デアグテハ逆モ之ヲ和同シテ行クト云フコトハムツカシカラウト思フ、然ラバ各地方ニ紛擾ノ種ヲ招ヘルト云フコトニナリハスマイカト本員ハ思フノデアリマス、全體、本員ガ考ヘマスニ成ル程近來水產動植物ノ上ニ附キ段々政府ニ於キマシテモ、手ガ著キマシテ結構ナコトデハアリマスガ、我邦ノ今日ノ實際ニ就イテ視マスルト却テ魚ヲ保護スルト云フヨリハ寧ロ漁業ヲ發達シ成ルベク漁業者ガ多ク魚ヲ得ルト云フ方針ニ獎勵シ且ソ漁具ノ如キモノモ成ルベク勝手ナモノヲ使ハセテ、成ルベク好キ漁具ヲ發明ヲサセテ、行クト云フコトガ今日ノ急務デアルト思フ、我邦ノ如キ水產動植物ト云フモノハ殆ド世界、他ニ多クノ例ノナイン程ニ富デ居ルカラ今日ハ却テ本員等ガ必要ト認メテ居ル所ノモノハ成ルベク漁業ヲ獎勵シ漁具或ハ此漁撈ノ方法等ニ至ツテモ銘々見附發明ニ依ッテ段々改良ヲ進メテ行クト云フノ方針ヲ執リタイ、故ニ此漁業法ニ至リマシテハ成ルベク嚴ナル規定ヲ設ケズ成ルベク之ヲ寛ニシテ、サウシテ實ニ必要缺クベカラザル所ノ魚類ニ向クテハ保護繁殖ヲ圖ラナケレバナラヌ、サリナガラ先刻政府委員ノ述ベラレタ鮎ノ如キモノハ是ハ御承知ノ如ク餘程澤山アルモノマデモ保護スベシトスルトキハ或ハ鰻トカ或ハ鱈トカ或ハ又目高マデモ保護スルト云フ論ニナルカモ知レナトヲ一向御承知ガナイ、即チ鳥ヲ追フ者ハ山ヲ見ズ其一方ベカリニ馳セテ行クタナラバ本員等ハ此漁業社會ニ不利益ナル影響フ來シハスマイカト云フコトヲ甚ダ恐レテ居ルノデアリマス、尙ホ案中ニハ此外ニモ不適當ナリト認ムル所ガアリマスクレドモ、是ハ長ウゴザイマスカラ略シマシテ、前申シマス所ノ條項ニハ再考ニ再考ヲ重ね調査ヲ重ねテサウシテ完全ナル法律ニ致シ

タイト考ヘマスル今般委員會デ調査ニナリマシタ結果ノ上ニ附キマシテモ第五條ノ「條項ノ場合ニ於テ」云々ト云フ八字ヲ削ラレマシタノハ甚ダ我ヒハ不適當ナル削除デアルト思フ、何トナレバ此八字ヲ除キマスルト行政廳ノ處分違法ニシテ權利ヲ毀損セラレタリトスル概括主義ヲ此處ヘ持ツテ來テ捕ンダト云フコトニナリ第五條ノ二項ニ入レテアリマシテモ前項ト云フコトガナケレバ全部ニ及ブノデアルカナイカ甚ダ漠然タルモノニナツテ本員杯ハ感服シナイ修正デアリマス、委員諸君ニ於キマシテモ成ルベク法文ノ良クナルコトニハ御異存ハアリマスマイト思ヒマスカラ此際ニドウカ委員再付託ト云フコトニ御賛成ニナツテ、モウ一層完全ナル調査ヲ遂ゲテ貰ヒタイト云フノガ本員ノ希望ノ要點デアリマス、而シテ其委員ハ元ノ委員ノ外ニ新ニ三名ノ委員ヲ加ヘ其三名ノ委員ハ議長ニ於テ選定ヲ致シテ貰ヒタイト云フ希望デアリマス

〔村田保君发言ヲ求ム〕

○議長（公爵近衛篤脣君） 村田君ハドウ云フノデアリマスカ

○村田保君 此場合ニ反對ノ意見ヲ述べタイノデアリマス、唯今出テ居リマス船越君ト馬屋原君ニ對シテ

○議長（公爵近衛篤脣君） 宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 今ノハマダ賛成者ガナイヤウデアリマスガ問題ニナツテ居リマスカ

○議長（公爵近衛篤脣君） マダ問題ニナツテ居リマセヌ

○村田保君 ソレデハ本員ノ發言ハ御許ニハナラヌノデアリマスカ

○議長（公爵近衛篤脣君） アナタノ發言ハ許シマスガ、問題ニナルカナラヌ

○村田保君 本案ニ附イテマアリマス

○議長（公爵近衛篤脣君） ダカラ宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 動議ガ出テ居ルノニ賛成シタイト思ヒマスガ惡ルウゴザイマスカ

○議長（公爵近衛篤脣君） 賛成ヲ述ベラレルノハ惡ルクハアリマセヌガ…

○子爵曾我祐準君 本員ハ船越君ニ賛成シテ居リマスガ今馬屋原君カラ再付託ト云フ動議ガ出マシタ、全體委員ガ一度骨ヲ折ラレタノデアリマスルカラ之ヲ再付託ニスルト云フコトハ忍ビヌノデアリマスガ段々承リマスルト如何ニモ尤モデゴザイマス、殊ニ船越君ガ言ハレマシタ二條デゴザイマシタカ再付託ガナケレバ實際困ルデアラウト思ヒマス、依ツテ私ハ馬屋原君ニ賛成致シマス

○森山茂君 賛成ノ理由ヲ述ベタイ

○議長（公爵近衛篤脣君） 跡デ願ヒマス

○村田保君（村田保君演壇ニ登ル）

○村田保君 本員ハ委員ノ一人トシテ大體ニ附イテ意見ヲ述ベタイ抑々此漁業法案ノ提出ニナリマシタノハ明治二十六年デアリマス、二十六年ニ本員カラシテ提出ヲ致シマシタ其節ニ此議場ニ於キマシテ非常ニ御議論ノアツタコトハ裁判權ノコトデアリマス、裁判權ハ本員ノ提出ヲ致シマシタ所ノ法案ニ於キマシテハ此漁業ノ争ト申スモノハ通常裁判所ヘ持ツテ行キマセヌ總テ行政官ニ任セルト云フノガ本員ノ考デアツタ、何故本員ハサウ云フ考ヲ起シタ

ノデ漁業ノ争ヲ通常裁判所へ持テ參リマスレバ中々容易ナコトデハイカナ
イ、必ズ大審院マテ持クテ行クコトニナリマスト云フト第一ニ困ルノハ費用
デアリマス、漁村ト云フモノハ至クテ微々タルモノガ、容易ナラヌ費用ヲ負
擔シマスカラ其裁判ノ跡ノ結果ハ殆ド一村身代限ヲスルヤウナ有様ニナクテ
居ル、又中々此期日モ一月ヤ二月デハ濟ミマセズ二三年モ掛ラネバナラムト
云フヤウニナリマスカラ中々漁業ノ争ヲ通常裁判所へ持クテ行クコトハ出來
ス、又漁業ノ争ハ通常ノ裁判所ニ於キマシテモ事實上ノコトハ中々分ラヌモ
ノデアリマス、ドウモ行政官ガ一番能ク知クテ居リマスカラシテ一郡内ノ争
ハ郡長ニ任セ一縣内ノ争ハ知事ニ任セ他縣ニ跨クタモノハ主務大臣ニ任セル
ト云フ趣意デアッタ、然ル處是ガ中々議場ニ於キマシテ皆様方ノ御議論が起
リマシテ通常裁判所へ持クテ行ケヌ道理ハナイ、或ハ行政裁判所へ持クテ行
ケヌト云フ道理ハナイト云フコトデ、イツモ是ハ委員付託デソレ切ニナクテ
シマヒマシタ、其後明治二十八年ニ本員ヨリ少シク折衷シテ出シマシタ、其
トキモ矢張裁判權ト……其前モ其トキモ同ジデアリマシタガ法案ノ中ニハ區
畫漁業ト云フノガアル、二十年ト云フ年限ニ定メテアリマシタ、民間デハ之
ヲ喧シク、漁業者ノ方カラ苦情ヲ申シマシタ最モ喧シク言クタノハ北海道、
北海道ハ皆鯨ノ立網ハ皆區畫漁業ニナクテ居クテ、アレハ無期ニナクテ居
ルカラ殆ド實際アレヲ自分ノ所有權ノヤウニ思クテ居ル、ソレデ中々賣
買ノヤウニシテ居ルカラ全ク此ノ漁業區畫ト云フノハ已ノ物ダト信ジテ居
ル、代々持クテ居ラレルト云フ考ガアルカラ、期限ヲ附ケタラ二十年立ツタ
後ハ人ニ持クテ行カレハシナイカト云フ考ヲ以テ北海道ノ人民ハ非常ニ喧シ
ク言ヒ出シ、次デ石川縣富山エ矢張アノ邊ノ立網ト云フノハサウ云フ風ニ
越君其他馬屋原君カラ此一縣カラモ大分苦情ヲ申シタコトガアルノデス、ソレデ
此二十八年ニ出シマシタ時分モ遂ニ委員ニ付託ニナリマシタ切り今日マテ出
テ居リマセヌ、所ガ二度トモ本員カラ出シマシタ所デ議場デ喧シイノハ裁判
權、ソレカラ民間デ喧シク申スノハ區畫漁業ノコトヲ言フ、然ル所先程ヨリ船
ナクテ居リマスカラ此一縣カラモ大分苦情ヲ申シタコトガアルノデス、ソレデ
此二十八年ニ出シマシタ時分モ矢張此コトハアッタ二度トモ書イテアリマシタ
ガ其時分ニハ二度トモ其點ニ附キマシテハドナタモ御議論ガナカクタ、今日
申セバ一人デ魚ヲ取ルト云フ事實ガ段々アル、ソレヲ防ギタメニ起クタ
ソレ故ニ譬ヘテ申シマスレバ川幅ヲバ一人デ遮断ヲシテサウシテ已一人デ
取クテシマフ、川ト云フモノハ何十里何百里ヲ流レテ居ルノヲ川下ニハヤラ
モノ、精神ハ魚道ヲ附ケルト云フコトヲ申スノハドウ云フ所カラ起クタカト
スデ已一人デ取ルト云フコトヲヤルノハ非常ニ公益ヲ害スルカラドコマデモ
許サナイ、段々近イ所ノ有様ヲ御覽ニナレバ分ル、埼玉縣地方杯デドウ云フ
風ニシテヤクテ居ルカ、川ニ簾ノヤウナモノヲ立テ、シマツテ、川ノ流ニ簾
ノヤウナモノデズ、ト打切クテシマヒマシテサウシテ已ガ一人デ捕テ居ル、
サウシマスルト此川ノ下ノ者ト云フ者ハマルデ捕ルコトガ出來ナイ、併ナガ
ラ此堤ヲ搭ヘルトカ或ハ先程船越君ノ言ハレルヤウニ水道ト云フヤウナモノ
ハ決シテ魚道ヲ妨ゲルモノデモ何デモナイ、其水ガ出テ行ケバ魚モ附イテ

行クモノノデアルカラ魚道ヲ妨ゲルモノデハナイ、詰リ魚ヲ捕ル場所ヲ定メテ
己ガ一人デ捕ルコトヲ禁ズルタメニ此條ハ出來タモノデ、ソレ故ニ獨リ水ヲ
断チ切ルガ惡ルイト云フコトデハナイ、場合ニ依クテハ斷チ切リマシテモ水門
ヲ切クテモ水門カラ出レバチクトモ差支ナイ、ソレハ己ガ一人デ捕ルコトヲ
ケヌト云フ道理ハナイト云フコトデ、イツモ是ハ委員付託デソレ切ニナクテ
シマヒマシタ、其後明治二十八年ニ本員ヨリ少シク折衷シテ出シマシタ、其
トキモ矢張裁判權ト……其前モ其トキモ同ジデアリマシタガ法案ノ中ニハ區
畫漁業ト云フノガアル、二十年ト云フ年限ニ定メテアリマシタ、民間デハ之
ヲ喧シク、漁業者ノ方カラ苦情ヲ申シマシタ最モ喧シク言クタノハ北海道、
北海道ハ皆鯨ノ立網ハ皆區畫漁業ニナクテ居クテ、アレハ無期ニナクテ居
ルカラ殆ド實際アレヲ自分ノ所有權ノヤウニ思クテ居ル、ソレデ中々賣
買ノヤウニシテ居ルカラ全ク此ノ漁業區畫ト云フノハ已ノ物ダト信ジテ居
ル、代々持クテ居ラレルト云フ考ガアルカラ、期限ヲ附ケタラ二十年立ツタ
後ハ人ニ持クテ行カレハシナイカト云フ考ヲ以テ北海道ノ人民ハ非常ニ喧シ
ク言ヒ出シ、次デ石川縣富山エ矢張アノ邊ノ立網ト云フノハサウ云フ風ニ
越君其他馬屋原君カラ此一縣カラモ大分苦情ヲ申シタコトガアルノデス、ソレデ
此二十八年ニ出シマシタ時分モ矢張此コトハアッタ二度トモ書イテアリマシタ
ガ其時分ニハ二度トモ其點ニ附キマシテハドナタモ御議論ガナカクタ、今日
申セバ一人デ魚ヲ取ルト云フ事實ガ段々アル、ソレヲ防ギタメニ起クタ
ソレ故ニ譬ヘテ申シマスレバ川幅ヲバ一人デ遮断ヲシテサウシテ已一人デ
取クテシマフ、川ト云フモノハ何十里何百里ヲ流レテ居ルノヲ川下ニハヤラ
モノ、精神ハ魚道ヲ附ケルト云フコトヲ申スノハドウ云フ所カラ起クタカト
ス、又水產上ノコトモヤカマシウゴザイマスガ皆サウ云フ方法デ穴ヲ一ツ
掘クテ水ヲ濾シテ出ルコトニシテ居ルノデゴザイマスカラ何モ是ハ非常ニサ
モ知レスケレドモ是ハ一樣ニ言ヘナイ、ソレカラ又十三條ノ漁業組合ノ所ニ海ノ
モノダケ或ハ川ノモノダケワシナモノヲ種々分子ヲ以テサウシテヤクタラ
ス、又水產上ノコトモヤカマシウゴザイマスガ皆サウ云フ方法デ穴ヲ一ツ
掘クテ水ヲ濾シテ出ルコトニシテ居ルノデゴザイマスカラ何モ是ハ非常ニサ
モ知レスケレドモ是ハ一樣ニ言ヘナイ、成ル程川ノ漁業者ノ組合、海ノ漁業
者ノ組合ハ其性質カラ仲ガ惡ルイ、全ク仲ガ惡ルイモノデアル、併シ或ハ一
ツ組合ニ利益ニナルコトガアル、ソレハ現ニ新潟縣、新潟縣ト云フモノハ今マ
デ川ノ漁業組合ト海ノ漁業組合ト始終反目シテ居クテ、始終喧嘩バカリシテ
居クタモノデアル、所ガドウモ雙方始終喧嘩シテハ不利益ダト云フノデ昨年
カラ之ガ一緒ニナクテシマクテ海ト川ト一緒ニ合シテ今度丁度和合シタ、サ
ウ云フモノデアル、現ニ新潟縣ハ昨年カラ之ヲヤクテ居クテ、異分子ガ一緒ニ
集クテ却テソレデ善クナルト云フコトガアリマスカラソレハ左様ニ一概ニ論
ズル譯ニイカナイダラウト恩フ、併ナガラ漁業ノ公益ト云フモノハ漁業組合
ニ在ル、實ニ公益ノ利ト云フモノハ漁業組合ヲシナケレバ出來ナイ、其漁業
組合ノ利益ト云フモノハ本員ニ御質シニナレバ私ハ長ク辯明ヲシマス、何處
ノ漁業組合ハドシナコトニナクテ居ルカ、ドンナ風デアルカト云フコトハ御

質問ニ依テ辯ジマス、ケレドモ餘り長クナツテハ御迷惑ダラウト存ジマスカラソレハモウ申シマセヌ、御質問ナラ隨分一時間デモ二時間デモ御話ガ出来ルコトガゴザイマス、ソレカラ魚ヲ多ク捕ルコトニスルニハ魚ヲ保護スルコトガ必要デアル、是ニ附イテ甚シイコトヲ仰シヤルノハ鰻ダノ目高ダノマデ保護スルニハ及バスト云フ實ニ一向失禮ナガラ漁業上ノコトハ餘リ御心得ガナクテ仰シヤルノデハナイカト思フ、固ヨリ仰シヤル通漁業ト云フモノハ、捕ルコトヲ勧メテ居ルノデ今日ハ政府ノ方針ニシロ私共モ大變熱心ニ捕ルコトヲ勸メテ居ル澤山捕リタイト思フ澤山捕ラセヤウト云フノニハドウシテモ一方ニハ保護ト云フモノヲシナケレバ捕レル譯ヂヤアナイデハアリマセヌカ、今日ハ捕リ盡シテ種モ何ニモナイヤウニ捕リ盡シテ、捕ラウト云フテモ捕ルコトガ出來マスマイ、譬ヘテ見マスルト畠デモ種ヲ蒔カナケレバナラヌ、種ヲ奇麗ニ取ッテ喰盡シテシマフナラバ何ガ畠ニ出來マス、澤山捕ラウト云フノニハドウシテモ一方デハ繁殖保護ト云フモノヲ圖ラナケレバナラヌガ目高ナンドノ繁殖保護ト云モノハゴザイマセヌ先日カラ申シマス通鮓鱈ナンドト云フモノハ…鮓鱈ト云フヤウナ我邦特有ノ產ガ段々減リマシテ實ニ十四五年前マデハ百万尾モ捕レタモノガ今日ハ一万尾位ニナツテ居ルヤウナルカラ…餘所ノ國ノ有様ハドウカト云フト一年ニ數十万圓ノ金ヲ費シテサウシテ人工孵化ヲシテ段々ヤツテ居ル、ソレデスカラドンヘ…鮓ナンドモ捕レル鱈ト云フモノハ世界三箇所澤山捕レル所ガアル、ソレハ諸威、ニユーフランド、日本ノ北海道殊ニ諸威杯ハ鱈ガ澤山捕レル、其鱈ハドウスルカト云フト年々三億五千万モ放テ居ルカラ跡カラ跡カラ捕ヘル、所ガ馬屋原君ノヤウニ捕ルバカリノ一方ト云ヘバ忽チ盡キテシマフ、ソレデドウシテモ捕ルコトヲ多クスルノニハ一方デ保護ヲ圖ラナケレバナラヌ、ソレカラ又九條アタリニ少シ物質杯ノ繁殖ヲ妨害スルト云フモノハ獨リ河バカリデハナイ、皆川バカリデ目高ダノ鮒ダノト仰シヤイマスガサウバカリデハナイ、今日ハ隨分海デモ之ヲ用ヒテ居ル海デドウ云フコトヲシテ捕ルカト云フト、今日デモ奇酷ナ捕リ方ヲシテ居ル、是ハ「ダイナマイト」ヲ投ジテ其處ニ居ル物ハ奇麗ニ残ラズ魚アモ貝デモ海草デモ奇麗ニ其所ニ居ル物ハ盡キテシマフ、是ハ實ニロドイ話、サウ云フヤウナコトハドウシテモ戒メナケレバナラヌ、ソレ故ニ此九條杯ハ最モ必要デス、其又川デ捕リマスノモサウデス、彼ノ川ノ鱈デゴザイマス、鱈ト云フモノガ皆一ツ所ニ固クテ居ル、ソレヲ夜行クテ「バッパー」ト云ヒマス「ダイナマイト」デス、ソレヲ打込みサウスト奇麗ニ死ンデ浮ブノガ下ノ方ヘ持テ行クテ網ヲ張クテ朝早ク捕ル、奇麗ニスッカリ捕ルサウ云フモノヲドウシテモ止メナクチヤナラヌデハゴザイマセヌカ、斯ウ云フコトハドウシテモ公益上止メナクチヤナラヌモノデアル、併ナガラ今日マデ此法律ガナイカラ如何トモスルコトガ出來ナイ、ソレデ漁業法ノ必要ト云フコトハ今日ハモウ何處デモ感シテ居ル、殆ド漁業者ハ漁業法ト云フモノガナクテハナラヌト云フコトヲ初テ感シテ來タ、是ガ出マスレバ多少宜シウゴザイマセウガ、又裁判ノコトモ出來テ居リマスカラ迅速ナル裁判モ出來ルヤウデゴザイマスルガ今日ノ儘ニシタラバ漁業者ハ裁判所ヘハ持テ行カヌ、腕力沙汰デアル、裁判ヘ持テ行ケバ時日ヲ費シ金モ掛カル仕方

ガナイカラ腕力デ競闘ノヤウナ戰サノヤウナコトモ起シタ、又始終起シテ居ルノハ大概腕力デヤツテ居ル外仕方ガナイ、畢竟漁業法ノナイ故デゴザイマス、此邊ハドウゾ之ヲ再付託ニナシタ所ガナカく失禮ナカラ馬屋原君ノヤウナコトヲ仰シヤル御方ガヤツタモ逆モ殘念ナガラ行ケルモノデハナイ、テモ一方ニハ保護ト云フモノヲシナケレバ捕レル譯ヂヤアナイデハアリマセヌカ、今日ハ捕リ盡シテ種モ何ニモナイヤウニ捕リ盡シテ、捕ラウト云フテモ捕ルコトガ出來マスマイ、譬ヘテ見マスルト畠デモ種ヲ蒔カナケレバナラヌ、種ヲ奇麗ニ取ッテ喰盡シテシマフナラバ何ガ畠ニ出來マス、澤山捕ラウト云フノニハドウシテモ一方デハ繁殖保護ト云フモノヲ圖ラナケレバナラヌガ目高ナンドノ繁殖保護ト云モノハゴザイマセヌ先日カラ申シマス通鮓鱈ナンドト云フモノハ…鮓鱈ト云フヤウナ我邦特有ノ產ガ段々減リマシテ實ニ十四五年前マデハ百万尾モ捕レタモノガ今日ハ一万尾位ニナツテ居ルヤウナルカラ…餘所ノ國ノ有様ハドウカト云フト一年ニ數十万圓ノ金ヲ費シテサウシテ人工孵化ヲシテ段々ヤツテ居ル、ソレデスカラドンヘ…鮓ナンドモ捕レル鱈ト云フモノハ世界三箇所澤山捕レル所ガアル、ソレハ諸威、ニユーフランド、日本ノ北海道殊ニ諸威杯ハ鱈ガ澤山捕レル、其鱈ハドウスルカト云フト年々三億五千万モ放テ居ルカラ跡カラ跡カラ捕ヘル、所ガ馬屋原君ノヤウニ捕ルバカリノ一方ト云ヘバ忽チ盡キテシマフ、ソレデドウシテモ捕ルコトヲ多クスルノニハ一方デ保護ヲ圖ラナケレバナラヌ、ソレカラ又九條アタリニ少シ物質杯ノ繁殖ヲ妨害スルト云フモノハ獨リ河バカリデハナイ、皆川バカリデ目高ダノ鮒ダノト仰シヤイマスガサウバカリデハナイ、今日ハ隨分海デモ之ヲ用ヒテ居ル海デドウ云フコトヲシテ捕ルカト云フト、今日デモ奇酷ナ捕リ方ヲシテ居ル、是ハ「ダイナマイト」ヲ投ジテ其處ニ居ル物ハ奇麗ニ残ラズ魚アモ貝デモ海草デモ奇麗ニ其所ニ居ル物ハ盡キテシマフ、是ハ實ニロドイ話、サウ云フヤウナコトハドウシテモ戒メナケレバナラヌ、ソレ故ニ此九條杯ハ最モ必要デス、其又川デ捕リマスノモサウデス、彼ノ川ノ鱈デゴザイマス、鱈ト云フモノガ皆一ツ所ニ固クテ居ル、ソレヲ夜行クテ「バッパー」ト云ヒマス「ダイナマイト」デス、ソレヲ打込みサウスト奇麗ニ死ンデ浮ブノガ下ノ方ヘ持テ行クテ網ヲ張クテ朝早ク捕ル、奇麗ニスッカリ捕ルサウ云フモノヲドウシテモ止メナクチヤナラヌデハゴザイマセヌカ、斯ウ云フコトハドウシテモ公益上止メナクチヤナラヌモノデアル、併ナガラ今日マデ此法律ガナイカラ如何トモスルコトガ出來ナイ、ソレデ漁業法ノ必要ト云フコトハ今日ハモウ何處デモ感シテ居ル、殆ド漁業者ハ漁業法ト云フモノガナクテハナラヌト云フコトヲ初テ感シテ來タ、是ガ出マスレバ多少宜シウゴザイマセウガ、又裁判ノコトモ出來テ居リマスカラ迅速ナル裁判モ出來ルヤウデゴザイマスルガ今日ノ儘ニシタラバ漁業者ハ裁判所ヘハ持テ行カヌ、腕力沙汰デアル、裁判ヘ持テ行ケバ時日ヲ費シ金モ掛カル仕方

○議長（公爵近衛篤磨君）馬屋原君ノ先決問題ガ…

○子爵曾我祐準君 村田君ニ御尋致シタイ、私ハ船越君ノ段々御話ノヤウニシテ人間孵化ヲシテ段々ヤツテ居ル、ソレデスカラドンヘ…鮓ナンドモ捕ウシテ人間孵化ヲシテ段々ヤツテ居ル、ソレデスカラドンヘ…鮓ナンドモ捕レル鱈ト云フモノハ世界三箇所澤山捕レル所ガアル、ソレハ諸威、ニユーフランド、日本ノ北海道殊ニ諸威杯ハ鱈ガ澤山捕レル、其鱈ハドウスルカト云フト年々三億五千万モ放テ居ルカラ跡カラ跡カラ捕ヘル、所ガ馬屋原君ノヤウニ捕ルバカリノ一方ト云ヘバ忽チ盡キテシマフ、ソレデドウシテモ捕ルコトヲ多クスルノニハ一方デ保護ヲ圖ラナケレバナラヌ、ソレカラ又九條アタリニ少シ物質杯ノ繁殖ヲ妨害スルト云フモノハ獨リ河バカリデハナイ、皆川バカリデ目高ダノ鮒ダノト仰シヤイマスガサウバカリデハナイ、今日ハ隨分海デモ之ヲ用ヒテ居ル海デドウ云フコトヲシテ捕ルカト云フト、今日デモ奇酷ナ捕リ方ヲシテ居ル、是ハ「ダイナマイト」ヲ投ジテ其處ニ居ル物ハ奇麗ニ残ラズ魚アモ貝デモ海草デモ奇麗ニ其所ニ居ル物ハ盡キテシマフ、是ハ實ニロドイ話、サウ云フヤウナコトハドウシテモ戒メナケレバナラヌ、ソレ故ニ此九條杯ハ最モ必要デス、其又川デ捕リマスノモサウデス、彼ノ川ノ鱈デゴザイマス、鱈ト云フモノガ皆一ツ所ニ固クテ居ル、ソレヲ夜行クテ「バッパー」ト云ヒマス「ダイナマイト」デス、ソレヲ打込みサウスト奇麗ニ死ンデ浮ブノガ下ノ方ヘ持テ行クテ網ヲ張クテ朝早ク捕ル、奇麗ニスッカリ捕ルサウ云フモノヲドウシテモ止メナクチヤナラヌデハゴザイマセヌカ、斯ウ云フコトハドウシテモ公益上止メナクチヤナラヌモノデアル、併ナガラ今日マデ此法律ガナイカラ如何トモスルコトガ出來ナイ、ソレデ漁業法ノ必要ト云フコトハ今日ハモウ何處デモ感シテ居ル、殆ド漁業者ハ漁業法ト云フモノガナクテハナラヌト云フコトヲ初テ感シテ來タ、是ガ出マスレバ多少宜シウゴザイマセウガ、又裁判ノコトモ出來テ居リマスカラ迅速ナル裁判モ出來ルヤウデゴザイマスルガ今日ノ儘ニシタラバ漁業者ハ裁判所ヘハ持テ行カヌ、腕力沙汰デアル、裁判ヘ持テ行ケバ時日ヲ費シ金モ掛カル仕方

○議長（公爵近衛篤磨君）少數ト認メマス（發言ヲ求ムル者數名アリ）

○議長（公爵近衛篤磨君）先決問題ハ明ニ御分リタラウト思ヒマス

○男爵船越衛君 曾我君モ御述デ分ツテ居リマスガ第八條ハ村田君ノ云フヤウニハ見エナイ、是ハ尙更削ラナケレバナラヌ、再付託最結構デアリマス

○議長（公爵近衛篤磨君）モウ成立ツテ居リマス、採決シマス、馬屋原君ノ委員再付託ニ付テ三名ノ委員ヲ擧ゲルコトヲ議長ニ託スルト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○村田保君 アナタハマダ解釋ガ附カナイ、魚道トアルノハ此下ヘ魚ヲ通スルト云フ…

○議長（公爵近衛篤磨君）少數ト認メマス（發言ヲ求ムル者數名アリ）

○議長（公爵近衛篤磨君）少數ト認メマス（發言ヲ求ムル者數名アリ）

○議長（公爵近衛篤磨君）勘定シマシタカラ…

（政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（藤田四郎君）漁業法ノ第一讀會ノ場合ニ於テエライ緊急デゴザイマシテ十分申上ゲルコトガ出來マセナシダノハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ段御質問又御議論等モゴザイマスルカラ此際詳細此法律ノ成立致シマシタ頗末ヲ申上ゲテ又第八條九條等ニ付キマシテ御議論モゴザイマスカラ其頗末ヲモ一應申上ゲタトイ思ヒマス、漁業事柄ニ付キマシテハ一體ノ漁業ニ附キマシテハ別段今日マデ法律モゴザイマセヌガ段々此日本ノ海面ノ漁業ト云フモ

ノハ非常ニ發達致シテ居リマスルガ爲ニ隨シテ種々ノ慣行等モゴザイマシテ種々紛争等モ絶ヘマセヌ、二十三四年カラ政府ニ於キマシテモ段々調査致シ又二十五六年頃ニ至リマシテ議員ノ御方ヨリ法案等モ提出ニナリマシタルヤウナコトデゴザイマシテ更ニ政府ハ内務省司法省農商務省等ノ委員ヲ相會シマシテソレド^ト調査ヲモ致シマシタ、舊幕以來ノ慣例沙汰書等モソレ^ト調べ致シテ各府縣ノ書類ヲモソレ^ト取寄セテアリマスモノハ皆調ベマシタ、其結果ニ依リマシテ此案が出來マシタノデゴザイマシテ決シテ疎漏ナコトハナイ積デアリマス、又第八條第九條ニ附イテハ段々御論モゴザイマスルガ是等ニ附キマシテハ決シテ御心配ヲナサルコトハゴザイマセヌデ絆ノ如キ縛ノ如キハ御承知ノ通僅カ幅ノ三尺四尺位ノ川ヲバ溯^トテ初メテ産卵ヲ致シマス、其所ニ當リマシテ夫ヲ上ボルコトガ出來ナイヤウニ致シマスルト云フト詰リ兒ヲ產ムコトガ出來マセヌ、隨^トテ繁殖ヲ害スル、御承知ノ通右等ノ魚ハ皆一定ノ所ヘ上ガルノデアリマス、ソレ等ノ所ハ決シテ大キナ幅ハ要ラナイニ^ト一尺三尺^ト深サガ一尺モアレバ大分ノ水デアリマス、夫ヨリ小サイ水デ宜シイノデアリマスガソシナモノヲ一切遮断シテシマヘバイカヌ、固ヨリ是ガ半日遮断シタカラ惡イト云フコトハゴザイマセヌガ遮断シテ詰リ交通ノ道ヲ断ツト云フコトガ惡イト云フノデ鑽毒ノ問題ニ附キマシテモ第九條ニ付テ御話ガゴザイマスルガ是等モ水族ニ害ガアルモノナラバ無論農業ニモ同様害ガアルカラ之ヲ除カナケレバナラヌコトデアリマスカラ其邊ヲ御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 最早議論モ大抵盡キタト思ヒマスカラ採決シマス、第一條ヨリ第三條^ト採決シマス^ト御異議ガナクバ原案ニ決シマス次ハ第四條、第五條、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス、第六條ヨリ第十二條マテ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、第十三條……

○馬屋原彰君 此十二條ハ如何デゴザイマセウカ餘程此案デハ必要ニナツテ居ル様デアリマスガ併シ我ミノ考カラ見ルト餘程之ヲ除クノ必要ヲ感ジマスルガ是處デ本員ガ説^ト出シテモ御贊成ノ有無ハチトムヅカシイデアラウト思ヒマスケレドモ併ナガラドウカ十三條ダケハ削除ニナクタ方ガ宜イト思ヒマスドウカ御贊成ヲ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 十三條委員ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス起立者 多數

○議長(公爵近衛篤脣君) 過半數ト認メマス、次ニ十四條、十五條

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、二讀會ハ是ニテ了リマシタ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、二讀會ハ是ニテ了リマシタ

○子爵堤功長君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ是ニテ結了致シマス

○久保田讓君 私ハ請求ヲ致シマスガ第二十五ノ日程ニ載^トテ居ル小學校教育費國庫補助法案是ハ多少ノ修正モゴザイマシテ此修正ノ通りニ決議ニナリマスレバ再び衆議院ニ迴リマスカラ此際日程ヲ變更シテ之ヲ議シタイト思ヒマス

○子爵鍋島直彬君 贊成

○子爵長岡護美君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 久保田君ノ議事日程變更ニ御異議ハゴザイマセヌ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ小學校教育費補助法案、衆議院提出、第一次讀會ノ續、特別委員長報告

○久保田讓君 文部大臣ハ出席ニナツテ居リマセヌカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 次官ガ出テ居ラレマス

○久保田讓君 ドウカ文部大臣ノ御出席ニナルヤウニマス、明日ノ日程ヲ御報道致シマス^ト日程ヲ報道スルト申シマシタガ定メタ上^トデ更ニ御配布ヲスルコトニ致シマス本日ハ散會

貴族院議事速記録正誤

頁	段	行	誤	正
四八八	上	二七	下	處分
四八九	上	八	七	募集